取扱説明書（保証書）

WX01NX

netindex

はじめに

このたびは、「WX01NX」(以降、本製品と呼びます)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき、正しくご使用ください。
特に「安全にご使用いただくために」(☞4〜9ページ)は、必ずお読みいただき、安全に正しくお取り扱いください。
お読みになったあとは、いつでも見ることができるように、お手元に大切に保管してください。

■ユーザ登録について

お客様への有用な情報のご提供など充実したサポート／サービスを実施するために、ユーザ登録をお薦めしています。ユーザ登録は、当社メールアドレスへメール送信することで登録できます。
件名および本文へ以下をご入力の上、メールを送信してください。

- 当社メールアドレス：support-g10@netindex.co.jp
- 件名：ユーザ登録希望
- 本文：Eメールアドレス、製品名(WX01NX)、製品のシリアルナンバー(9桁)※

※：シリアルナンバーは本製品のバッテリー取り付け位置のラベルに記載してあります。
バッテリーカバーおよびバッテリーを取り外し、ラベルをご確認ください。
(「バッテリーを取り外す」☞148ページ)

お知らせ

- 本製品はEメールに対応していないため、本製品からユーザ登録のメールを送信することはできません。
- お客様のEメールアドレスは、本製品に関する情報や顧客満足度向上のアンケート以外には利用いたしません。またこれらの利用目的の達成に必要な範囲内で委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者への提供はいたしません。

おことわり

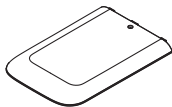
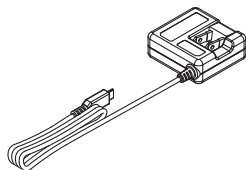
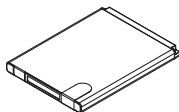
本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
乱丁、落丁はお取り替えいたします。
本製品のフォントは株式会社リコーが製作､販売したリコービットマップフォントを使用しています。
日本語変換は、オムロンソフトウェア株式会社のモバイルWnnを使用しています。

WILLCOMおよびウィルコムは、株式会社ウィルコムの登録商標です。
その他、会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

梱包品の確認

ご使用の前に下図のものが全て入っているかご確認ください。
万一、不足しているものがありましたら、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

□本体（WX01NX）

□バッテリーカバー

□ACアダプタ
（SW-AC05-MU）

□リチウムイオンバッテリー
（PS60LII0-100）

□取扱説明書（保証書）
□ACアダプタ 取扱説明書（保証書）

お願い

- リチウムイオンバッテリーとバッテリーカバーの取り付け方法については、「バッテリーの交換」(☞148ページ)をご参照ください。
- 本製品の充電方法については、「充電する」(☞31ページ)をご参照ください。
- ACアダプタは、株式会社ウィルコム社製品を同梱しています。ACアダプタについては、ACアダプタの取扱説明書をお読みいただき、正しくお取り扱いください。

安全にご使用いただくために

- 「安全にご使用いただくために」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
- 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■ 表示の説明

⚠危険	⚠警告	⚠注意
この表示は「人が死亡または重傷※1を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。	この表示は「人が死亡または重傷※1を負う可能性が想定される内容」を示しています。	この表示は「人が傷害※2を負う可能性が想定される内容や物的損害※3の発生が想定される内容」を示しています。

※1 「重傷」とは、失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2 「傷害」とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

※3 「物的損害」とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明

🛇	(分解禁止)	❗	(プラグを抜く)
行ってはいけない(禁止)内容を示しています。	分解してはいけない(禁止)内容を示しています。	必ず実行していただく(強制)内容を示しています。	電源プラグをコンセントから抜いていただく(強制)内容を示しています。

■ ご使用前のおことわり

- 地震および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社はその責任を負えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(記憶内容の変化・消失・事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社はその責任を負えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様が取扱説明書の記載内容を守られないことにより生じた損害に関して、当社はその責任を負えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 当社が関与していない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社はその責任を負えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は梱包品を含め、改良のために予告なく変更することがあります。

本体／バッテリー／ACアダプタ共通

危険 必ず、以下の危険事項をお読みになり、正しくご使用ください。

必ず専用の周辺機器をご使用ください。発熱・発火・破裂・故障・液漏れの原因となります。
本製品周辺機器
• バッテリー〈PS60LII0-100〉／ACアダプタ〈SW-AC05-MU〉

高温になる場所(火のそば、ストーブのそば、炎天下の車内、直射日光の当たる場所など)や引火性ガスの発生するような場所での使用や保管、放置はしないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。

電子レンジや高温容器などの中に入れないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入れたりしないようにしてください。火災や故障の原因となります。

ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む場合、電源プラグに金属製のストラップやアクセサリーなどを接触させないでください。火災・感電・障害・故障の原因となります。

使用中や充電中に、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。発火・火災・やけどの原因となります。

警告 必ず、以下の警告事項をお読みになり、正しくご使用ください。

落下させる、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。発熱・発火・破裂・故障・液漏れの原因となります。

屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電の恐れがあります。

分解や改造をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。
修理点検などのご相談はウィルコムサービスセンター(☞167ページ)にお問い合わせください。

本製品は防水仕様ではありません。水などの液体をかけたりしないでください。
また、水などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。(雨天・降雪中・海岸・水辺などでの使用は特にご注意ください。)
万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタの電源プラグを抜いてください。
水に濡れた場合や湿気による故障は保証外となり、修理ができません。

つづく

⚠注意 必ず、以下の注意事項をお読みになり、正しくご使用ください。

禁止

バッテリーカバーを取り外したまま使用しないでください。

禁止

直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。変形や故障の原因となる場合があります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。また、衝撃などにも十分ご注意ください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。

禁止

幼児の手の届く場所には置かないでください。傷害などの原因となる場合があります。

禁止

湿気の多い場所で使用しないでください。身に付けている場合は汗による湿気が故障の原因となる場合があります。水に濡れた場合や湿気による故障と判明した場合は保証の対象外となり、修理ができません。

禁止

使用中に煙が出る、においがする、異常な音がする、発熱しているなど異常が起きたら使用しないでください。異常が起きた場合は電源を切り、バッテリーを外してご連絡ください。また、水に濡れたり、落下したり、破損したりした場合などもそのまま使用せず、ご連絡ください。

禁止

お客様による修理などは危険ですから、絶対にしないでください。

禁止

外部から電源が供給されている状態の本体やバッテリー・ACアダプタに長時間、触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。

禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

本体について

危険　誤った取り扱いをすると、発熱・液漏れ・破裂のおそれがあり危険です。必ず、以下の危険事項をお読みになり、正しくご使用ください。

禁止

赤外線通信ポートを目に向けて送信しないでください。目に影響を与える可能性があります。また、その他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

警告　必ず、以下の警告事項をお読みになり、正しくご使用ください。

禁止

交通事故の原因になりますので、自動車などを運転中は使用しないでください。運転者が使用する場合は、駐車を禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

強制

通話するときは周囲の安全をご確認ください。安全を確認せずに通話すると、転倒、交通事故の原因となります。

禁止

運航の安全に支障をきたすおそれがありますので、航空機内では使用しないでください。（電源をお切りください。）

強制

埋め込み型心臓ペースメーカや医用電気機器の近くで使用される場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、以下のことを守ってください。

1. 埋め込み型心臓ペースメーカを装着されている方は、本製品をペースメーカから離して携行およびご使用ください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカを装着している方がいる可能性がありますので、電源を切るように心がけてください。
3. 医療機関の屋内では以下のことに注意してご使用ください。
    - 手術中・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本製品を持ち込まないでください。
    - 病棟内では、本製品の電源を切ってください。
    - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、電源を切ってください。
    - 医療機関が個々にPHSの使用禁止・持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で埋め込み型心臓ペースメーカ以外の医用電気機器を使用されている場合（自宅療養など）は、電波により影響を与えるおそれが無いか、個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

強制

高精度な電子機器の近くでは電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。（影響を与えるおそれがある機器の例：ペースメーカ・補聴器・その他医療用電子機器・火災報知器・自動ドアなど。医療用電子機器を使用されている場合は、影響を与えるおそれが無いか、機器メーカまたは販売者にご確認ください。）

つづく

⚠注意 必ず、以下の注意事項をお読みになり、正しくご使用ください。

禁止

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与えたり、受けたりする場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

強制

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。
（「使用材料と表面処理について」☞12ページ）

バッテリーについて

本製品のバッテリーは、リチウムイオンバッテリーです。
お買い上げ時、バッテリーは十分に充電されていません。初めてご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、必ず専用のACアダプタで充電してからご使用ください。
なお、リチウムイオンバッテリーの取り扱いについては、「バッテリーについて」（☞11ページ）をご参照ください。

⚠危険 誤った取り扱いをすると、発熱・液漏れ・破裂のおそれがあり危険です。必ず、以下の危険事項をお読みになり、正しくご使用ください。

禁止

（+）（-）端子およびもう1つある端子部分はショートさせないでください。

禁止

釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。発火や破損の原因となります。

禁止

持ち運ぶときや保管するときは、金属類（金属製ストラップやアクセサリー、金属片など）と接続端子が触れないようにしてください。ショートによる火災や故障の原因となります。

分解禁止

分解・改造をしたり、直接ハンダ付けをしたりしないでください。バッテリー内部の液が飛び出し、目に入ったりして失明などの事故や、発熱・発火・破損の原因となります。

禁止

水や海水などで濡らさないでください。バッテリーが濡れると、発熱・破裂・発火の原因となります。誤って水などに落としたときは、そのまま使用せず、お買い上げの販売店またはウィルコムサービスセンター（☞167ページ）までご連絡ください。

禁止

破損、液漏れ、変化の著しいバッテリーを使用しないでください。

強制

内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、傷害を起こすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますので、こすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。

強制

充電する場合は、必ず専用のACアダプタをご使用ください。
- ACアダプタ〈SW-AC05-MU〉

ACアダプタについて

● ACアダプタについては、ACアダプタの取扱説明書をお読みいただき、正しくお取り扱いください。

警告 誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電・故障・物的損害などのおそれがあります。必ず、以下の警告事項をお読みになり、正しくご使用ください。

指定のACアダプタを使用し、指定された電源電圧以外では使用しないでください。火災や感電などの原因となります。海外で使用する場合には、別途、適合した電源プラグの形状のアダプタをご使用ください。

ACアダプタの電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、感電や発熱･発火による火災の原因となります。ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ACアダプタのケーブルを傷付けたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、ケーブルが傷んでいる場合は使用しないでください。感電・ショート・火災の原因となります。

雷が鳴り出したらACアダプタの電源プラグに触れないでください。落雷による感電の原因となります。

お手入れをするときには、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れをすると感電やショートの原因となります。また、ACアダプタの電源プラグに付いたほこりはふき取ってください。そのまま放置すると火災の原因となります。

強制

水やペットの尿など液体がかからない場所でご使用ください。発熱・火災・感電・回路のショートによる故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタの電源プラグを抜いてください。

注意 誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電・故障・物的損害などのおそれがあります。必ず以下の注意事項をお読みになり、正しくご使用ください。

風呂場などの湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。感電の原因となります。

充電は安定した場所で行ってください。傾いたところや、ぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。

布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。本製品が外れて、火災や故障の原因となります。

ACアダプタの電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って抜いてください。ACアダプタのケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

取扱上のお願い

本体／バッテリー／ACアダプタ共通

- **無理な力がかかると、ディスプレイや内部の基板などが破損し故障の原因にもなりますので、ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、かばんの中で重いものの下になったりしないよう、ご注意ください。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。**
- ご使用になるときは、曲げる、ひねる、大きな力で押しつけるなどの無理な力を加えたりしないでください。故障や破損の原因となります。取り扱いには十分にご注意ください。
- 極端な高温・低温・多湿は避けてください。
(周辺温度5℃〜35℃、湿度45%〜85%の範囲内でご使用ください。)
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 汚れたときは、柔らかい布で乾拭きをしてください。ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤などを用いると外装や文字が変質するおそれがありますので、使用しないでください。
- 一般電話・テレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで本製品を使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 通話中や充電中など、温かくなることがありますが異常ではありません。
- バッテリーは、電源を切ってから取り外してください。

本体について

- 公共の場所でご使用になるときは、周囲の迷惑にならないようご注意ください。
- 電話帳やメモ帳などに登録した内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は手帳などに控えておいてください。なお、事故や故障が原因で電話帳やメモ帳などが変化・消失した場合の損害および損失利益につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ストラップなどを持って振り回さないでください。けがなどの事故、故障や破損の原因となることがあります。また、ヒモが傷ついているなど傷んだストラップは取り付けないでください。
- 強く押す、たたくなど、故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や、破損の原因となることがあります。
- ポケットおよびバッグなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの堅い部材にあたらないようにしてください。また、金属などの堅い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となることがありますのでご注意ください。
- 受話音声をお聞きになるときは、受話部が耳の中央にあたるようにご使用ください。受話部(音声穴)が耳周囲に塞がれて音声が聞きづらくなる場合があります。
- 寒い屋外から急に暖かい室内に移動したときや、湿度の高い場所でご使用になったとき、本体内部に水滴が付くことがあります。(結露といいます)このような条件下での使用は故障の原因となりますので、ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口などの近くに置かないでください。急激な温度変化により結露すると、内部が腐食し故障の原因となります。
- 水をかけないでください。本製品は、防水仕様ではありません。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本製品に使用しているディスプレイは、極めて稀にバックライトがOFFになったときに黒いラインが入る場合がありますが、表示機能および性能には影響がありませんので、あらかじめご了承ください。

バッテリーについて

- 夏季、閉めきった車内に放置するなど極端な高温や冬季の低温環境では、バッテリーの容量が低下し利用できる時間が短くなります。また、バッテリーの寿命も短くなります。できるだけ常温でご使用ください。
- 長時間ご使用にならなかったときは、ご使用の前に必ず充電してください。(充電中、バッテリーが温かくなることがありますが異常ではありません。)
- バッテリーには寿命があります。充電をくり返すうちに利用可能時間は徐々に短くなります。最初に比べて利用可能時間が半分程度になってきたら交換時期です。新しいバッテリーをお買い求めください。なお、バッテリーの寿命は使用状態などにより異なります。
- 不要になったバッテリーは一般のゴミと一緒に捨てないでください。

Li-ion 00

環境保護のため、寿命となったバッテリーは普通のゴミと一緒に捨てずに最寄りのウィルコムプラザ／ウィルコムカウンター、またはリサイクル協力店などにお持ちください。
充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関するお問い合わせ先：
一般社団法人JBRC
TEL：03-6403-5673
ホームページ：http://www.jbrc.com

暗証番号／パスワードについて

- 本製品には、本製品の暗証番号、LI暗証番号、リモートロックの許可パスワードがあります。
  - 本製品の暗証番号は、電話帳ロックやダイヤルロック、設定リセット、メールや電話帳の全件削除などの機能を利用するときに必要な暗証番号です。
  - LI暗証番号は、LI機能を設定するときに必要な暗証番号です。(「現在の位置情報を通知する」☞137ページ)
  - 許可パスワードは、他の電話機から本製品にリモートロックをかけるときに必要なパスワードです。(「遠隔操作で本製品の機能をロックする〈リモートロック〉」☞120ページ)

お買い上げ時：
暗証番号：「0000」
LI暗証番号：「0000」
許可パスワード：未登録

- 本製品の暗証番号、LI 暗証番号はお買い上げ時に設定されていますが、変更することもできます。(☞125、140ページ)
  リモートロックの許可パスワードは、お買い上げ時に未登録となっており、リモートロック機能を利用する場合には登録が必要です。(☞121ページ)

お願い

- 暗証番号／パスワードは秘密保持および、誤操作防止のために使用される大切な番号です。番号をお忘れにならないようご注意ください。
- 暗証番号／パスワードをお忘れになった場合は、修理扱いとなり有償修理対応となりますので、ウィルコムサービスセンター(☞167ページ)にお問い合わせください。

本製品の暗証番号					LI暗証番号				

許可パスワード								

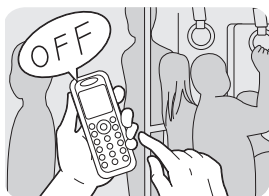
使用材料と表面処理について

使用箇所	使用材料	表面処理
外装ケース	ポリカーボネート樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理（クリア）
ディスプレイウインドウパネル	アクリル樹脂	ハードコート処理
キー（カーソルキー）	ABS樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理（クリア）
キー（カーソルキー以外）	ポリカーボネート樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理（クリア）

マナーについて

マナーもいっしょに携帯しましょう

周囲への心配りを忘れずに、楽しく安全に使いましょう。

使用禁止の場所では電源を切りましょう

- 電波が飛行に支障をきたすおそれがありますので、航空機内では電源を切っておきましょう。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカを装着している方がいる可能性がありますので、電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

使用する場所の状況や、声の大きさに気をつけましょう

- 自動車運転中の使用は危険なため法律で禁止されています。運転中は電源を切るか安全運転モード（☞50ページ）などにして安全運転を心がけましょう。
- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、電話をかけることを控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように、電源を切るかマナーモード（☞52ページ）を利用しましょう。
- 街中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。
- 電車の車内やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。

もくじ

つづく

2 基本的な使いかた

3 文字の入力と設定

3 文字の入力と設定（つづき）

4 電話帳の使いかた

5 メールの使いかた

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

つづく

5 メールの使いかた（つづき）

6 音/バイブレータ/LEDの設定

7 画面/照明の設定

8 セキュリティ機能の設定

8 セキュリティ機能の設定 （つづき）

9 その他の便利な機能

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

つづく

10 ウィルコムの各種サービス

11 付　録

1 ご使用になる前に

本書の読みかた

ここでは、本書の説明方法やマークにどのような意味があるのかを紹介します。

- キー操作の表記については、「キー操作の基本」(☞26ページ)をご参照ください。
- 下記のページは説明のためのサンプルです。

許可パスワードを登録する　〈許可パスワード登録〉

リモートロックをかけるために必要なパスワードを登録します。
パスワードは4～8桁の数字で登録します。

お買い上げ時：
「未登録」

リモートロック設定画面で

1「許可パスワード登録」➡ 登録する許可パスワードを入力 ➡ ■【決定】➡ もう一度登録する許可パスワードを入力 ➡ ■【決定】➡ ■【OK】

お願い
- リモートロックをかけるためには、許可パスワードが必要です。登録後はお忘れにならないようメモを取るなどして、手元にお控えください。

お知らせ
- 許可パスワードは本製品の暗証番号とは異なります。
（「本製品の暗証番号を変更する〈暗証番号変更〉」☞125ページ）
- 登録した許可パスワードは変更することもできます。

遠隔操作を許可する電話番号を登録／削除する　〈許可番号登録〉

遠隔操作を許可する電話番号を登録します。電話番号は、電話／ライトメールそれぞれ3件まで登録できます。
許可番号を1件も登録していない場合は、すべての電話番号から遠隔操作を行うことができます。

お買い上げ時：
「未登録」

許可番号を登録する

例：電話による遠隔操作の電話番号を登録する場合

リモートロック設定画面で

❶ **2「サブアドレス起動」➡ 1「許可番号登録」**
ライトメールによる遠隔操作の電話番号を登録する場合は、❶の操作で3「ライトメール起動」➡ 1「許可番号登録」を押してください。

❷ **で電話番号を選択 ➡ ■【決定】➡ 許可する電話番号を入力 ➡ ■【確定】**

お知らせ
- 入力できる電話番号は32桁までです。

8 セキュリティ機能の設定

つづく 121

各部の名称と機能

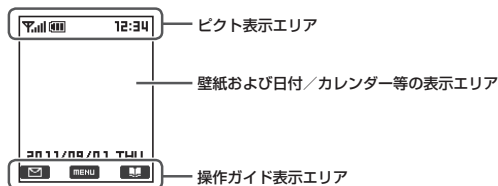
各部の名称

❶ディスプレイ
❷カーソルキー
❸センターキー
❹左機能キー
❺通話キー
❻＊キー／マナーモードキー
❼マイク（送話口）
❽表示ランプ
❾イヤースピーカ（受話口）
❿赤外線通信ポート
⓫右機能キー
⓬電源・終話キー
⓭ダイヤルキー
⓮＃キー／安全運転モードキー

各部の機能

❶ディスプレイ	「ディスプレイの見かた」☞24ページ
❷カーソルキー ・待受中に ・待受中に ・待受中に ・待受中に	画面上のカーソルを上下左右移動するときに押します。 発信履歴（リダイヤル）が表示されます。 着信履歴が表示されます。 電話帳の検索画面が表示されます。 スケジュールが表示されます。
❸センターキー	各機能の登録や設定をするときや、選んだ項目を確定するときに押します。（ディスプレイ中央下に表示している機能を操作するときに押します） またキーロックを設定／解除するときに押します。
❹左機能キー	ディスプレイ左下に表示している機能を操作するときに押します。
❺通話キー	電話をかけるときや受けるときに押します。 文字入力中は、文字入力モードを切り替えます。
❻⚹キー／マナーモードキー	電話番号や文字を入力するときに押します。 また、マナーモードやマナー着信を設定するときに押します。
❼マイク（送話口）	通話中に自分の声を相手に伝えます。
❽表示ランプ	電話やメールを着信したときに点滅してお知らせします。 また、充電中は赤く点灯し、充電が完了すると消灯します。
❾イヤースピーカ（受話口）	通話中に相手の声が聞こえます。
❿赤外線通信ポート	赤外線通信を行うときに使用します。
⓫右機能キー	ディスプレイ右下に表示している機能を操作するときに押します。
⓬電源・終話キー	電話を切るときに押します。また電源を入れるときや切るとき、機能の設定を終了するときに押します。
⓭ダイヤルキー	電話番号や文字を入力するときに押します。
⓮＃キー／安全運転モードキー	電話番号や文字を入力するときに押します。 また、安全運転モードを設定するときに押します。
⓯スピーカ	電話がかかってきたとき、着信音が鳴ります。
⓰ハンドストラップ取り付け部	ハンドストラップを取り付けます。
⓱USB端子	充電するとき、このUSB端子にACアダプタを接続します。
⓲バッテリーカバー	バッテリーを交換するとき、このカバーを開きます。

ディスプレイの見かた

ディスプレイに表示される内容は次のようになっています。

お知らせ

- 本書内の画面表記では、ピクト表示エリアを省略している場合があります。
- 本書内の画面表記は実際の画面と書体や形状、明るさが異なる場合があります。

ディスプレイの照明について

電源を入れたときや、電話／メールの着信があったとき、キー操作中などに照明が点灯します。ディスプレイの照明の点灯時間や明るさを、お好みに合わせて変更することができます。

- 「画面の点灯時間を設定する〈液晶画面〉」☞113ページ
- 「画面の明るさを設定する〈輝度調整〉」☞114ページ
- 「画面のコントラストを設定する〈コントラスト〉」☞114ページ

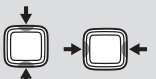
ピクト表示エリア

表示内容	表示の意味	
（電波状態表示）	受信している電波状態を表示します。	
	弱 ←→ 強（電波が十分届いています）	
	圏外　サービスエリア外にいるか、電波が届いていません。	
	OFF　停波モードがONになっているため、電波の送受信が停止中です。	
（バッテリー残量表示）	バッテリー残量の目安を表示します。	
	充電中を示します。	
	十分残っています。	少なくなっています。
	あまりありません。充電してください。	
	ほとんどありません。充電してください。 （警告音が鳴り、約60秒後に電源が切れます。）	

表示内容	表示の意味
（未読メール 有）	未読のメールがあるときに表示されます。
（通話中表示）	通話中に表示されます。
12:34（時計表示）	現在の時刻が表示されます。
（バイブレータ表示）	音声着信（☞106ページ）のバイブレータを設定しているときに表示されます。
（サイレント表示）	音声着信（☞105ページ）の着信音量を「OFF」に設定しているときに表示されます。
（マナーモード表示）	マナーモード（☞52ページ）を設定しているときに表示されます。
（安全運転モード表示）	安全運転モード（☞50ページ）を設定しているときに表示されます。
（留守電設定中）	留守電（☞48ページ）を設定しているときに表示されます。
（録音件数表示）	留守録の録音件数が表示されます。（☞48ページ）
（小声通話中表示）	小声通話中（☞42ページ）に表示されます。
（ダイヤルロック表示）	ダイヤルロック（☞118ページ）を設定しているときに表示されます。
LI（位置情報〔LI〕表示）	自動位置情報送出（☞137ページ）を設定しているときに表示されます。
（アラーム表示）	アラーム（☞130ページ）を設定しているときに表示されます。
分計（料金分計表示）	料金分計（☞146ページ）を設定しているときに表示されます。

壁紙および日付／カレンダー等の表示エリア

表示内容	表示の意味
壁紙表示	壁紙はお好みに合わせて設定できます。（☞112ページ）
日付／カレンダー表示	日付と時刻を設定し（☞32ページ）、待受画面の時計の表示方法を設定して表示します。（☞132ページ）
☆☆☆☆☆☆☆ **（リモートロック表示）**	リモートロック中（☞120ページ）に表示されます。

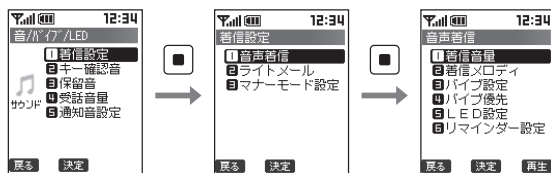
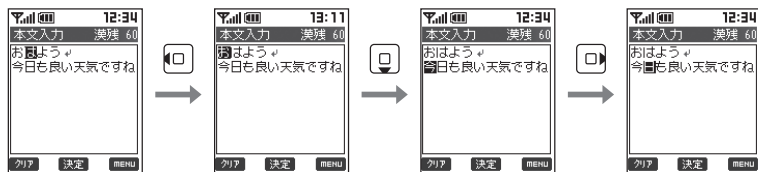
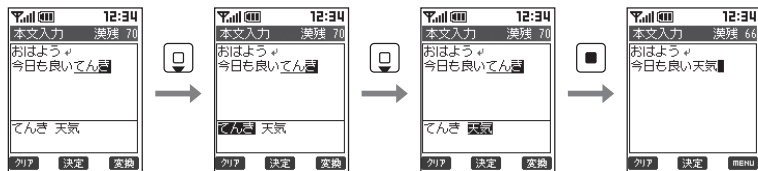
操作ガイド表示エリア

表示内容	表示の意味
機能キー機能表示	、■、に対応する機能が表示されます。（「機能キーの操作について」☞28ページ）
（キーロック表示）	キーロック中（☞116ページ）に表示されます。

キー操作の基本

本製品では、カーソルキー、センターキー、および機能キーを使って機能を呼び出し、設定や登録を行います。
ここでは、各キーの使いかたと、本書内でのキー表記について説明します。

カーソルを動かして選択／確定する（カーソルキー／センターキー）

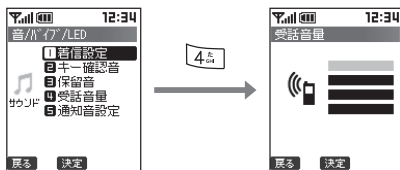
本書内の表記	キーの操作	説明
または		項目を選択したり、文字入力中にカーソルを動かしたりするときに使用します。を押し続けると画面をスクロールすることができます。
		選択されている項目の確定や、文字入力中の変換候補の確定に使用します。また、操作ガイド表示エリアの中央に表示されている機能を実行するときにも使用します。（「機能キーの操作について」☞28ページ）

■ 各種メニュー画面で項目を選択して決定する場合

■ 文字の入力画面でカーソルを移動する場合

■ 文字の入力画面で変換候補を決定する場合

スクロールマークについて

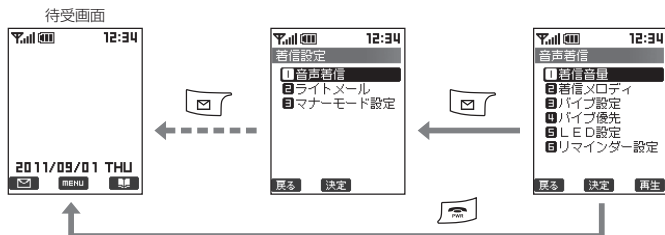
項目が画面内に表示しきれない場合は、スクロールマークが表示され、[◎]で項目の続きを確認することができます。

ダイヤルキーを使って項目を選択する

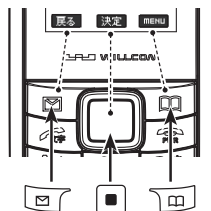
メニュー項目の左側に番号(0～9、*、#)が表示されているときは、(カーソルを合わせ[■]で選択する以外に)対応するキーを押して選択／決定することができます。

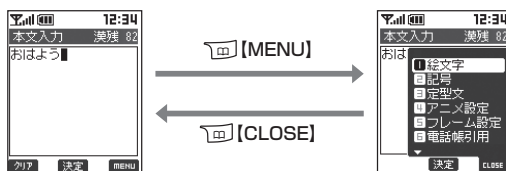
例：項目4「受話音量」を選択する場合

一つ前の画面に戻る／操作を中止する(左機能キー／電源・終話キー)

途中操作がわからなくなったときや間違えたときは、[✉]【戻る】(操作ガイド表示エリアに【戻る】が表示されている場合)を押して前の画面に戻ることができます。
また、[PWR]を押すと操作を中止して待受画面に戻ることができます。

つづく

機能キーの操作について

ディスプレイの操作ガイド表示エリアに表示されている機能を表示／実行するときは、表示位置に対応するキーを押します。

本書での表記	説明
（左ソフトキー）	操作ガイド表示エリアの左側に表示された機能を実行します。（右図では【戻る】で一つ前の画面に戻ります）
■	操作ガイド表示エリアの中央に表示された機能を実行します。（右図では【決定】で項目を確定します）
（右ソフトキー）	操作ガイド表示エリアの右側に表示された機能を実行します。（右図では【MENU】でメニューを表示します）

メニューを使う

操作ガイド表示エリア右側に【MENU】が表示されているときに（右ソフトキー）を押すと、メニューが表示されます。画面によって表示される内容が異なります。
メニュー項目が画面内に表示しきれない場合は、左側にスクロールマークを表示します。
（「スクロールマークについて」☞27ページ）

主なキーの役割について

主なキーの役割と機能は以下のとおりです。キーを長く（約1秒以上）押すことで通常のキー操作と役割が変わるキーがあります。

本書での表記	待受中／着信中／通話中の役割	機能設定中の役割
■	**待受中：** 短く押す：メインメニューの呼び出し 長く（約1秒以上）押す：キーロック設定／解除 **通話中：** メインメニューの呼び出し	操作ガイド表示エリア中央の表示機能の実行
（上キー）	**待受中：** 電話帳検索の呼び出し **通話中：** 受話音量を大きく	カーソルを上に移動 音量を大きく
（下キー）	**待受中：** スケジュールの呼び出し **着信中：** クイックサイレント **通話中：** 受話音量を小さく	カーソルを下に移動 音量を小さく

本書での表記	待受中／着信中／通話中の役割	機能設定中の役割
	待受中／**通話中**：着信履歴表示	カーソルを左に移動
	待受中／**通話中**：発信履歴表示	カーソルを右に移動
	待受中：短く押す：メールメニューの呼び出し 長く（約1秒以上）押す：留守録再生 **着信中**：留守電応答 **通話中**：短く押す：保留／保留解除 長く（約1秒以上）押す：小声通話の設定／解除	操作ガイド表示エリア左側の表示機能の実行
	待受中：短く押す：電話帳メニューの呼び出し 長く（約1秒以上）押す：アンテナサーチ起動 **通話中**：短く押す：電話帳メニューの呼び出し 長く（約1秒以上）押す：アンテナサーチ起動	操作ガイド表示エリア右側の表示機能の実行
文字	**待受中**：発信 **着信中**：着信応答	発信（一部の機能） 文字の入力モードの切り替え
PWR	**待受中**：短く押す：ディスプレイバックライトの点灯／消灯 長く（約1秒以上）押す：電源のOFF **着信中**：長く（約1秒以上）押す：電源のOFF **通話中**：短く押す：終話 長く（約1秒以上）押す：電源のOFF	短く押す：機能操作の中止 長く（約1秒以上）押す：電源のOFF
0～9	**待受中**：電話番号の入力	項目番号の選択 数値／文字の入力
*	**待受中**：短く押す：電話番号の入力 長く（約1秒以上）押す：マナーモードの設定／解除 **着信中**：長く（約1秒以上）押す：マナー着信の設定／解除	項目番号の選択 文字入力
#	**待受中**：短く押す：電話番号の入力 長く（約1秒以上）押す：安全運転モードの設定／解除	項目番号の選択 文字入力 改行の入力

バッテリーについて

お買い上げ時、バッテリーは十分に充電されていません。初めてご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、必ず専用のACアダプタで充電してからご使用ください。
※ バッテリーの取り付け方法については、「バッテリーの交換」(☞148ページ)をご参照ください。

充電時間とご利用可能時間

充電時間	約3時間	空のバッテリーを本製品の電源を切った状態でACアダプタを使用して充電したとき
連続待受時間	約500時間	電源を入れたまま、キー操作や通話を行わないで待受状態を続けられる時間
連続通話時間	約5.0時間	通話を続けられる時間

お願い

- 「連続待受時間」とは、十分に充電された新品のバッテリーを装着し、通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態で算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所(ビル内、カバンの中など)や圏外表示の状態では、ご利用時間が短くなることがあります。
- 実際のご利用可能時間は、発信、着信の回数によって異なり、実際に使用された通話時間や移動距離が長い場合には短くなります。また、圏外や電波が不安定な場所(ビル内、カバンの中、サービスエリア内外の移動など)での待受、移動距離、バッテリーの充電状態、機能の設定状態、気温などの使用環境により通話／待受時間は半分以下になる場合があります。
- ディスプレイの照明が点灯している状態でのご利用(電話帳の操作／メール操作など)が多い場合、連続待受時間、連続通話時間が短くなります。
- キー操作を長時間繰り返し行うと、バッテリーの消耗が早くなり、連続待受時間、連続通話時間が短くなります。
- バッテリーを空の状態で放置しないでください。バッテリーが空の状態で放置されると、充電できなくなる場合があります。長時間ご使用にならないときは、ときどき充電をして空の状態を避けてください。
- バッテリーには寿命があります。充電を繰り返すうちに利用可能時間は除々に短くなります。最初に比べて利用可能時間が半分程度になってきたら交換時期です。新しいバッテリーをお買い求めください。
  なお、バッテリーの寿命は使用状態などにより異なります。
- 不要になったバッテリーは一般のゴミと一緒に捨てないでください。

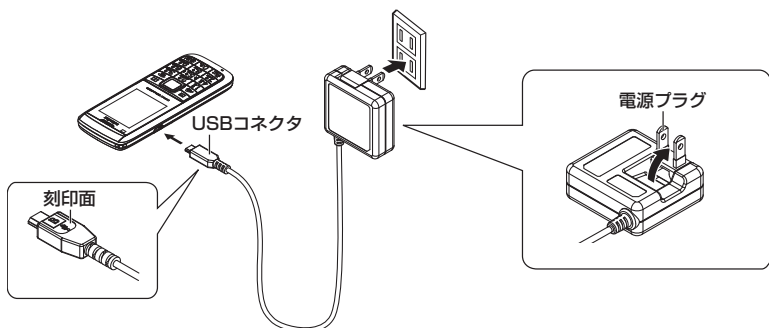
環境保護のため、寿命となったバッテリーは普通のゴミと一緒に捨てずに最寄りのウィルコムプラザ／ウィルコムカウンター、またはリサイクル協力店などにお持ちください。
充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関するお問い合わせ先：
一般社団法人JBRC
TEL：03-6403-5673
ホームページ：http://www.jbrc.com

充電する

お買い上げ時、バッテリーは十分に充電されていません。初めてご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、必ず専用のACアダプタで充電してからご使用ください。

■ ACアダプタで充電する

❶ 本製品のUSB端子にACアダプタのUSBコネクタを、刻印面が上向きの状態で奥まで差し込みます。

❷ ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセント(AC100V)に差し込みます。

お願い

- ACアダプタについては、ACアダプタの取扱説明書をお読みいただき、正しくお取り扱いください。
- 付属品以外のACアダプタは、動作保証いたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 充電中、周囲の温度が高いか、もしくは低いと保護機能がはたらき、充電できない場合があります。保護機能がはたらくと、バッテリー残量表示に「[アイコン]」が表示されたまま、表示ランプが消灯します。ACアダプタを外し、周囲温度が5℃～35℃の場所にしばらく置いてから、再度充電してください。

お知らせ

- 充電中、バッテリー残量表示は「[アイコン]」が表示され、表示ランプが赤色点灯します。
  充電完了後、消灯します。

つづく

電源をON／OFFにする

電源をONにする

電源をONにしたらバッテリー残量や電波レベルを確認しましょう。

[PWR]を長く（約3秒以上）押す

電源ONのアニメーションが表示された後、待受画面が表示されます。

電源をOFFにする

[PWR]を長く（約1秒以上）押す

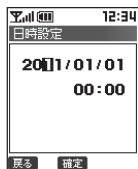
電源OFFのアニメーションが表示された後、電源が切れます。

時計を設定する 〈日時設定〉 機能番号43

待受画面などに表示される日付と時刻を設定します。アラームの設定や、着信履歴、発信履歴、メールの受信日時、送信日時などは、ここで設定した日付に従って動作または表示します。

お買い上げ時：
「2011年1月1日
00:00」

待受画面で

1. **[■]【MENU】➡[4] [3]「日時設定」**
2. **西暦（下2桁）、月、日、時刻（24時制）を入力し、[■]【確定】**
3. **[PWR]**
   待受画面に戻ります。

お願い

- 以下のような場合、「日時設定」がお買い上げ時の設定に戻ることがあります。再度設定を行ってください。
  - 長時間ご使用にならなかった場合
  - バッテリーを外していた場合
  - バッテリー残量が完全になくなってしまった場合
  - すべてリセット（完全消去＋初期化）した場合（☞126ページ）

お知らせ

- 入力できる日付は、2011年1月1日～2099年12月31日までです。

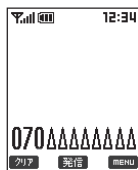
2 基本的な使いかた

電話をかける

電話番号を入力してかける

待受画面で

❶ **ダイヤルキーで電話番号を入力し、[文字]または[■]【発信】**

❷ **通話が終わったら[PWR]**

お願い

- 一般電話へかけるときには、必ず市外局番から入力してください。
- PHS／携帯電話へかけるときには、「0」から始まる11桁の電話番号を入力してください。
- 受話口から「ツーツー」と聞こえるときは以下のいずれかの状態です。
  - 電波が非常に弱い地域
    いったん電話を切り、電波状態のよいところへ移動してから再度かけ直してください。
  - 回線が混んでいる／相手が通話中
    いったん電話を切り、しばらくしてから再度かけ直してください。

お知らせ

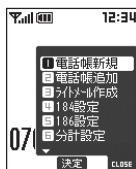
- 通話時間の表示は目安です。
- 入力できる電話番号は32桁までです。
- 入力中は、以下の操作を行うことができます。
  - 入力を間違えたときは[✉]【クリア】を押します。[✉]【クリア】を押すごとに下1桁を削除します。
    また[✉]【クリア】を長押し(1秒以上)すると全桁削除します。
  - 途中の番号を間違えたときは[◀▶]でカーソルを移動させ、希望の位置に番号を追加したり、削除したりできます。
  - 番号(184／186など)入力後、着信履歴(☞38ページ)から電話番号を入力するときは、[▼]を押し、[▲▼]で着信履歴を選択し、[■]【決定】を押します。
  - 番号(184／186など)入力後、電話帳(☞70ページ)から電話番号を入力するときは、[▲]を押し、電話帳を検索後、[■]【決定】➡電話番号を選択し、[■]【決定】を押します。
- 相手がPHS／携帯電話の電源を切っているときや、電波の届かない地域にいるときは、接続できないことを音声ガイダンスでお知らせします。
- 最初に[文字]を押してから電話番号を入力してかけることもできます。
- 特定のISDN端末へ電話をかけるには、以下の手順で行います。
  電話番号を入力 ➡ [＊] ➡ **サブアドレス(ISDN独自の番号)** ➡ [文字]
  入力できるダイヤル桁数(電話番号 ➡ [＊] ➡ サブアドレスの桁数の合計)は32桁までです。
- 通話中にできることについて(☞42ページ)

電話番号入力時のメニューを使う

電話番号入力時のメニューから以下の操作を行い、電話をかけることができます。

待受画面で

❶ 電話番号を入力 ➡ [📖]【MENU】

❷ 以下の[1]～[9]の項目から選択

[1]電話帳新規	入力した電話番号を電話帳に新たに登録します。(「電話帳に登録する」☞70ページ)
[2]電話帳追加	入力した電話番号を電話帳に追加登録します。電話帳検索画面が表示され、電話帳を選択し、追加します。(「他の機能から電話帳に登録する」☞74ページ)
[3]ライトメール作成	入力した電話番号を宛先としたライトメールを作成します。 (「メールを作成して送信する〈ライトメール〉」☞87ページ)
[4]184設定(184解除)	入力した電話番号に184設定(自分の電話番号を通知しない)/解除します。
[5]186設定(186解除)	入力した電話番号に186設定(自分の電話番号を通知する)/解除します。
[6]分計設定(分計解除)	入力した電話番号に料金分計サービスを利用してかけます。 (「料金分計サービスについて」☞146ページ)
[7]ポーズ	ポーズ(P)を入力します。
[8]コピー	入力した電話番号をコピーします。
[9]ペースト	コピーした電話番号をカーソル位置にペースト(貼り付け)します。

最も強い電波を選択する(アンテナサーチ)

待受中または通話中に「アンテナサーチ」を起動すると、その時点で最も強い電波を選択し、切り替えることができます。

待受画面/通話中に

[📖]を長く(約1秒以上)押す

お知らせ

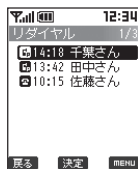
- 場所によっては電波状況が変わらないことがあります。

つづく

発信履歴から電話をかける　〈リダイヤル〉

以前にかけた相手の電話番号は、発信履歴として20件まで記録されます。
20件を超えると、古い履歴から自動的に削除されます。発信履歴から電話をかけることができます。

待受画面で

発信履歴画面

リダイヤル 1/3
14:18 千葉さん
13:42 田中さん
10:15 佐藤さん
戻る　決定　MENU

お知らせ

- シークレットモードを解除しているときは、シークレット登録されている電話帳の名前は表示されません。
  （「シークレットモードを設定／解除する〈電話帳シークレット〉」☞125ページ）
- 電話帳ロックを設定しているときは、登録されている電話帳の名前は表示されません。
  （「電話帳にロックをかける〈電話帳ロック〉」☞118ページ）
- 発信履歴の詳細（発信履歴詳細画面）を表示するには、以下の手順で行います。
  発信履歴画面で発信履歴を選択し、■【決定】
  - 発信履歴の詳細画面
    - ：発信日時
    - ：名前（電話帳に登録されているとき）
    - ※：電話番号

    ※ 発信した電話番号が電話帳に登録されていると、電話番号の種別のアイコンが表示されます。

- 発信履歴詳細画面で電話番号を選択し、■【決定】を押すと、【MENU】を押して電話番号入力時のメニュー（☞35ページ）が使えます。
- 発信履歴詳細画面で名前を選択し、■【決定】を押すと、電話帳詳細画面が表示されます。
- 通話できなかったときも発信履歴は記録されます。

発信履歴画面のメニューを使う

待受画面で

❶ [□] ➡ 発信履歴を選択 ➡ [📖]【MENU】

❷ 以下の[1]～[5]の項目から選択

[1] **電話帳新規**	選択した履歴の電話番号を電話帳に新たに登録します。 （「電話帳に登録する」☞70ページ）
[2] **電話帳追加**	選択した履歴の電話番号を電話帳に追加して登録します。 電話帳検索画面が表示され、電話帳を選択し追加します。 （「他の機能から電話帳に登録する」☞74ページ）
[3] **1件削除**	➡ **「はい」を選択し、[■]【決定】** 選択した履歴を削除します。
[4] **全件削除**	➡ **「はい」を選択し、[■]【決定】** 履歴すべてを削除します。
[5] **ライトメール作成**	選択した履歴の電話番号を宛先としたライトメールを作成します。 （「メールを作成して送信する〈ライトメール〉」☞87ページ）

つづく

着信履歴から電話をかける

かかってきた相手の電話番号は、着信履歴として20件まで記録されます。
20件を超えると、古い履歴から自動的に削除されます。着信履歴から電話をかけることができます。

待受画面で

着信履歴画面

[◁] ➡ [◇]で着信履歴を選択 ➡ [文字]

お知らせ

- シークレットモードを解除しているときは、シークレット登録されている電話帳の名前は表示されません。（「シークレットモードを設定／解除する〈電話帳シークレット〉」☞125ページ）
- 電話帳ロックを設定しているときは、登録されている電話帳の名前は表示されません。（「電話帳にロックをかける〈電話帳ロック〉」☞118ページ）
- 着信拒否を設定している相手からの着信は、着信履歴に記録されません。（「着信拒否を設定する〈着信拒否〉」☞116ページ）
- 着信履歴画面に表示されるアイコンは、以下のとおりです。
  - ：着信通話（電話に出たとき）
  - ：不在着信（電話に出られなかったとき）
  - ：留守録あり〔留守電機能（☞48ページ）／安全運転モード（☞50ページ）で応答したとき〕
- 着信履歴の詳細（着信履歴詳細画面）を表示するには、以下の手順で行います。

  着信履歴画面で着信履歴を選択し、[■]【決定】
  - 着信履歴詳細画面
    - ：着信日時
    - ：名前（電話帳に登録されているとき）
    - ：電話番号または非通知理由

着信履歴詳細画面

- 着信履歴詳細画面で電話番号を選択し、[■]**【決定】**を押すと、[📖]**【MENU】**を押して電話番号入力時のメニュー（☞35ページ）が使えます。
- 着信履歴詳細画面で名前を選択し、[■]**【決定】**を押すと、電話帳詳細画面が表示されます。

着信履歴画面のメニューを使う

待受画面で

❶ [◁] ➡ 着信履歴を選択 ➡ [📖]【MENU】

❷ 以下の[1]～[6]の項目から選択

[1]電話帳新規	選択した履歴の電話番号を電話帳に新たに登録します。 （「電話帳に登録する」☞70ページ）
[2]電話帳追加	選択した履歴の電話番号を電話帳に追加して登録します。 電話帳検索画面が表示され、電話帳を選択し追加します。 （「他の機能から電話帳に登録する」☞74ページ）
[3]1件削除	➡「はい」を選択し、[■]【決定】 選択した履歴を削除します。
[4]全件削除	➡「はい」を選択し、[■]【決定】 履歴すべてを削除します。
[5]ライトメール作成	選択した履歴の電話番号を宛先としたライトメールを作成します。 （「メールを作成して送信する〈ライトメール〉」☞87ページ）
[6]着信拒否	選択した履歴の電話番号を、音声着信の着信拒否リストに追加します。 （「着信拒否する相手を登録／編集する（拒否リスト編集）」☞117ページ）

自分の電話番号を相手に通知する 〈発信番号通知〉 機能番号63

電話をかけるとき、自分の電話番号を相手に通知するかどうかを設定できます。

待受画面で

❶ [■]【MENU】 ➡ [6] [3]「発信番号通知」

❷ 以下の[1]または[2]の項目から選択

[1]ON	電話をかけるとき、自分の電話番号を通知します。
[2]OFF	電話をかけるとき、自分の電話番号は通知されません。

2 基本的な使いかた

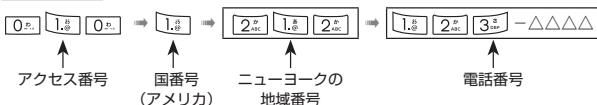
つづく

国際電話をかける

ウィルコムの国際電話サービスを利用して、世界約240の国と地域へ国際電話をかけることができます。

本製品から海外へかける場合

例：アメリカの「212-123-△△△△」へかける場合

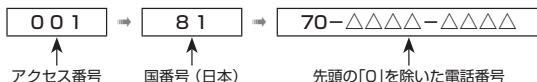
待受画面で

お願い

● 相手先電話番号が「0」で始まる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。（一部の国と地域は除く）

お知らせ

● ウィルコム国際電話サービスについて
- 国際電話をご利用の際、ウィルコムへの申し込みは不要です。
- 国際電話サービスは毎月のご利用限度額が設定されています。ご利用限度額を超過したと確認できた時点から、国際電話サービスがご利用（発信のみ）頂けません。
  超過時はライトメールでお知らせします。
  ご利用限度額の設定解除およびご利用の再開については、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。
- 国際電話サービスは、30秒単位での課金となります。
- 国際電話料金は、毎月のウィルコムのご利用料金と合算してのご請求となります。
- ご利用を希望されない場合は、お申し込みにより国際電話サービスを利用不可にすることもできます。
  詳しくは、ウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

海外から日本国内の本製品へかける場合

例：アメリカから「070-△△△△-△△△△」へかける場合

お知らせ

● アクセス番号は、国によって異なります。

電話を受ける

電話がかかってきたら

着信中に

[文字]を押す

電話を受けることができます。
エニーキーアンサー(☞41ページ)を設定しているときは、[0]～[9]でも電話を受けることができます。

お知らせ

- 電話の着信は、すべての操作に優先して行われます。
- 通信中着信の設定を「ON」に設定すると、通話中でも着信できます。(「通信中着信を設定する」☞44ページ)
- 電話帳に登録している相手からかかってきたときは、着信中に相手の名前が表示されます。
- 通話中や着信中にできることについては、「通話中や着信中にできること」(☞42ページ)をご参照ください。
- 電源をOFFにしているときや、サービスエリア外にいるときにかかってきた電話を、他の電話に転送することができます。(「着信転送サービスについて(申し込み不要)」☞145ページ)
- 電話をかけてきた相手が発信者番号を非通知にしている場合や、公衆電話からかけてきた場合などは、以下のように表示されます。

ユーザ非通知	相手が番号通知を拒否している。
通知不可能	番号通知ができないエリアや電話機からかけている。
公衆電話発信	公衆電話からかけている。

- 発信者番号にサブアドレスが含まれているときは、電話番号の上の行にサブアドレスが表示されます。
- 電話に出られなかったときは「不在着信あり」と表示され、お知らせします。
  [■]【MENU】または[◀]を押すと着信履歴画面を表示します。

エニーキーアンサーを設定／解除する　〈エニーキーアンサー〉 機能番号62

電話がかかってきたとき[文字]、[0]～[9]のいずれかのキーを押して電話を受けることができます。
エニーキーアンサーを解除すると、[文字]のみで電話を受けるようにすることができます。

待受画面で

❶ [■]【MENU】➡ [6] [2]「エニーキーアンサー」

❷ 以下の[1]または[2]の項目から選択

[1]ON	エニーキーアンサーを設定します。
[2]OFF	エニーキーアンサーを解除します。

2 基本的な使いかた

通話中や着信中にできること

通話中に受話音量を調節する

通話中に相手の声の大きさを「音量レベル1」(最小)〜「音量レベル4」(最大)の4段階に調節します。

お買い上げ時：「音量レベル3」

通話中に

[上下キー]で音量を調節する

お知らせ

- 電話を切った後も、受話音量の設定は保持されます。

小さな声で話せるようにする(小声通話)

公共の場所や静かな場所で、周囲に迷惑をかけないように小さな声で話せるように設定します。小声通話中は小さな声でお話ししても、相手には通常の声の大きさで伝わります。

お買い上げ時：「OFF」

通話中に

[メールキー]を長く(約1秒以上)押す

もう一度[メールキー]を長く(約1秒以上)押すと小声通話は解除されます。

お知らせ

- 小声通話中は、画面に「[小声通話アイコン]」が表示されます。
- 小声通話は電話を切ると解除されます。
- あらかじめ小声通話を設定しておくこともできます。(☞136ページ)

通話中に保留する

通話中に相手に待っていただきます。保留中は相手に保留音が流れ、お互いに相手の声が聞こえません。

通話中に

❶ [メールキー]【保留】を押す

通話を保留します。

❷ 通話できる状態になったら ➡ [メールキー]【戻る】を押す

相手と通話ができます。

お知らせ

- 保留音は変更できます。(☞108ページ)

かかってきた電話を留守応答する

着信中の電話に出られないときは、着信中にキー操作を行うことで、一時的に留守電機能（☞48ページ）で設定している応答メッセージで自動応答し、相手のメッセージを録音できます。

着信中に

【 】を押す

お知らせ

- 上記の操作を行っても、留守電設定の状態は変わりません。
- 録音ができない場合は、「ただいま電話に出ることができません。のちほどおかけ直しください。」というメッセージを再生し、電話を切ります。

着信中に着信音を一時的に切る（クイックサイレント）

着信中、鳴っている着信音を停止させることができます。

着信中に

を押す

着信中に着信音をバイブレータに切り替える（マナー着信）

着信中、鳴っている着信音を停止させてバイブレータの振動に変えることができます。

着信中に

を長く（約1秒以上）押す

マナーモードが設定され、バイブレータ（パターン1）に切り替わります。

お願い

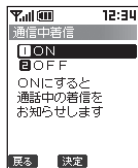
- 上記の操作後はマナーモードが設定されます。（「マナーモードを設定する」☞52ページ）
  マナーモードを解除するときは を長く（約1秒以上）押してください。

通信中着信を設定する　機能番号64

通信中着信の設定を「ON」に設定すると、通話中に電話がかかってきたとき、電話の着信をお知らせします。

待受画面で

❶ ■【MENU】➡ 6 4「通信中着信」

❷ 以下の1または2の項目から選択

1 ON	通話中、電話の着信をお知らせします。
2 OFF	通話中、電話の着信ができません。

お知らせ

- 通話中に着信した電話を受けることはできません。
- ライトメール送受信中は着信できません。また、通話中にライトメールは受信できません。
- 通信中着信の設定を「ON」に設定したとき、通話中に電話の着信があると、通話中の画面に着信した電話番号が表示されます。■【OK】を押すと通話中の画面に戻ります。
  通話後、待受画面に「不在着信あり」と表示され、着信履歴に記録されます。
- 通信中着信の設定を「ON」にすると、通話中に自動位置情報送出で位置情報が通知されたとき「位置情報通知着信がありました」と表示されます。（「現在の位置情報を通知する」☞137ページ）

通話中にプッシュ信号を送る

「ピッポッパッ」というプッシュ信号を送ることにより、留守番電話のリモート操作、チケット予約や留守番電話サービスの設定変更などのプッシュホンサービスを利用することができます。また、電話帳や発信履歴／着信履歴に登録したダイヤルをプッシュ信号で送出するときに、電話番号の番号と番号の間に「P（ポーズ）」を入れることにより、「P」の後の番号を一時停止させ、文字で続きの番号をプッシュ信号で送信することができます。

お知らせ

- 電波状態が悪いと送れないことがあります。
- 通話中に「P」を入力することはできません。「P」は電話をかける前に入力しておくか、電話帳に登録しておく必要があります。
- P（ポーズ）を入力するには、以下の手順で行います。
  発信先の電話番号を入力 ➡ 【MENU】を押す ➡ 「ポーズ」を選択し、■【決定】
  入力した電話番号の後にP（ポーズ）が表示されます。

ダイヤルキーを使ってプッシュ信号を送る

通話中に

ダイヤルキーで番号を入力する

発信履歴／着信履歴からプッシュ信号を送る

待受画面で

❶ （発信履歴）または（着信履歴）➡ プッシュ信号を送る履歴を選択し、■【決定】➡ 電話番号を選択し、■【決定】

❷ 【MENU】➡ 7「ポーズ」

ポーズ（P）が入力されます。

❸ プッシュ信号を送る番号を入力

さらにプッシュ信号を送る場合は、❷～❸を繰り返し、P（ポーズ）とプッシュ番号を入力します。

❹ または■【発信】を押す

最初のポーズ（P）までを送信します。
以降を押すごとに次のポーズを送信します。

電話帳に登録したプッシュ信号を送信する

「P（ポーズ）」で区切られた番号ごとに送信します。

例：チケット予約のために、予約センターの電話番号「03-0011-△△△△」、会員番号「6666」、チケット番号「9999」を送信する場合（この場合、電話帳に『03-0011-△△△△P6666 P9999』と登録しておきます。）

待受画面で

❶ 【】➡ 1「電話帳検索」➡ プッシュ信号を登録した電話帳を選択し、■【決定】

❷ を押す

電話番号「03-0011-△△△△」までを送信します。

❸ 通話状態になったら、を押す

会員番号「6666」を送信します。

❹ を押す

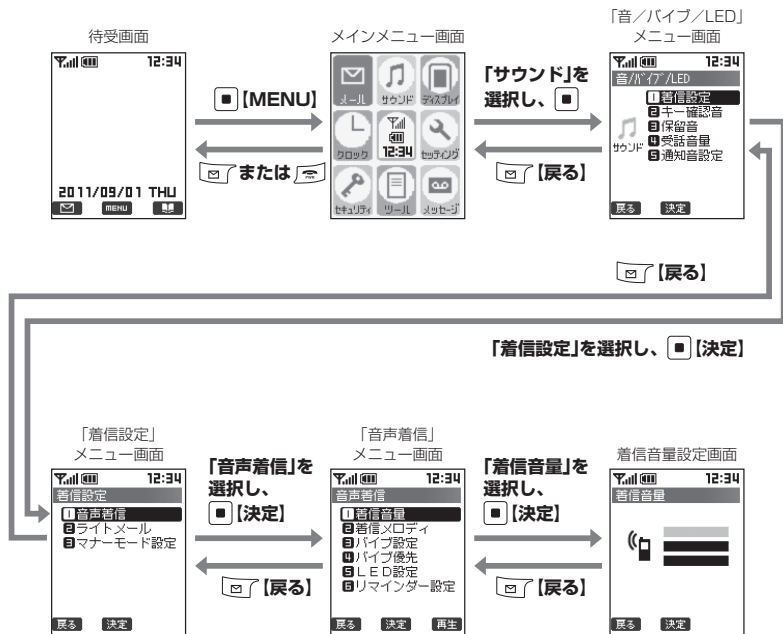
チケット番号「9999」を送信します。

メインメニューから機能を呼び出す

機能の設定や確認はメインメニューから行います。

項目を選んで機能を呼び出す

待受画面で

例：機能番号2111　着信音量(音声着信)

お知らせ

- を押すと、待受画面に戻ります。

機能番号を入力して機能を呼び出す

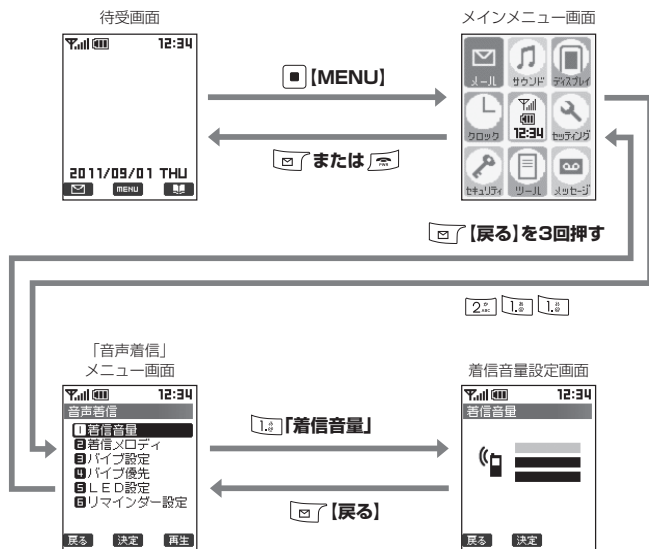
メインメニューで、機能番号をダイヤルキーで入力して呼び出します。機能番号を覚えておくと、すばやく呼び出すことができます。各機能番号とその機能名については、「機能一覧」(☞154ページ)をご参照ください。

待受画面で

例：機能番号2111　着信音量(音声着信)

お知らせ

● を押すと、待受画面に戻ります。

留守電機能を使う 〈留守電機能〉 機能番号92

電話に出られないときに相手の用件を録音する

電話に出られないとき、着信後約30秒後に自動的に応答メッセージを流して相手の伝言を録音します。応答メッセージは自分で録音するメッセージと固定メッセージから選択できます。
録音件数は、留守電と安全運転モード時に録音した相手のメッセージ(☞50ページ)と合わせて、4件まで録音できます。録音時間は4件合わせて約60秒までです。

伝言録音中画面

お知らせ

- 1件の録音時間が長い場合、録音できる件数は少なくなります。
- ウィルコムで提供している留守番電話サービス(「留守番電話サービスについて〈留守電サービス〉」☞142ページ)とは異なります。
- 本製品の留守電機能と、留守番電話サービスの両方を利用されているときは、本製品の留守応答時間(約30秒)と留守番電話センター呼び出し時間で、短く設定されている方が優先されます。留守番電話センターの呼び出し回数の変更方法については、「留守番電話サービスの設定を変更する〈留守電サービス設定〉」(☞144ページ)をご参照ください。

留守電を設定／解除する 〈留守電設定〉 機能番号921

待受画面で

お買い上げ時：「OFF」

❶ [■]【MENU】➡ [9] [2] [1]「留守電設定」

❷ 以下の[1]または[2]の項目から選択

[1] ON	[1] 固定	着信約30秒後に「ただいま電話に出ることができません。ピーとなりましたら、お名前とご用件をお話しください。」と固定メッセージで応答し、録音が始まります。
	[2] 録音データ	自分で録音したメッセージで応答し、録音が始まります。(「応答メッセージを録音／再生／消去する〈応答トーキ設定〉」☞49ページ)
	[□]【再生】を押すと、応答メッセージが再生され確認できます。	
[2] OFF	留守電機能が解除されます。	

お知らせ

- 録音中に録音時間がなくなったときは、録音を終了し、電話を切ります。
- 録音件数が、留守電・安全運転モード時に録音した相手のメッセージ(☞50ページ)と合わせて、すでに4件または60秒録音されている場合は、「ただいま電話に出ることができません。のちほどおかけ直しください。」の応答メッセージを再生し、録音を行わずに電話を切ります。
- 留守電を設定すると、待受画面に「[留守電アイコン]」が表示されます。
- 留守録動作中(応答メッセージ再生中や録音中)に、[通話キー]を押すと、留守録動作を中断し、通話をすることができます。中断までの内容は録音されています。

応答メッセージを録音／再生／消去する〈応答トーキ設定〉 機能番号922

留守電の応答メッセージを録音します。
応答メッセージは1件、約10秒まで録音できます。

待受画面で

❶ [■]【MENU】 ➡ [9] [2] [2]「応答トーキ設定」

❷ 以下の[1]～[3]の項目から選択

[1]録音	➡ [■]【OK】➡ 録音開始 ➡ 約10秒経過または[■]【OK】で録音終了 ➡「はい」を選択し、[■]【決定】
[2]再生	応答したメッセージを再生します。
[3]消去	➡「はい」を選択し、[■]【決定】 録音した応答メッセージを消去します。

留守録を再生／消去する

留守録と安全運転モード中に録音された内容を聞くことができます。
録音されているときは、待受画面に「📼_1」(数字は録音件数)が表示されます。

再生する 〈留守録再生〉 機能番号923

待受画面で

[■]【MENU】 ➡ [9] [2] [3]「留守録再生」➡
再生したい留守録を選択し、[■]【決定】

録音されたメッセージが再生されます。

留守録再生画面

お知らせ

- 以下の方法でも、留守録再生画面を表示して留守録を再生することができます。
  待受画面で「[✉]」を長く(約1秒以上)押す
- 再生中に[■]【OK】を押すと、再生が終了します。

消去する

待受画面で

❶ ■【MENU】➡ 9 2 3「留守録再生」➡
消去したい留守録を選択 ➡ 📖【MENU】

❷ 以下の1または2の項目から選択

1 1件消去	➡「はい」を選択し、■【決定】 選択した留守録を消去します。
2 全件消去	➡「はい」を選択し、■【決定】 すべての留守録を消去します。

お知らせ

- 以下の方法でも、留守録再生画面を表示して留守録を消去することができます。
  待受画面で「✉」を長く（約1秒以上）押す

安全運転モードを設定する

運転中に電話がかかってきたとき、運転の妨げにならないように、着信音やバイブレータを「OFF」に切り替えることができます。このとき相手には、運転中のため通話ができないことをお知らせし、メッセージを録音してもらうことができます。録音件数は、安全運転モード時の相手のメッセージと留守録（☞48ページ）と合わせて4件まで録音できます。メッセージの再生／消去方法については、「留守録を再生／消去する」（☞49ページ）をご参照ください。

待受画面で

#を長く（約1秒以上）押す

お願い

- 安全運転モードと留守電の両方が設定されている場合、安全運転モードが優先されます。
- 安全運転モード設定中の着信は、📞を押しても通話できません。

お知らせ

- 安全運転モードに設定すると、待受画面に「🚗」が表示されます。
- 安全運転モードに設定すると、お買い上げ時は、相手には以下のようなメッセージでお知らせします。

伝言の録音ができるとき	「ただいま運転中のため、電話に出ることができません。ピーッとなりましたらお名前とご用件をお話しください。」
伝言の録音ができないとき	「ただいま運転中のため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」

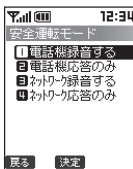
- 安全運転モード設定中でも、通常どおり電話をかけることができます。

応答先と応答方法を切り替える　〈安全運転モード〉 機能番号93

安全運転モード設定中の応答先と応答方法を切り替えることができます。
サービスの詳細についてはウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

待受画面で

❶ [■]【MENU】➡ [9] [3]「安全運転モード」

❷ 以下の[1]～[4]の項目から選択

[1] 電話機録音する	本製品が「ただいま運転中のため、電話に出ることができません。ピーッとなりましたらお名前とご用件をお話しください。」と応答し、相手のメッセージが録音できます。 録音件数は留守録と合わせて4件までです。録音時間は4件合わせて約60秒までです。
[2] 電話機応答のみ	本製品が「ただいま運転中のため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」と応答し、電話を切ります。相手のメッセージは録音できません。
[3] ネットワーク録音する	ウィルコムの留守番電話センターが「ただいま運転中のため、留守番電話センターでメッセージをお預かりいたします。発信音のあとに、60秒以内でメッセージを録音してください。」と応答し、相手のメッセージが録音できます。 （ウィルコムの留守番電話サービスへのお申し込みが必要です☞142ページ）
[4] ネットワーク応答のみ	ウィルコムの安全運転モードで応答し、「ただいま運転中のため、電話に出ることができません。しばらく経ってからおかけ直しください。」のメッセージのあと電話を切ります。相手のメッセージは録音できません。

お願い

- ウィルコムの留守番電話サービスをご契約されていない場合は、「電話機録音する」、「電話機応答のみ」または「ネットワーク応答のみ」を選択してください。

お知らせ

- 「電話機録音する」に設定している場合、1件の録音時間が長いと、録音できる件数は少なくなります。
- 「ネットワーク録音する」に設定したときの録音メッセージの再生方法については、「メッセージを聞く〈留守電サービス再生〉」（☞143ページ）をご参照ください。

安全運転モードを解除する

待受画面で

安全運転モード設定中に[#]を長く（約1秒以上）押す

お知らせ

- 安全運転モードを解除すると、着信音やバイブレータは元の設定に戻ります。

マナーモードを設定する

公共の場所で着信音やキー確認音などスピーカから音を鳴らさないようにしたいときは、マナーモードを設定してください。

待受画面／着信中に

[＊]を長く(約1秒以上)押す

お知らせ

● マナーモードに設定すると、待受画面に「」が表示されます。

マナーモードを解除する

待受画面／着信中に

マナーモード設定中に[＊]を長く(約1秒以上)押す

お知らせ

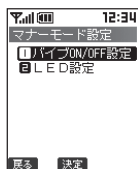
● マナーモードを解除すると、着信音やバイブレータは元の設定に戻ります。

マナーモード中のバイブレータ／LEDの設定をする〈マナーモード設定〉 機能番号213

マナーモード中に着信を知らせるバイブレータのON／OFF、LED(表示ランプ)の点滅パターンを設定できます。
点滅パターンは「OFF」、「パターン1」〜「パターン3」に設定できます。

待受画面で

❶ [■]【MENU】➡ [2] [1] [3]「マナーモード設定」

❷ 以下の[1]または[2]の項目から選択

[1]バイブON／OFF設定	マナーモード中に着信を知らせるバイブレータを振動させるかどうかを設定します。(「マナーモード中のバイブレータを設定する〈バイブON／OFF設定〉」☞53ページ)
[2]LED設定	マナーモード中に着信を知らせるLED(表示ランプ)の点滅パターンを設定します。(「LEDの点滅パターンを設定する〈LED設定〉」☞53ページ)

マナーモード中のバイブレータを設定する　〈バイブON/OFF設定〉 機能番号2131

マナーモード中に着信を知らせるバイブレータを振動させるかどうかを設定できます。
ONに設定した場合はパターン1のバイブレータでお知らせします。

マナーモード設定画面で

❶ [1]「バイブON／OFF設定」

❷ 以下の[1]または[2]の項目から選択

[1] ON	マナーモード中の着信時、バイブレータが振動します。
[2] OFF	マナーモード中の着信時、バイブレータが振動しません。

LEDの点滅パターンを設定する　〈LED設定〉 機能番号2132

マナーモード中に着信を知らせるLED（表示ランプ）の点滅パターンを設定できます。
点滅パターンは「OFF」、「パターン1」～「パターン3」に設定できます。

マナーモード設定画面で

[2]「LED設定」➡ [1]「パターン1」～[3]「パターン3」、または[4]「OFF」

お知らせ

- 点滅パターンを確認したいときは、[◎]で「パターン1」～「パターン3」を選択すると、選択したパターンでLEDが点滅します。
  - 点滅中のパターンに設定するとき：[■]【決定】を押す
  - 設定せずに戻るとき：[✉]【戻る】を押す

2 基本的な使いかた

3 文字の入力と設定

文字を入力する

文字入力モードの切り替え

漢字・ひらがな、英字、数字など、入力する文字によって入力モードを切り替えます。

例：ライトメール(☞87ページ)の本文入力画面

待受画面で

**■【MENU】➡ 1 1「ライトメール」➡ ■【決定】➡
▢で本文入力欄を選択し、■【決定】**

文字入力画面で

文字 を押す

入力モード一覧が表示されます。
文字 または ◀▶ を押して入力モードを選択し、■【決定】を押すと入力モードを切り替えることができます。

漢	漢字・ひらがなモード
ア	全角カナ文字モード
ｱ	半角カナ文字モード
ａ	全角英文字モード
a	半角英文字モード
1	半角数字モード

お知らせ

● 電話帳検索画面(☞75ページ)での読みカナ検索では、文字 を押すごとに入力モードは以下のように切り替わります。
→ ｱ(半角カナ文字モード) → a(半角英文字モード) → 1(半角数字モード) → 記(記号モード) ─┘

3
文字の入力と設定

各キーに割り当てられた文字について

各キーに割り当てられている文字は以下のとおりです。

キー	入力モード			
	漢字・ひらがなモード（全角）	英文字モード（全角／半角）	数字モード（半角）	カタカナモード（全角／半角）
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	. @ ／ : _ ' " ^ ～※1 1	1	アイウエオァィゥェォ
2	かきくけこ	a b c A B C 2	2	カキクケコ
3	さしすせそ	d e f D E F 3	3	サシスセソ
4	たちつてとっ	g h i G H I 4	4	タチツテトッ
5	なにぬねの	j k l J K L 5	5	ナニヌネノ
6	はひふへほ	m n o M N O 6	6	ハヒフヘホ
7	まみむめも	p q r s P Q R S 7	7	マミムメモ
8	やゆよゃゅょ	t u v T U V 8	8	ヤユヨャュョ
9	らりるれろ	w x y z W X Y Z 9	9	ラリルレロ
0	わをん □（スペース）ー（音引） 、。・！？	. , ￥□（スペース）－ : ; & ! ? 0	0	ワヲン □（スペース）ー（音引） 、。・！？
＊	゛（濁点）　゜（半濁点）	（無効）	＊	゛（濁点）　゜（半濁点）
#	逆順表示　↵（改行）※2		#	逆順表示　↵（改行）※2

※1　全角では「～」、半角では「 ˜ 」が入力されます。
※2　メール本文入力時またはメモ帳のメモ入力時のみ

お知らせ

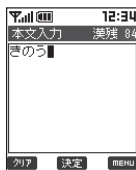
- 同じキーに割り当てられた文字を続けて入力するときは、最初の文字を入力後、□でカーソルを右へ移動させて次の文字を入力してください。
- ＊で濁音に変換可能な文字は、「か行」「さ行」「た行」「は行」とカタカナ入力時の「ウ」となります。
  また、半濁音に変換可能な文字は、「は行」のみとなります。他は変換できません。
- #を押すと逆の順序で文字が表示されます。
  例：「ぉ」を入力するときは、1 ➡ #で入力できます。

ひらがなを入力する

ダイヤルキーを繰り返し押して、入力したい文字を表示します。

例：「きのう」を入力

漢字・ひらがなモードで

2を2回「き」➡ 5を5回「の」➡ 1を3回「う」➡
■【決定】

お知らせ

- 10文字まで続けて入力できます。
- 文字の削除方法については、「文字を削除する」（☞59ページ）をご参照ください。

つづく

濁点／半濁点を入力する

文字を入力した後、[*]濁点／半濁点が付いた文字に変換します。

例：「ぽ」を入力

漢字・ひらがなモードで

[6]を5回「ほ」➡ [*]を2回「ぽ」➡ [■]【決定】

お知らせ

- 濁点／半濁点を付けられる文字のみ有効です。

小文字のひらがなを入力する

ダイヤルキーを繰り返し押して、入力したい文字を表示します。

例：「ょ」を入力

漢字・ひらがなモードで

[8]を6回「ょ」➡ [■]【決定】

英字を入力する

例：半角文字で「SHOP」と入力する

半角英文字モードで

[7]を8回「S」➡ [4]を5回「H」➡ [6]を6回「O」➡
[7]を5回「P」

数字を入力する

例：半角文字で「5」を入力

半角数字モードで

[5]を1回「5」

文字を削除する

【クリア】を使って入力した文字を削除できます。

文字入力画面で

を押して削除したい文字にカーソルを合わせる ➡ 【クリア】

【クリア】を長く(約1秒以上)押すと、カーソル以降の文字をすべて削除できます。

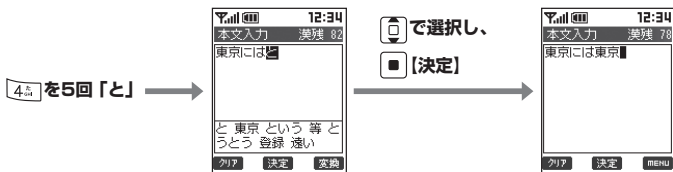
漢字やカタカナに変換する

ひらがなを入力した後、予測変換候補が表示されます。変換候補の中から[◎]を押して入力したい単語を選択します。

予測変換で入力する

過去に一度変換した単語は、すべての文字を入力しなくても予測して変換できます。

例：「とうきょう」を「東京」と変換した後（「文字を変換して入力する」☞60ページ）、再度同様に変換するとき

漢字・ひらがなモードで

お知らせ

- よく使う単語を優先的に変換候補として表示します。
- 変換時の候補は、過去に文節に区切らずに変換した単語も文節に区切って表示します。
  例：初めに「あかいかさを」と入力し、「赤い傘を」と変換した場合
  「あ」→「赤い」、「か」→「傘を」を候補として表示します。
- 予測変換で学習した情報はリセットをすることができます。（「学習辞書をリセットする〈学習辞書リセット〉」☞68ページ）

文字を変換して入力する

予測変換で変換候補に変換したい漢字が表示されないときやカタカナを入力したいときは、文字を変換して入力できます。

例：「東京タワー」を入力

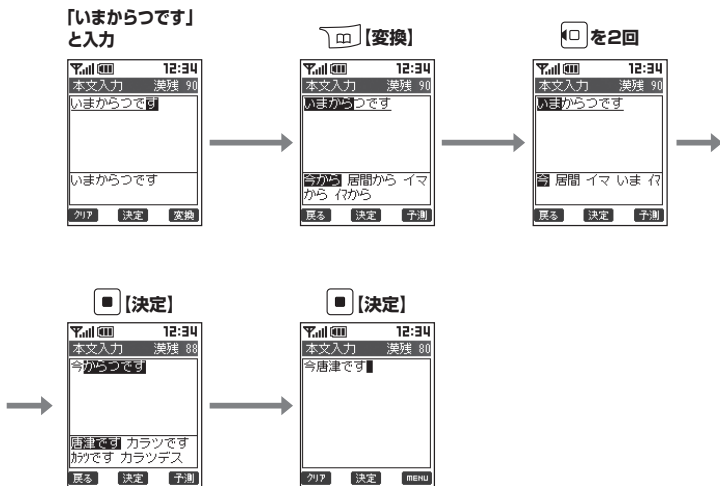
漢字・ひらがなモードで

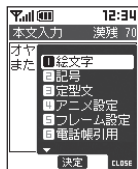
1. **[4]を5回「と」➡[1]を3回「う」➡[2]を2回「き」➡[8]を6回「ょ」➡[1]を3回「う」➡[📖]【変換】➡[◎]で「東京」を選択し、[■]【決定】**
2. **[4]を1回「た」➡[0]を1回「わ」➡[▷]でカーソル移動➡[0]を5回「ー」➡[📖]【変換】➡[◎]で「タワー」を選択し、[■]【決定】**

文節を区切り直す

一度にたくさんの文字(10文字まで)を入力し、あとから文節に区切って漢字に変換できます。
また、正しく漢字に変換できないときは、文節を区切り直して変換することもできます。

例：「いまからつです」を「今唐津です」と変換する

漢字・ひらがなモードで

文字入力メニューを使う

文字入力画面で

❶ [MENU]を押す

❷ 以下の[1]〜[*]の項目から選択

[1]絵文字	絵文字を入力します。(☞63ページ)
[2]記号	記号を入力します。(☞63ページ)
[3]定型文	定型文を入力します。(☞64ページ)
[4]アニメ設定(アニメ解除)	メール本文の文頭に選択したアニメを設定/解除します。(☞88ページ)
[5]フレーム設定(フレーム解除)	メール本文に選択したフレームを設定/解除します。(☞88ページ)
[6]電話帳引用	電話帳の名前や電話番号を呼び出して入力します。(☞65ページ)
[7]メール履歴引用	受信や送信したメールから電話番号を呼び出して入力します。(☞65ページ)
[8]プロフィール引用	自分のプロフィールを呼び出して入力します。(☞65ページ)
[9]コピー	文字をコピーします。(☞64ページ)
[0]カット	文字をカットします。(☞64ページ)
[*]ペースト	コピー、またはカットした文字を貼り付けます。(☞65ページ)

● 利用中の機能によって、メニュー画面に表示される項目および順番は異なります。

絵文字を入力する

絵文字を入力することができます。（「絵文字一覧」☞159ページ）

文字入力画面で

❶ **絵文字を入力したい位置にカーソルを合わせ、【MENU】➡ 1「絵文字」を選択**

❷ **で入力したい絵文字を選択し、■【確定】**

【戻る】を押すと、入力画面に戻ります。

お知らせ

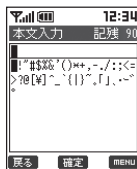
- 異なる機種の電話機に絵文字を送信した場合、一部の絵文字が正しく表示されないことがあります。
- 絵文字は全角のみです。

記号を入力する

半角記号または全角記号を入力することができます。（「記号一覧」☞158ページ）

文字入力画面で

❶ **半角記号を入力したい位置にカーソルを合わせ、【MENU】➡ 2「記号」を選択【MENU】➡ 1「半角記号」を選択**

❷ **で入力したい記号を選択し、■【確定】**

【戻る】を押すと、入力画面に戻ります。

文字入力画面で

❶ **全角記号を入力したい位置にカーソルを合わせ、【MENU】➡ 2「記号」を選択【MENU】➡ 2「全角記号」を選択**

❷ **で入力したい記号を選択し、■【確定】**

【戻る】を押すと、入力画面に戻ります。

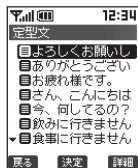
定型文を入力する

あらかじめ登録されている定型文を呼び出して入力できます。定型文は自分で入力し変更することもできます。(☞66ページ)

文字入力画面で

❶ 定型文を入力したい位置にカーソルを合わせ、【MENU】➡ 3「定型文」を選択

❷ で入力したい定型文を選択し、■【決定】

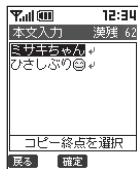
カーソル位置に定型文が入力されます。

文字をコピー/カット/ペースト(貼り付け)する

コピーする

入力した文字をコピー(複写)できます。またコピーした文字を別の画面にペースト(貼り付け)することができます。

文字入力画面で

❶ コピーする最初の文字にカーソルを合わせ、【MENU】➡ 9「コピー」を選択

❷ でコピーしたい範囲の終点を選択し、■【確定】

お知らせ

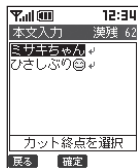
- コピーした文字列は、電源をOFFにすると消去されます。
- コピーは1件のみできます。

カット(切り取り)する

入力した文字をカット(切り取り)できます。またカットした文字を別の画面にペースト(貼り付け)することができます。

文字入力画面で

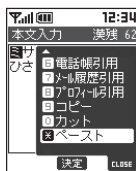
❶ カットする最初の文字にカーソルを合わせ、【MENU】➡ 0「カット」を選択

❷ でカットしたい範囲の終点を選択し、■【確定】

ペースト(貼り付け)する

前回コピー、またはカットした文字を貼り付けることができます。

文字入力画面で

貼り付けたい位置にカーソルを合わせ、[MENU]【MENU】➡[＊]「ペースト」を選択

カーソル位置にコピー、またはカットした文字が入力されます。

お知らせ

- 画面によって使用できない文字が含まれている場合は、ペーストできません。

各機能からデータを引用する

以下の内容を引用して名前や電話番号を入力することができます。

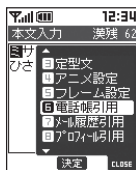
- 電話帳に登録されている名前や電話番号
- プロフィールに登録されている自分の名前や電話番号
- 受信や送信したメールの電話番号

文字入力画面で

❶ **貼り付けたい位置にカーソルを合わせ、[MENU]【MENU】➡[6]「電話帳引用」または、[7]「メール履歴引用」または、[8]「プロフィール引用」を選択**

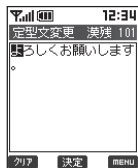
❷ **引用したい項目を選択し、[■]【決定】**

カーソル位置に引用した名前、または電話番号が入力されます。

定型文を編集する 〈定型文〉 機能番号121

登録されている定型文(「定型文一覧」☞157ページ)をお好みに合わせて書き換えることができます。

待受画面で

❶ [■]【MENU】➡ [1] [2] [1]「定型文」➡ 編集したい定型文を選択➡ [■]【決定】

❷ 定型文を編集➡ [■]【決定】

お知らせ

- 入力できる文字は全角61文字、半角123文字までです。

定型文をリセットする

変更した定型文をリセットし、お買い上げ時の状態に戻します。

待受画面で

12:34
定型文
1 1件リセット
2 全件リセット
決定
CLOSE

❶ [■]【MENU】➡ [1] [2] [1]「定型文」➡ リセットしたい定型文を選択 ➡ [📖]【MENU】

❷ 以下の[1]または[2]の項目から選択

[1] 1件リセット	➡「はい」を選択し、[■]【決定】 選択した定型文をお買い上げ時の状態に戻します。
[2] 全件リセット	➡ 本製品の暗証番号を入力 ➡「はい」を選択し、[■]【決定】 定型文をすべてお買い上げ時の状態に戻します。

3 文字の入力と設定

よく使う単語を登録する 〈ユーザ辞書〉 機能番号66

よく使う文字や記号などを短い読みで変換できるよう、辞書に単語を100件まで登録できます。
単語は全角10文字、半角20文字まで、読みは10文字まで登録できます。
登録できる文字は以下のとおりです。読みはひらがなで登録します。
- 漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号

ユーザ辞書に単語を登録/編集する 〈辞書登録〉 機能番号661

待受画面で

お買い上げ時：
「未登録」

辞書登録一覧画面

❶ ■【MENU】➡ 6 6 1「辞書登録」➡ [未登録]または編集したい単語を選択し、■【決定】➡ 読みを入力編集 ➡ ■【決定】➡ 単語を入力編集 ➡ ■【決定】

❷ 以下の0～9の項目から品詞を選択 ➡ ■【決定】

1 名詞	6 名
2 固有名詞	7 地名
3 人名&地名	8 企業
4 人名	9 郵便番号
5 姓	0 電話番号

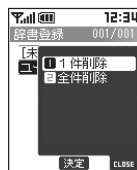
ユーザ辞書に登録した単語を削除する

待受画面で

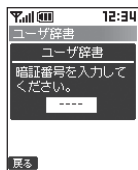
❶ ■【MENU】➡ 6 6 1【辞書登録】➡ 削除したい単語を選択 ➡ 📖【MENU】

❷ 以下の1または2の項目から選択

1 1件削除	➡「はい」を選択し、■【決定】 選択した単語を削除します。
2 全件削除	➡ 本製品の暗証番号を入力 ➡「はい」を選択し、■【決定】 登録した単語をすべて削除します。

学習辞書をリセットする 〈学習辞書リセット〉 機能番号662

文字変換の学習情報や予測変換の情報をすべてリセットし、お買い上げ時の状態に戻します。

待受画面で

■【MENU】➡ 6 6 2「学習辞書リセット」➡ 本製品の暗証番号を入力 ➡「はい」を選択し、■【決定】

お知らせ

● 本製品の暗証番号については、「本製品の暗証番号を変更する〈暗証番号変更〉」(☞125ページ)をご参照ください。

4 電話帳の使いかた

電話帳に登録する

電話帳は1000件まで登録できます。

電話帳の各項目を登録する

待受画面で

❶ 【 】➡ 2「電話帳登録」

❷ 以下の項目を選択

(名前入力)	➡ ■【確定】➡ 名前を入力 ➡ ■【決定】 名前を登録します。(☞71ページ)
(読みカナ入力)	名前を入力すると、その読みが24文字まで自動的に入力されます。 修正するときは、■【確定】➡ 読みを修正 ➡ ■【決定】 名前を検索するときは、ここで登録した読み順で表示されます。 読みに入力できる文字数は半角24文字までです。
(電話番号1)	➡ ■【確定】➡ 電話番号を入力 ➡ ■【確定】➡ 電話番号の種別を選択し、■【確定】 電話番号と種別を登録します。(☞71ページ)
(電話番号2)	
(電話番号3)	
(グループ設定)	➡ ■【確定】➡ 1～9でグループを選択または0「グループなし」 登録するグループを設定します。(☞72ページ) 家族や友人などのグループに分類して登録しておくと、電話をかけるときに簡単に探し出せます。
(シークレット設定)	➡ ■【確定】➡ 1「ON」または2「OFF」 シークレットを設定します。(☞72ページ) 「ON」に設定して登録した内容は、電話帳シークレットモード(☞125ページ)を設定しているときのみ電話帳に表示されます。
(メモリ番号入力)	メモリ番号が指定されていない場合は、No.100～No.999の登録されていない一番小さいメモリ番号が自動的に入力されます。No.999まで登録されている場合はNo.000からNo.099の登録されていない一番小さいメモリ番号が自動的に入力されます。 異なる番号に登録するときは、■【確定】➡ メモリ番号を入力 ➡ ■【決定】 メモリ番号は電話帳1件ごとの番号です。No.000～No.999に登録します。(☞73ページ)
(メモ入力)	➡ ■【確定】➡ メモを入力 ➡ ■【決定】 メモを登録します。(☞73ページ)

❸ 各項目の入力または選択後、【登録】➡「はい」を選択し、■【決定】

お知らせ

- 電話帳の新規登録は、以下の手順でも行えます。
  待受画面で電話番号を入力し、【MENU】➡ 1「電話帳新規」
- 電話帳新規作成中・編集中に着信などによって登録が中断した場合は、登録内容は破棄され保存されません。
- 電話帳の登録や編集を中断すると、「編集内容を放棄してもよろしいですか？」と表示されます。「はい」を選択し、■【決定】を押すと作成中のデータは破棄され待受画面に戻ります。
- 「名前」、「読みカナ」が入力されていないと、電話帳に登録できません。

名前を入力する

相手の名前を入力します。

電話帳登録画面で

「(名前入力)」を選択し、■【確定】➡ 名前を入力 ➡ ■【決定】

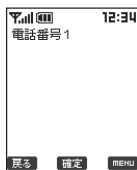
お知らせ

- 入力できる文字数は全角32文字、半角64文字までです。

電話番号を入力する

登録する電話番号を入力します。

電話帳登録画面で

1. **「(電話番号1～3)」を選択、■【確定】➡ 電話番号を入力 ➡ ■【確定】**
2. **以下の項目から電話番号の種別を選択し、■【確定】**

PHS	FAX	会社
携帯	自宅	その他

お願い

- 相手が一般電話のときは、必ず市外局番から入力してください。PHS／携帯電話の場合は必ず「0」から始まる11桁の番号を入力してください。

お知らせ

- 入力できる電話番号は32桁までです。(「184」「186」も桁数に含まれます)
- 電話番号入力中、【MENU】を押すと、電話番号入力時のメニューが使えます。(☞35ページ)(使えないメニューの項目は選択できません)
- 電話番号入力画面で、番号を入力する前にを押すと、発信履歴から電話番号が入力できます。またを押すと、着信履歴から電話番号が入力できます。

つづく

グループを設定する

登録する電話番号のグループを設定します。

電話帳登録画面で

「0（グループ設定）」を選択し、■【確定】➡ 1～9でグループを選択、または0「グループなし」

お知らせ

- ひとつのメモリ番号を複数のグループに登録することはできません。
- 「グループ1」～「グループ9」まで登録できます。グループには名前を付けることができます。
  （「グループに名前を付ける〈グループ名変更〉」☞79ページ）
- グループを設定しない場合は「グループなし」に登録されます。

シークレットを設定する

電話帳登録画面で

❶「（シークレット設定）」を選択し、■【確定】

❷ 以下の1または2の項目から選択

1 ON	シークレット設定した相手から着信すると、名前は表示されずに電話番号が表示されます。電話帳シークレットモード(☞125ページ)を設定すると、着信時に相手の名前を表示します。また、登録した内容は、電話帳シークレットモードを設定しているときのみ電話帳に表示されます。
2 OFF	登録した相手から着信があると、名前を表示します。また、登録した内容は、電話帳シークレットモード(☞125ページ)の設定にかかわらず、常に電話帳に表示されます。

お願い

- シークレット設定した相手に電話帳を使って電話をかけたり、登録した内容を修正したりするときは、電話帳シークレットモードに設定してから行ってください。

メモリ番号を設定する

電話帳登録画面で

「No(メモリ番号入力)」を選択し、■【確定】➡ メモリ番号を入力 ➡ ■【決定】

お知らせ

- 入力できるメモリ番号はNo.000～No.999です。
- メモリ番号が指定されていない場合は、No.100～No.999の登録されていない一番小さいメモリ番号が自動的に入力されます。No.999まで登録されている場合はNo.000からNo.099の登録されていない一番小さいメモリ番号が自動的に入力されます。
- 入力したメモリ番号がすでに登録されている場合は、登録時に「このメモリ番号のデータを上書きしてよろしいですか？」と表示されます。上書き登録するときは「はい」を選択し、■**【決定】**を押してください。

メモを入力する

電話帳登録画面で

「✎(メモ入力)」を選択し、■【確定】➡ メモを入力 ➡ ■【決定】

お知らせ

- 入力できる文字数は全角16文字、半角32文字までです。

4

電話帳の使いかた

つづく

他の機能から電話帳に登録する

電話帳に他の機能から新規登録や追加登録をすることができます。

登録できる機能は以下のとおりです。

- 発信履歴／着信履歴(☞37ページ／39ページ)
- 受信メール／送信メール(☞93ページ／95ページ／96ページ)
- マイフォルダ(☞94ページ)
- 赤外線通信による電話帳データの受信(☞81ページ)

例：着信履歴から電話番号を登録する

待受画面で

❶ [◀□] ➡ 登録する履歴を選択 ➡ [📖]【MENU】

❷ 以下の[1]または[2]の項目から選択

[1]電話帳新規	電話帳に新規登録します。(「電話帳の各項目を登録する」☞70ページ) 電話帳登録画面が表示されます。「電話番号」に選択した着信履歴の電話番号が表示されます。
[2]電話帳追加	**➡ 追加登録する電話帳を選択し、[■]【決定】➡ [📖]【登録】➡「はい」を選択し、[■]【決定】➡「はい」を選択し、[■]【決定】** 登録されている電話帳に選択した着信履歴の電話番号を追加して登録します。

4

電話帳の使いかた

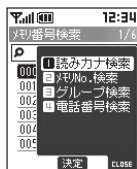
電話帳を検索する

登録した電話帳を名前やグループなどで検索することができます。

待受画面で

❶ [📖]【[📖]】➡ [1]「電話帳検索」➡ [📖]【MENU】

❷ **以下の[1]～[4]の項目から選択**

電話帳検索メニュー画面

[1]読みカナ検索	名前の読み順の電話帳リストが表示され、名前の読みを入力して検索します。 (「名前(読み)で検索する」☞75ページ)
[2]メモリNo.検索	メモリ番号順の電話帳リストが表示され、メモリ番号を入力して検索します。 (「メモリ番号で検索する」☞76ページ)
[3]グループ検索	グループに登録されている電話帳をメモリ番号順に表示します。 (「グループで検索する」☞76ページ)
[4]電話番号検索	電話番号の一部を入力して、その番号を含む電話帳を検索します。 (「電話番号で検索する」☞76ページ)

お知らせ

- シークレット設定したメモリ番号は、電話帳シークレットモード(☞125ページ)設定中のみ検索することができます。
- 以下の方法でも電話帳が検索できます。
  待受画面で、[□]を押す

名前(読み)で検索する

名前の読みを入力して検索します。

電話帳検索メニュー画面で

❶ **[1]「読みカナ検索」➡ 検索する読みを入力**
読みを入力するごとに、該当する名前が選択されます。

❷ **表示したい電話帳を選択し、[■]【決定】**
電話帳詳細画面が表示されます。

お知らせ

- ひらがな、漢字による検索はできません。
- 入力できる文字数は半角24文字までです。

4 電話帳の使いかた

メモリ番号で検索する

メモリ番号を入力して検索します。

電話帳検索メニュー画面で

❶ 2「メモリNo.検索」➡ 検索するメモリ番号を入力

入力するごとに、該当するメモリ番号の電話帳が選択されます。

❷ 表示したい電話帳を選択し、■【決定】

電話帳詳細画面が表示されます。

お知らせ

- 指定したメモリ番号がないときは、そのメモリ番号以上で一番近いメモリ番号を表示します。

グループで検索する

選択したグループに登録されている電話帳をメモリ番号順に表示します。

電話帳検索メニュー画面で

❶ 3「グループ検索」➡
0～9で検索するグループを選択

❷ 表示したい電話帳を選択し、■【決定】

電話帳詳細画面が表示されます。

電話番号で検索する

電話番号の一部を入力して、その番号を含む電話帳を検索します。

電話帳検索メニュー画面で

❶ 4「電話番号検索」➡
検索する電話番号を入力し、■【決定】

検索結果が表示されます。

❷ 表示したい電話帳を選択し、■【決定】

電話帳詳細画面が表示されます。

- 入力できる数字は32桁までです。

登録内容を編集／削除する

電話帳の登録内容を編集／削除します。

お知らせ
- 赤外線通信方法については、「赤外線通信を利用する」(☞81ページ)をご参照ください。

編集する

待受画面で

電話帳詳細画面のメニュー

1. **［📖］［電話帳］→ ［1］「電話帳検索」→ 編集する電話帳を検索し、［■］【決定】→ 編集する項目を選択 → ［📖］【MENU】**
2. **［1］「編集」→ 登録内容を修正 → ［📖］【登録】→「はい」を選択し、［■］【決定】**

お知らせ
- 各項目の修正方法については、「電話帳の各項目を登録する」(☞70ページ)をご参照ください。

削除する

1件削除する

選択した電話帳を1件削除します。

待受画面で

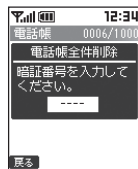
電話帳詳細画面のメニュー

［📖］［電話帳］→ ［1］「電話帳検索」→ 削除する電話帳を検索し、［■］【決定】→ ［📖］【MENU】→ ［2］「削除」→「はい」を選択し、［■］【決定】

すべて削除する

登録された電話帳をすべて削除します。

待受画面で

［📖］［電話帳］→ ［5］「電話帳全件削除」→ 本製品の暗証番号を入力 →「はい」を選択し、［■］【決定】

電話帳から発信する

電話をかける

待受画面で

❶ 【📖】➡「電話帳検索」➡
電話帳を検索し、■【決定】
電話帳詳細画面が表示されます。

❷ **または電話番号を選択し、**

- 1件の電話帳に複数の電話番号の登録があるときに、電話番号を選択せずにを押すと、1番目の電話番号に電話をかけます。
- 電話番号入力時のメニュー(☞35ページ)を使ってかけるときは、以下の手順で行います。
  電話帳詳細画面で電話番号を選択し、■【決定】➡【MENU】➡ メニュー項目選択後または■【発信】

メールを送信する

ライトメールを送信する

待受画面で

❶ 【📖】➡「電話帳検索」➡
電話帳を検索し、■【決定】
電話帳詳細画面が表示されます。

❷ **送信する電話番号を選択し、■【決定】➡**
【MENU】➡「ライトメール作成」
ライトメール作成画面が表示されます。選択した電話帳に登録されている名前が宛先に表示されます。(「メールを作成して送信する〈ライトメール〉」☞87ページ)

お知らせ

- ライトメール対応機種以外への送信はできません。

スピードダイヤルで電話をかける

メモリ番号No.000～No.099に登録している電話番号へかけるときは、メモリ番号の下1桁または下2桁を入力し、[文字]を押すだけで電話をかけることができます。

■ メモリ番号No.000～No.009の場合

待受画面で

メモリ番号の下1桁[0]～[9]を入力し、[文字]または[■]【発信】➡ [文字]または[■]【発信】

■ メモリ番号No.010～No.099の場合

待受画面で

メモリ番号の下2桁[1]～[9](十の位)➡ [0]～[9](一の位)を入力し、[文字]または[■]【発信】➡ [文字]または[■]【発信】

お願い

- 電話帳ロック中(☞118ページ)はスピードダイヤルが使えません。
- シークレット設定したメモリ番号は、電話帳シークレットモード(☞125ページ)設定中のみスピードダイヤルで電話をかけることができます。

お知らせ

- 電話番号が複数登録されているときは、1番目の電話番号に電話をかけます。

グループに名前を付ける 〈グループ名変更〉

電話帳のグループにお好みの名前を付けることができます。

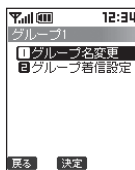
お買い上げ時：「グループ1」～「グループ9」

待受画面で

[電話帳]【電話帳】➡ [4]「グループ設定」➡ [1]～[9]で名前を付けるグループを選択 ➡ [1]「グループ名変更」➡ 名前を入力 ➡ [■]【決定】

お知らせ

- 入力できる文字数は全角8文字、半角16文字までです。

相手によって着信音などを変える　〈グループ着信設定〉

電話帳のグループ毎に、着信メロディやバイブレータのパターンを変更できます。

あらかじめ以下のことを行ってください。

- 電話帳の登録(「電話帳に登録する」☞70ページ)
- 電話帳のグループ設定(「グループを設定する」☞72ページ)

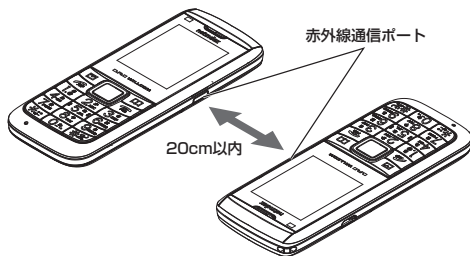
待受画面で

❶ 【 】➡ 4「グループ設定」➡ 1～9で設定したいグループを選択 ➡ 2「グループ着信設定」

❷ 以下の1～6の項目から選択

1設定／解除 お買い上げ時：「OFF」	➡ 1「ON」または2「OFF」 「ON」を選択すると、着信時にグループによって着信音などが変えられます。
2着信音量 お買い上げ時：「音量レベル2」	➡ で着信音量を選択し、【決定】 設定中のグループから着信があったときの着信音量を選択します。 で音量を選択すると、選択した音量で現在設定されている着信メロディを再生します。(マナーモード設定中は、再生されません) 音量は、OFFと音量レベル1～3、STEPから選択できます。
3着信メロディ お買い上げ時：「Morning Dew」	➡ 0～9、＊、＃で着信メロディを設定する 設定中のグループから着信があったときの着信メロディを選択します。 で選択し、【再生】を押すとメロディを再生できます。再生中に【OK】を押すと、選択した着信メロディに設定されます。マナーモード設定中は、マナーモードの一時解除画面が表示されますので、「はい」を選択し、【決定】を押すと再生されます。 選択できる着信メロディについては、「着信メロディを設定する〈着信メロディ〉」(☞105ページ)をご参照ください。
4バイブ設定 お買い上げ時：「OFF」	➡ 4「OFF」または1～3でパターンを設定する 設定中のグループから着信があったときのバイブレータを選択します。 でパターンを選択すると、選択したパターンでバイブレータが動作します。 バイブレータ動作中に【決定】を押すと、選択したパターンに設定されます。
5バイブ優先 お買い上げ時：「OFF」	➡ 1「ON」または2「OFF」 「ON」を選択すると、設定中のグループからの着信時に、着信音が鳴る前にバイブレータが動作します。
6LED設定 お買い上げ時：「OFF」	➡ 4「OFF」または1～3でパターンを設定する 設定中のグループから着信があったときのLED(表示ランプ)の点滅パターンを選択します。でパターンを選択すると、選択したパターンでLEDが点滅します。 LEDの点滅中に【決定】を押すと、選択したパターンに設定されます。

赤外線通信を利用する

赤外線通信により、赤外線通信機能を搭載した他の電話機との間で電話帳データを送受信することができます。
赤外線の通信距離は20cm以内でご利用ください。それぞれの電話機の赤外線通信ポートを向い合わせ、データの送受信が終わるまで動かさないでください。
赤外線通信を利用するには、送信側と受信側でそれぞれ準備する必要があります。
送信側は受信側が受信状態になっていることを確認してから送信してください。

お願い

- 赤外線通信中は、指などで赤外線通信ポートをおおわないようにしてください。
- 赤外線通信ポートが汚れていると通信できにくくなります。柔らかな布で拭き取ってからご利用ください。
- 電話帳データを全件受信するには、認証パスワードの入力が必要です。認証パスワードは赤外線通信のための専用のパスワードです。パスワードは任意の4桁の数字となりますが、送信側と同じパスワードを入力する必要があります。通信相手とパスワードを取り決めてから通信を行ってください。

お知らせ

- 受信できる電話帳データの容量は1.2Mバイトまでです。
- 受信した電話帳データは、電話帳に登録されます。
- 直射日光が当たる場所、蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
- 赤外線通信による電話帳データの受信は、すべての電話機に対して完全な互換性を保証するものではありません。
- 赤外線通信中は、消費電力が大きくなります。
- 赤外線通信中は、停波モードとなります。(「電波の送受信を停止する〈停波モード〉」☞136ページ)

データを受信する　〈赤外線受信〉　機能番号83

本製品を受信待ちの状態にし、相手から送信される電話帳データを受信します。

待受画面で

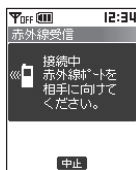
❶ ■【MENU】➡ 8 3「赤外線受信」

❷ 赤外線通信ポートを相手の赤外線通信ポートに向ける

以降は、受信データにあわせて操作してください。

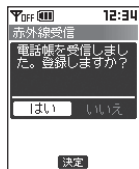
4

電話帳の使いかた

つづく

電話帳データを1件または複数件受信する場合

赤外線通信による受信画面

❶ 「はい」を選択し、■【決定】

送信側から電話帳データを受信し、電話帳に登録します。
「メモリNo.XXXに登録しました。」と表示されます。

❷ ■【OK】

「もう1件受信しますか?」と表示されます。

❸ 「いいえ」を選択し、■【決定】

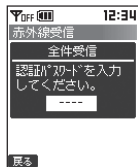
続けて受信するときは、「はい」を選択してください。赤外線受信中画面に戻ります。

4

電話帳の使いかた

電話帳データを全件受信する場合

❶ 認証パスワードを入力

送信側から電話帳データを受信します。送信される電話帳データの件数が多い場合、受信に時間がかかります。
受信後、「電話帳をXXX件受信しました。登録しますか?」と表示されます。

❷ 「はい」を選択し、■【決定】

❸ 以下の1～3の項目から選択

1 追加登録	電話帳に追加で登録します。
2 上書き登録	➡ **本製品の暗証番号を入力** 本製品に登録されている電話帳データを削除して、受信した電話帳データを上書き登録します。
3 キャンセル	受信データを登録せずに赤外線受信を終了します。

追加登録または上書き登録を選択した場合、「XXX件登録しました。」と表示されます。

❹ ■【OK】

お知らせ

- 電話帳データを複数件受信、または全件受信した場合、電話帳の登録可能件数を超えて受信すると「電話帳がいっぱいになりました。」と表示され、以降のデータは登録されません。
- 送信側の電話機から絵文字を伴うデータを受信した場合、正しく登録されないことがあります。
- 名前が設定されていない電話帳データを受信した場合、名前にフリガナや電話番号、受信日時が設定されます。フリガナが設定されていない電話帳データを受信した場合、電話番号、または受信日時が設定されます。
- グループ名は、電話帳データを全件受信し、上書き登録した場合のみ登録されます。
- 本製品の電話帳の各項目の最大入力文字数を超えたデータを受信した場合、最大入力文字数以降のデータは削除されます。

データを送信する 〈赤外線送信〉

受信待ちの電話機に本製品の電話帳データを送信します。

電話帳データを1件送信する場合

自分のプロフィールデータ、または電話帳データを1件送信することができます。送信するデータにあわせて操作してください。

■ 自分のプロフィールデータを送信する

待受画面で

赤外線通信による送信画面（例：1件送信の場合）

❶ **[■]【MENU】➡ [0]「プロフィール」➡ [📖]【赤外線】➡「はい」を選択し、[■]【決定】**

❷ **赤外線通信ポートを相手の赤外線通信ポートに向ける**

受信側の電話機へプロフィールデータが送信されます。

❸ **送信完了後、[■]【OK】**

お知らせ

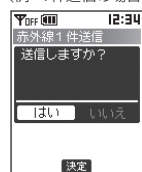
- 以下の操作からでも送信できます。
[■]【MENU】➡ [0]「プロフィール」➡ [■]【詳細】➡ [📖]【MENU】➡ [3]「赤外1件送信」➡「はい」を選択し、[■]【決定】

■ 電話帳に登録されたデータを送信する

待受画面で

❶ **[📖]【📖】➡ [1]「電話帳検索」➡ 送信する電話帳を選択し、[■]【決定】➡ [📖]【MENU】➡ [3]「赤外1件送信」➡「はい」を選択し、[■]【決定】**

❷ **赤外線通信ポートを相手の赤外線通信ポートに向ける**

受信側の電話機へ電話帳データが送信されます。

❸ **送信完了後、[■]【OK】**

電話帳データを全件送信する場合

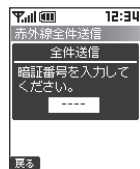
待受画面で

赤外線通信による送信画面（例：全件送信の場合）

❶ 【】➡ 3「赤外線全件送信」➡ 本製品の暗証番号を入力 ➡「はい」を選択し、■【決定】➡ 認証パスワードを入力 ➡ ■【OK】

❷ 赤外線通信ポートを相手の赤外線通信ポートに向ける

受信側の電話機へ電話帳データが送信されます。
受信側でも認証パスワードの入力が必要となります。

❸ 送信完了後、■【OK】

お知らせ

- 以下の操作からでも送信できます。
  ■【MENU】➡ 0「プロフィール」➡ ■【詳細】➡ 【MENU】➡ 4「赤外全件送信」➡ 暗証番号を入力 ➡「はい」を選択し、■【決定】➡ 認証パスワードを入力 ➡ ■【OK】
- 電話帳データを全件送信する場合、自分のプロフィールデータも送信されます。
- シークレット登録されている電話帳データは、シークレットモード解除中には送信できません。
  シークレットモードに設定してから送信してください。
  （「シークレットモードを設定／解除する〈電話帳シークレット〉」☞125ページ）
- 送信したプロフィールデータに名前が設定されていない場合、受信側の名前に電話番号が登録されます。
  また、フリガナについても電話番号が登録されます。
- 送信した電話帳データに電話番号が設定されていない場合、電話番号に「＊＊＊＊」が登録されます。

5 メールの使いかた

メールについて

本製品はライトメールに対応しています。ライトメールは、ライトメール対応の電話機同士で文字メッセージをやりとりできます。
本製品は、アニメーション絵文字やフレームに対応していますので、送信したい相手の電話機も対応していると、アニメーション絵文字やフレームを添付したメッセージのやりとりができます。

ライトメール機能の仕様

送信文字数	全角45文字まで、半角90文字まで （アニメーション絵文字とフレームは、それぞれ全角1文字分になります）
受信文字数	
文字種	全角：ひらがな・カタカナ・漢字・英字・数字・記号・絵文字 半角：カタカナ・英字・数字・記号
添付ファイル	送受信できません。
メール保存件数	受信メール：最大200件 送信メール：最大200件

お知らせ

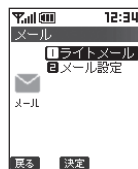
- ライトメールを送信するときは、送信先がライトメール対応機種である必要があります。
- アニメーション絵文字とフレームは、送信先の電話機がそれぞれ対応していないときは、表示できません。
- Pメール対応電話機に送信する場合、半角のカタカナ／英字／数字／記号のみで20文字まで送信できますが、機種によっては送信できない場合があります。

メールメニューについて

メールメニューは、メールに関するさまざまな機能の入り口になります。

待受画面で

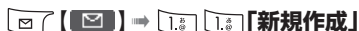
❶ [✉]【✉】

❷ **以下の[1]または[2]の項目から選択**

[1]ライトメール	[1]新規作成	新しくメールを作成します。 （「メールを作成して送信する〈ライトメール〉」☞87ページ）
	[2]受信フォルダ	受信したメールが保存されます。
	[3]送信フォルダ	送信したメールや保存したメール、送信に失敗したメールが保存されます。
	[4]マイフォルダ	送受信したメールを振り分けて保存するためのフォルダです。
[2]メール設定	メール機能の各種設定ができます。（「メールの機能を設定する〈メール設定〉」☞99ページ）	

メールを作成して送信する　〈ライトメール〉 機能番号111

新しくメールを作成して送信します。作成したメールは、すぐに送信せずに保存しておくこともできます。

待受画面で

【 】➡ 1 1「新規作成」

メール作成画面が表示されます。

メール作成画面

以下の項目を入力します。

宛先	宛先(電話番号)を入力します。(「メールを作成する」☞88ページ)
本文	本文を入力します。(「メールを作成する」☞88ページ)

5

メールの使いかた

つづく

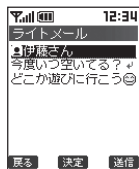
メールを作成する

宛先は1件のみ入力できます。宛先や本文に入力できる文字数は以下のとおりです。

宛先（電話番号）	（電話番号）32桁まで
本文	全角45文字、半角90文字まで

本製品は、アニメーション絵文字やフレームに対応していますので、相手の電話機も対応している場合は、本文にアニメーション絵文字やフレームをそれぞれ1種類設定して送信できます。
アニメーション絵文字やフレームを設定した場合、それぞれ全角1文字分になります。

メール作成画面で

ライトメール作成例

❶ 「（宛先）」を選択し、■【決定】➡ 宛先の電話番号を入力※ ➡ ■【確定】

※電話番号は発信履歴（リダイヤル）や着信履歴、電話帳から引用することもできます。

- 発信履歴（リダイヤル）から引用する場合：[□] ➡ **履歴を選択し、■【決定】**
- 着信履歴から引用する場合：[□] ➡ **履歴を選択し、■【決定】**
- 電話帳から引用する場合：[□] ➡ **電話帳を検索し、■【決定】➡ 電話番号を選択し、■【決定】**

❷ 本文入力欄を選択し、■【決定】➡ 本文を入力

アニメーション絵文字、フレームを設定するときは
本文入力中に[□]【MENU】➡ [4]「アニメ設定」または[5]「フレーム設定」➡
アニメーション絵文字またはフレームを選択し、■【確定】
設定したアニメーション絵文字やフレームは、本文入力中は表示されません。メール作成画面に戻ったときに表示され、確認できます。

❸ 本文入力後、■【決定】

メール作成画面に戻ります。

- **作成したメールの送信方法については、**「メールを送信する」（☞89ページ）をご参照ください。
- **作成したメールを保存するときは、[□]【戻る】➡「はい」を選択し、■【決定】を押す**
  作成したメールは送信フォルダに保存されます。保存されたメールの編集や送信については、「保存されたメールを編集して送信する」（☞89ページ）をご参照ください。

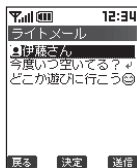
お知らせ

- 相手の電話機の種類によっては、一部表示できない文字があります。
- 本文入力の方法については、「3 文字の入力と設定」（☞55ページ）をご参照ください。
- 本文を入力するときは、文字入力メニューを利用してさまざまな方法で引用や入力ができます。
  （「文字入力メニューを使う」☞62ページ）
- メール作成中に電話がかかってきた場合、作成していたメール内容は送信フォルダに保存されます。
  また、メール作成中に[☎]を押して作成を中断した場合、「メールを保存しますか？」と表示され、「はい」を選択すると送信フォルダに保存されます。
  保存されたメールの編集方法については、（「保存されたメールを編集して送信する」☞89ページ）をご参照ください。

メールを送信する

メール作成画面で

【送信】を押す

送信したメールは送信フォルダに保存されます。

お知らせ

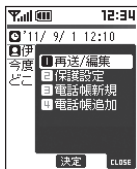
- 入力した宛先や内容が正しいかどうか、送信の前にご確認ください。
- 通話中は、メールを送信することができません。
- 相手の電話機の状態が、留守番電話サービス中／電源が入っていない／通話圏外／通話中のときに、ライトメールを送信すると、送信に失敗し、相手にメールを送信することができません。
- 相手の電話機がライトメール非対応の場合は、ライトメールを送信しても通常の着信動作を行います。
- 送信メールは、200件まで保存されます。200件を超えると古いメール（保護されていないメール）から自動的に削除されます。
- ライトメールは分計発信（☞146ページ）を使用して送信することはできません。
- 何らかの理由で送信に失敗したときも、送信フォルダに保存されます。

保存されたメールを編集して送信する

送信したメールや保存したメール、何らかの理由で送信に失敗したメールは、送信フォルダに保存されています。

待受画面で

❶ 【 】➡ 1 3「送信フォルダ」➡ 保存メールを選択し、■【決定】➡ 【MENU】➡ 1「再送／編集」

メール作成画面が表示され、新規作成のときと同様に、宛先や本文を選択し、内容を編集することができます。宛先を編集する場合は手順❷、本文を編集する場合は手順❸、編集しないで送信する場合は手順❹の操作を行います。

❷「（宛先）」を選択し、■【決定】➡ 編集後、■【確定】

❸ 本文入力欄を選択し、■【決定】➡ 編集後、■【決定】

❹ 【送信】

お知らせ

- 編集したメールは、新たなメールとして送信フォルダ保存されます。

5

メールの使いかた

メールを受信／返信／転送する

受信したメールを読む

メールを受信したとき、メール着信音や待受画面の表示で、メールの受信をお知らせします。

待受画面（新着メール受信表示画面）で

新着メール受信
表示画面

新着メール受信表示を確認し、■【MENU】➡ ■【決定】

お知らせ

- 新着メールが複数ある場合は、新着メール受信表示画面で■【MENU】を押し、「受信メール一覧」から確認できます。（「受信メール一覧から受信したメールを読む」☞91ページ）

受信メール一覧から受信したメールを読む

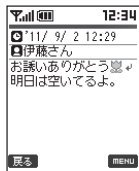
受信したメールは受信フォルダに保存されます。確認したい受信メールを選択すると、内容が表示されます。

待受画面で

【 】➡ 1「ライトメール」➡ 2「受信フォルダ」➡ メールを選択し、■【決定】

選択した受信メールが表示されます。(受信メール詳細画面)

例：受信メール一覧画面

例：受信メール詳細画面

お知らせ

- 受信メール詳細画面では、以下の操作を行うことができます。
  - ：1行ずつ表示をスクロールします。
  - ■【決定】：メール本文に電話番号が入力されているとき、その電話番号へのメール送信や、電話帳に登録するメニューを表示します。(「メール本文の電話番号を直接利用する(クリッカブル)」☞93ページ)
  - 【戻る】：受信メール一覧画面に戻ります。
  - ：待受画面に戻ります。
  - 【MENU】：メニューを表示し、メールの返信や転送など、さまざまな機能を使用することができます。(「受信メール詳細画面のメニューを使う」☞95ページ」)
- 受信メールは合わせて200件まで保存されます。200件を超えると既読の古いメール(保護されていないメール)から自動的に削除されます。
- 各画面のアイコン表示は、以下のようになっています。

■受信メール一覧画面のアイコン

アイコン	説明
	未読メール
	既読メール

■送信メール一覧画面のアイコン

アイコン	説明
	未送信メール
	送信済メール

■受信メール詳細画面および送信メール詳細画面のアイコン

アイコン	説明
	日時
	差出人／宛先：名前(：電話番号)※

※ 差出人／宛先の電話番号が電話帳に登録されている場合は名前が表示され、登録されていない場合は電話番号が表示されます。

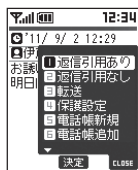
5 メールの使いかた

メールに返信する

受信したメールに返信します。

受信メール詳細画面で

❶ 【MENU】➡ 1「返信引用あり」または 2「返信引用なし」

❷ 本文入力欄を選択し、■【決定】➡ 本文を編集し、■【決定】➡ 【送信】

お知らせ

- 「返信引用あり」を選択すると、本文に受信メールの本文が挿入されます。
  引用した本文に本製品で表示できない文字が含まれている場合、空白に置き換えて表示されることがあります。

5

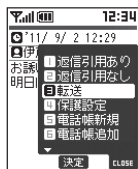
メールの使いかた

メールを転送する

選択したメールは、他のライトメール対応電話機へ転送することができます。

受信メール詳細画面で

❶ 【MENU】➡ 3「転送」

❷ 「(宛先)」を選択し、■【決定】➡ 宛先の電話番号を入力 ➡ ■【確定】➡ 本文を編集 ➡ ■【決定】⇒ 【送信】

お知らせ

- 転送するメールの本文に本製品で表示できない文字が含まれている場合、空白に置き換えて表示されることがあります。

メール本文の電話番号を直接利用する（クリッカブル）

メール本文中の文字列で「0で始まる10〜32桁」の数字を電話番号と認識し、直接電話をかけたり、ライトメールを作成したりすることができます。
認識可能な文字列は、受信メール詳細画面で反転表示されます。

受信メール詳細画面で

❶ [◎]で本文中の電話番号を選択し、[■]【決定】

❷ 以下の[1]〜[4]の項目から選択

[1]発信	選択した電話番号に電話をかけます。
[2]電話帳新規登録	新しく電話帳に登録します。（「電話帳の各項目を登録する」☞70ページ）
[3]電話帳追加登録	**追加登録する電話帳を選択し、[■]【決定】➡ [📖]【登録】➡「はい」を選択し、[■]【決定】➡「はい」を選択し、[■]【決定】** すでに登録されている電話帳に、電話番号を追加登録します。
[4]ライトメール作成	選択した電話番号を宛先としたライトメールを作成します。 （「メールを作成して送信する〈ライトメール〉」☞87ページ）

お知らせ

- 送信済メールや未送信メールの場合も同様に利用できます。

メールを管理する

■ 受信メールの管理について

・受信したメールは、「受信フォルダ」(☞91ページ)に保存されています。「受信メール一覧画面」のメニューを使うと、メールの削除や並べ替え、マイフォルダへの移動などの管理ができます。

■ 送信メールの管理について

・送信したメールは「送信フォルダ」に保存され、未送信のメールや送信に失敗したメールも一緒に保存されます。
・「送信メール一覧画面」のメニューを使うと、メールの削除や並べ替え、マイフォルダへの移動などの管理ができます。

■ マイフォルダについて

・マイフォルダには5つのフォルダがあり、それぞれ自分でフォルダ名を付けて受信メールや送信メールを分類することができます。

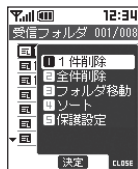
メール一覧画面のメニューを使う

受信メール一覧画面や送信メール一覧画面から、フォルダ内のメールを削除したり、並べ替えやマイフォルダへ移動させたりすることができます。
マイフォルダのメール一覧画面からも、同じメニューが使えます。

待受画面で

メール一覧画面のメニュー

❶ [✉]【[✉]】➡ [1]「ライトメール」➡ [2]「受信フォルダ」➡ メールを選択 ➡ [📖]【MENU】

❷ 以下の[1]～[5]の項目から選択

項目	説明		
[1] 1件削除	選択したメールを削除します。(「メールを削除する」☞96ページ)		
[2] 全件削除	選択したフォルダ内の保護設定されていないメールをすべて削除します。 (「メールを削除する」☞96ページ)		
[3] フォルダ移動	➡ [1]～[5]で移動先のフォルダを選択 選択したメールをマイフォルダに移動します。 (「メールを別のフォルダに移動する」☞97ページ)		
[4] ソート	選択したフォルダ内のメールの表示順番を変更します。 (「メール一覧の表示順を変える(ソート)」☞97ページ)		
	[1] 日付	メールを日付の新しい順に並べ替えます。	
	[2] メール状態	受信メールは、未読メール→既読メールの順に並べ替えます。 (それぞれ日付の新しい順に表示されます) 送信メールは、未送信メール→送信済メールの順に並べ替えます。 (それぞれ日付の新しい順に表示されます)	
[5] 保護設定(保護解除)	選択している受信メールを保護／解除します。(「メールを保護する」☞98ページ)		

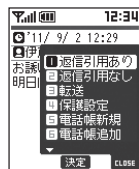
受信メール詳細画面のメニューを使う

マイフォルダ内の受信メール詳細画面からも、同じメニューが使えます。

待受画面で

受信メール詳細画面のメニュー

❶ [メール]【[メール]】➡ [1]「ライトメール」➡ [2]「受信フォルダ」➡ **メールを選択** ➡ [■]【決定】➡ [MENU]【MENU】

❷ **以下の[1]〜[7]の項目から選択**

[1] 返信引用あり	表示している受信メールの本文を引用し、差出人に返信します。 （「メールに返信する」☞92ページ）
[2] 返信引用なし	表示している受信メールの本文を引用しないで、差出人に返信します。 （「メールに返信する」☞92ページ）
[3] 転送	表示している受信メールの本文を引用し、転送します。 （「メールを転送する」☞92ページ）
[4] 保護設定（保護解除）	表示している受信メールを保護／解除します。（「メールを保護する」☞98ページ）
[5] 電話帳新規	表示している受信メールの電話番号を電話帳に登録します。 （「電話帳の各項目を登録する」☞70ページ）
[6] 電話帳追加	➡ 追加登録する電話帳を選択し、[■]【決定】➡ [MENU]【登録】➡「はい」を選択し、[■]【決定】➡「はい」を選択し、[■]【決定】 すでに登録されている電話帳に差出人の電話番号を追加登録します。
[7] 発信	差出人に電話をかけます。

つづく

送信メール詳細画面のメニューを使う

マイフォルダ内の送信メール詳細画面からも、同じメニューが使えます。

待受画面で

送信メール詳細画面のメニュー

① [✉]【✉】➡ [1]「ライトメール」➡ [3]「送信フォルダ」➡ メールを選択 ➡ [■]【決定】➡ [📖]【MENU】

② 以下の[1]～[4]の項目から選択

[1]再送／編集	表示されているメールを送信または編集します。 （「保存されたメールを編集して送信する」☞89ページ）
[2]保護設定（保護解除）	表示している送信メールを保護／解除します。（「メールを保護する」☞98ページ）
[3]電話帳新規	表示している送信メールの電話番号を電話帳に登録します。 （「電話帳の各項目を登録する」☞70ページ）
[4]電話帳追加	**➡ 追加登録する電話帳を選択し、[■]【決定】➡ [📖]【登録】➡「はい」を選択し、[■]【決定】➡「はい」を選択し、[■]【決定】** すでに登録されている電話帳に電話番号を追加登録します。

メールを削除する

メール一覧画面のメニュー(☞94ページ)を使って、メールを削除します。

メール一覧画面で

メール一覧画面のメニュー

① メールを選択 ➡ [📖]【MENU】

② 以下の[1]または[2]の項目から選択

[1]1件削除	**➡「はい」を選択し、[■]【決定】** 選択したメールを削除します。
[2]全件削除	**➡ 本製品の暗証番号を入力 ➡「はい」を選択し、[■]【決定】** フォルダ内の保護設定(☞98ページ)されていないすべてのメールを削除します。

お願い

● 一度削除したメールは復元できません。全件削除する場合は特にご注意ください。

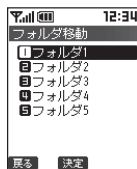
お知らせ

●「1件削除」では、保護設定(☞98ページ)されたメールも削除されます。

メールを別のフォルダに移動する

メール一覧画面のメニュー(☞94ページ)を使って、受信メールや送信メールをマイフォルダに移動し分類できます。

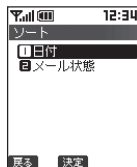
メール一覧画面で

メールを選択 ➡ [MENU] ➡ 3「フォルダ移動」➡ 1～5で移動先のフォルダを選択

お知らせ

- マイフォルダ内のメールを選択すると、マイフォルダ内の別のフォルダに移動できます。
- マイフォルダのフォルダ名の変更方法については、「フォルダ名を変更する〈フォルダ名変更〉」(☞99ページ)をご参照ください。

メール一覧の表示順を変える(ソート)

メール一覧画面のメニュー(☞94ページ)を使って、メールの表示順を変えることができます。
マイフォルダ内のメールの表示順も、同様の手順で行えます。

メール一覧画面で

❶ [MENU] ➡ 4「ソート」

❷ 以下の1または2の項目から選択

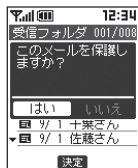
1日付	メールを日付の新しい順に並べ替えます。
2メール状態	受信メールは、未読メール→既読メールの順に並べ替えます。 (それぞれ日付の新しい順に表示されます) 送信メールは、未送信メール→送信済メールの順に並べ替えます。 (それぞれ日付の新しい順に表示されます)

メールを保護する

送受信したメールが、本製品の最大保存件数を超えると、送受信日時の古いメールから自動的に削除されます。大事なメールが自動削除されたり、誤って削除されたりしないようにするためには保護設定を行います。設定方法は2通りあります。

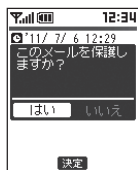
■ メール一覧画面から

メール一覧画面で

メールを選択 ➡ 【MENU】 ➡ 5「保護設定」➡「はい」を選択し、■【決定】

■ メール詳細画面から（受信メールの場合）

メール詳細画面で

【MENU】 ➡ 4「保護設定」※ ➡「はい」を選択し、■【決定】

※送信メールの場合は2【保護設定】となります。

お知らせ

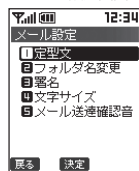
- 保護設定の最大件数は50件です。
- 保護設定を解除するには、保護設定手順を再度行ってください。メールが保護されていた場合、メニューの「保護設定」が「保護解除」に変わります。
- 保護を設定すると、メールのアイコンに「🔑」が追加されます。

メールの機能を設定する　〈メール設定〉 機能番号12

メール機能に関する各種設定を行います。

待受画面で

❶ [✉]【[✉]】➡ [2]「メール設定」

❷ 以下の[1]～[5]の項目から選択

[1]定型文	定型文を編集します。（「定型文を編集する〈定型文〉」☞66ページ）	
[2]フォルダ名変更	マイフォルダ内のフォルダ名を変更します。 （「フォルダ名を変更する〈フォルダ名変更〉」☞99ページ）	
[3]署名	送信するメールの本文に署名を追加します。（「署名を設定する〈署名〉」☞100ページ）	
[4]文字サイズ	メール詳細画面でのメール本文の文字の大きさを設定します。 （「メールの文字の大きさを設定する〈文字サイズ〉」☞101ページ）	
	[1]標準	メール本文の文字を標準の大きさで表示します。
	[2]大	メール本文の文字を標準より大きく表示します。
[5]メール送達確認音	メールの送信時の確認音を設定します。 （「メール送信時の確認音を設定する〈メール送達確認音〉」☞101ページ）	
	[1]ON	メールを相手に送信できたときに確認音を鳴らします。
	[2]OFF	メール送信時の確認音は鳴りません。

フォルダ名を変更する　〈フォルダ名変更〉 機能番号122

マイフォルダ内のフォルダ名を、メールを分類するときなどに分かりやすくするために変更できます。

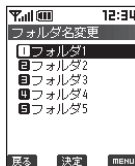
待受画面で

[✉]【[✉]】➡ [2]「メール設定」➡ [2]「フォルダ名変更」➡ [1]「フォルダ1」～[5]「フォルダ5」➡ フォルダ名を編集 ➡ [■]【決定】

お知らせ

● 入力できる文字数は全角8文字、半角16文字までです。

5
メールの使いかた

つづく

お買い上げ時のフォルダ名にリセットする

変更したフォルダ名を、お買い上げ時のフォルダ名に戻すことができます。

待受画面で

❶ 【✉】➡ 2「メール設定」➡ 2「フォルダ名変更」➡ フォルダを選択 ➡ 【MENU】

❷ 以下の1または2の項目から選択

1 1件リセット	➡「はい」を選択し、■【決定】 選択したフォルダ名をお買い上げ時に戻します。
2 全件リセット	➡ 本製品の暗証番号を入力 ➡「はい」を選択し、■【決定】 すべてのフォルダ名をお買い上げ時に戻します。

署名を設定する 〈署名〉 機能番号123

メール本文に挿入する署名を設定します。

待受画面で

お買い上げ時：
「未設定」

【✉】➡ 2「メール設定」➡ 3「署名」➡ 署名を入力 ➡ ■【決定】

お知らせ

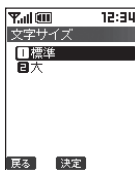
- 入力できる文字数は全角45文字、半角90文字までです。
- 署名は送信メール本文の文字数にカウントされます。
- 署名を設定しないときは、入力した署名を全文削除してください。

メールの文字の大きさを設定する　〈文字サイズ〉 機能番号124

メール詳細画面で、表示されるメール本文の文字の大きさを設定します。

待受画面で

❶ [✉]【✉】➡ [2]「メール設定」➡ [4]「文字サイズ」

❷ 以下の[1]または[2]の項目から選択

[1] 標準		1行あたり全角10文字、半角20文字を表示します。
[2] 大		1行あたり全角7文字、半角15文字を表示します。

お知らせ

● メール作成時の文字サイズは変更されません。

メール送信時の確認音を設定する　〈メール送達確認音〉 機能番号125

メールを送信したとき、相手に送信できたときに確認音でお知らせします。

待受画面で

❶ [✉]【✉】➡ [2]「メール設定」➡ [5]「メール送達確認音」

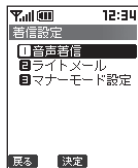
❷ [1]「ON」または[2]「OFF」

6 音／バイブレータ／LEDの設定

着信音や着信パターンを設定する 〈着信設定〉 機能番号21

電話がかかってきたときやメールを受信したときの着信音やバイブレータ、LED(表示ランプ)の点滅パターンなどを設定します。電話(音声着信)とライトメールで個別に設定できます。

待受画面で

❶ [■]【MENU】➡ [2] [1]「着信設定」➡ 以下の[1]「音声着信」または[2]「ライトメール」を選択

[1]音声着信	電話がかかってきたときの着信音や着信パターンを設定します。
[2]ライトメール	ライトメールを受信したときの着信音や着信パターンを設定します。
[3]マナーモード設定	マナーモード中に着信を知らせるバイブレータ、LED(表示ランプ)の点滅パターンを設定します。 (「マナーモード中のバイブレータ/LEDの設定をする〈マナーモード設定〉」☞52ページ)

❷ 以下の[1]〜[6]の項目から選択

着信設定画面

[1]着信音量	電話やメールを受信したときの着信音量を設定します。 (「着信音量を設定する〈着信音量〉」☞105ページ)
[2]着信メロディ	電話やメールを受信したときの着信メロディを設定します。 (「着信メロディを設定する〈着信メロディ〉」☞105ページ)
[3]バイブ設定	電話やメールを受信したときのバイブレータを設定します。 (「バイブレータを設定する〈バイブ設定〉」☞106ページ)
[4]バイブ優先	電話やメールを受信したときに、バイブレータを動作させてから着信音が鳴るように設定します。(「バイブレータ優先を設定する〈バイブ優先〉」☞106ページ)
[5]LED設定	電話やメールを受信したときのLED(表示ランプ)の点滅パターンを設定します。 (「LEDの点滅パターンを設定する〈LED設定〉」☞107ページ)
[6]リマインダー設定	不在着信や留守録が録音されているとき、またメールを受信したときに、着信後一定間隔で表示ランプを1回点灯させてお知らせします。 (「リマインダーを設定する〈リマインダー設定〉」☞107ページ)

お知らせ

- 音声着信、またはライトメールの着信設定画面で[📖]【再生】を押すと、現在の着信設定が再生され、確認できます。マナーモード設定中は、マナーモードの一時解除画面が表示されますので、「はい」を選択し、[■]【決定】を押すと再生できます。
  再生を中止するときは、[■]【OK】または[✉]【戻る】を押してください。

着信音量を設定する 〈着信音量〉

電話がかかってきたときやメールを受信したときの着信音量を「OFF」、「音量レベル1」(最小)～「音量レベル3」(最大)、「STEP」に設定できます。STEPにすると、音がだんだん大きくなります。

着信設定画面で

[1]「着信音量」➡ [◎]で音量を選択し、[■]【決定】

お知らせ

- 音量選択中、選択している音量で着信メロディが再生されます。ただし、マナーモード設定中は、着信メロディは再生されません。
- 音声着信の着信音量を「OFF」に設定すると、待受画面に「S」が表示されます。

着信メロディを設定する 〈着信メロディ〉

電話がかかってきたときやメールを受信したときの着信メロディを設定します。

着信設定画面で

❶ [2]「着信メロディ」

❷ 以下の[1]～[#]の項目から選択

[1] Morning Dew	[4] Cricket	[7] Forest	[0] Ring Tone
[2] Flute	[5] Playground	[8] Calculator	[*] Metropolis
[3] Moon Shine	[6] Dreaming	[9] Interlude	[#] Appassionata

お知らせ

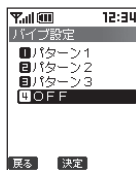
- 着信メロディを再生したいときは、[◎]で着信メロディを選択し、[📖]【再生】を押してください。
  マナーモード設定中は、マナーモードの一時解除画面が表示されますので、「はい」を選択し、[■]【決定】を押すと再生されます。
  - 再生中の着信メロディに設定するとき：[■]【OK】を押す
  - 設定せずに戻るとき：[✉]【戻る】を押す
- 着信メロディ再生中は、[◎]で音量を調節できます。(着信音量の設定は変わりません。)

つづく

バイブレータを設定する 〈バイブ設定〉

電話がかかってきたときやメールを受信したとき、バイブレータを振動させてお知らせします。
バイブレータは「パターン1」〜「パターン3」、「OFF」に設定できます。

着信設定画面で

3「バイブ設定」➡ 1「パターン1」〜 3「パターン3」、または 4「OFF」の項目から選択

お知らせ

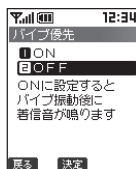
- 音声着信のバイブレータを設定すると、待受画面に「」が表示されます。
- バイブレータの振動を確認したいときは、で「パターン1」〜「パターン3」を選択すると、選択したパターンでバイブレータが振動します。
  - 振動中のバイブレータに設定するとき：【決定】を押す
  - 設定せずに戻るとき：【戻る】を押す

バイブレータ優先を設定する 〈バイブ優先〉

電話がかかってきたときやメールを受信したとき、設定したバイブレータを振動させてから着信音を鳴らすように設定できます。

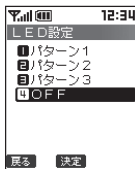
着信設定画面で

❶ 4「バイブ優先」

❷ 以下の 1 または 2 の項目から選択

1 ON	着信時、バイブレータを先に振動させ、約2秒後に着信音が鳴ります。
2 OFF	着信時、バイブレータは着信音と同時に振動します。

LEDの点滅パターンを設定する　〈LED設定〉

電話がかかってきたときやメールを受信したとき、LED（表示ランプ）を点滅させてお知らせします。LEDの点滅は「パターン1」～「パターン3」、「OFF」に設定できます。

お買い上げ時：
音声着信：「パターン2」
ライトメール：「パターン1」
マナーモード設定：「パターン2」

着信設定画面で

5「LED設定」➡ 1「パターン1」～3「パターン3」、または4「OFF」の項目から選択

お知らせ

- 点滅パターンを確認したいときは、[◎]で「パターン1」～「パターン3」を選択すると、選択したパターンでLEDが点滅します。
  - 点滅中のパターンに設定するとき：[■]【決定】を押す
  - 設定せずに戻るとき：[✉]【戻る】を押す

リマインダーを設定する　〈リマインダー設定〉

不在着信や留守録が録音されているとき、またメールを受信したときに、着信後一定間隔で表示ランプを一回点灯させてお知らせします。着信してから点灯までの時間は「10秒」「20秒」「40秒」に設定できます。

着信設定画面で

❶ 6「リマインダー設定」

❷ 以下の1～4の項目から選択

1 10秒	不在着信やメール受信10秒後に、緑色で1回点灯します。
2 20秒	不在着信やメール受信20秒後に、赤色で1回点灯します。
3 40秒	不在着信やメール受信40秒後に、緑色から赤色に1回点灯します。
4 OFF	不在着信やメール受信後に点灯しません。

お知らせ

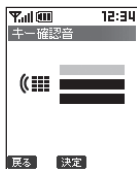
- [◎]で「10秒」「20秒」「40秒」を選択すると、上記の点灯パターンが確認できます。

キーの操作音を設定する　〈キー確認音〉　機能番号22

キーを押したときの音量を「OFF」、「音量レベル1」（最小）～「音量レベル3」（最大）の4段階に調節できます。

待受画面で

❶ [■]【MENU】➡ [2] [2]「キー確認音」

❷ [◇]で音量を選択し、[■]【決定】

お知らせ

- 音量選択中、選択している音量でキー確認音が鳴ります。ただし、マナーモード設定中は鳴りません。

保留音を設定する　〈保留音〉　機能番号23

通話を保留しているときに、相手に流れる保留音を設定します。

待受画面で

お買い上げ時：
「カノン」

❶ [■]【MENU】➡ [2] [3]「保留音」

❷ 以下の[1]～[3]の項目から選択

[1]	カノン
[2]	白鳥
[3]	くるみ割り人形

お知らせ

- 保留音を再生したいときは、[◇]で保留音を選択し、[ ]【再生】を押してください。マナーモード設定中は、マナーモードの一時解除画面が表示されますので、「はい」を選択し、[■]【決定】を押すと、再生されます。
  - 再生中の保留音に設定するとき：[■]【決定】を押す
  - 設定せずに戻るとき：[✉]【戻る】を押す
- 保留音再生中は、[◇]で音量を調節できます。

受話音量を設定する　〈受話音量〉　機能番号24

通話中の受話口からの音量を「レベル1」(最小)〜「レベル4」(最大)に設定できます。通話中の受話音量の調節方法については、「通話中に受話音量を調節する」(☞42ページ)をご参照ください。

待受画面で

❶ ■【MENU】➡ 2 4「受話音量」

❷ ◇で音量を選択し、■【決定】

通知音を設定する　〈通知音設定〉　機能番号25

圏外のときの通知音を設定する　〈圏外警告音〉　機能番号251

通話中電波状態が悪くなり、通話が切れそうになったときに、警告音を鳴らしてお知らせします。

待受画面で

お買い上げ時：
「OFF」

❶ ■【MENU】➡ 2 5 1「圏外警告音」

❷ 以下の 1 または 2 の項目から選択

1 ON	圏外警告音を鳴らします。
2 OFF	圏外警告音を鳴らしません。

7 画面／照明の設定

待受画面の壁紙を設定する　〈待受画面〉　機能番号31

待受画面に表示する壁紙を設定します。

待受画面で

❶ ■【MENU】➡ 3 1「待受画面」

❷ 以下の1～7の項目から選択

1 OFF	待受画面に壁紙やカレンダーは表示されません。
2 待受画面1	壁紙「待受画面1」を待受画面に表示します。
3 待受画面2	壁紙「待受画面2」を待受画面に表示します。
4 待受画面3	壁紙「待受画面3」を待受画面に表示します。
5 待受画面4	壁紙「待受画面4」を待受画面に表示します。
6 待受画面5	壁紙「待受画面5」を待受画面に表示します。
7 カレンダー	今月のカレンダーを待受画面に表示します。

お知らせ

- 壁紙やカレンダーを確認したいときは、◎で壁紙または「カレンダー」を選択し、📖【確認】を押してください。壁紙確認中、◎を押すと壁紙を順番に表示できます。
  - 表示中の壁紙に設定するとき：■【OK】を押す。
  - 設定せずに戻るとき：✉【戻る】を押す。

画面やキーのバックライトを設定する〈バックライト〉 機能番号32

ディスプレイの点灯時間や、キーを押したときのキー照明を設定します。

画面の点灯時間を設定する 〈液晶画面〉 機能番号321

キーを押したときや着信があったときなどの、ディスプレイの点灯時間を設定します。

待受画面で

❶ [■]【MENU】➡ [3] [2] [1]「液晶画面」

❷ 以下の[1]～[5]の項目から選択

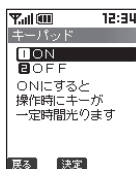
[1] 5秒	キー操作や着信後、約5秒後にディスプレイが消灯します。
[2] 10秒	キー操作や着信後、約10秒後にディスプレイが消灯します。
[3] 20秒	キー操作や着信後、約20秒後にディスプレイが消灯します。
[4] 40秒	キー操作や着信後、約40秒後にディスプレイが消灯します。
[5] 60秒	キー操作や着信後、約60秒後にディスプレイが消灯します。

キーの照明を設定する 〈キーパッド〉 機能番号322

キーを押したときのキー照明を設定します。

待受画面で

❶ [■]【MENU】➡ [3] [2] [2]「キーパッド」

❷ 以下の[1]または[2]の項目から選択

[1] ON	キー操作後、約15秒間キーが点灯します。
[2] OFF	キーを押しても点灯しません。

画面の明るさを設定する　〈輝度調整〉　機能番号33

画面の明るさを「輝度レベル1」(暗い)〜「輝度レベル5」(明るい)の5段階に調節できます。

待受画面で

■【MENU】➡ 3 3「輝度調整」➡
◆で明るさを選択し、■【決定】

画面のコントラストを設定する　〈コントラスト〉　機能番号34

画面のコントラストを「コントラスト1」(弱)〜「コントラスト5」(強)の5段階に調節できます。

待受画面で

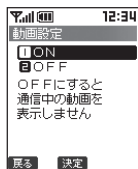
■【MENU】➡ 3 4「コントラスト」➡
◆で明るさを選択し、■【決定】

ダイヤル発信中やメール送信中の動画を設定する　〈動画設定〉　機能番号35

ダイヤル発信中やメール送信中に表示される動画を設定します。

待受画面で

❶ ■【MENU】➡ 3 5「動画設定」

❷ 以下の 1 または 2 の項目から選択

1 ON	ダイヤル中やメール送信中に動画を表示します。
2 OFF	ダイヤル中やメール送信中に動画を表示しません。

8 セキュリティ機能の設定

キーロックを設定／解除する

待受画面で誤ってキーが押されても動作しないように、[PWR]以外のキーをロックできます。

待受画面で

[■]を長く（約1秒以上）押す

キーロックを解除するときは、もう一度[■]を長く（約1秒以上）押してください。

お知らせ

- キーロック設定中は、待受画面に「[鍵アイコン]」が表示されます。
- キーロック設定中でも、着信中や通話中、アラーム動作中のときはキー操作ができます。
- キーロック設定中は、[PWR]を長く（約1秒以上）押しても電源は切れません。キーロックを解除してから行ってください。

着信拒否を設定する 〈着信拒否〉 機能番号65

特定の電話番号からの着信やメールの受信、電話番号が通知されない着信やメールの受信を拒否できます。

着信拒否を設定／解除する

待受画面で

❶ [■]【MENU】➡ [6][5]「着信拒否」

❷ 以下の[1]～[4]の項目から選択

[1]着信拒否設定	[1]音声着信	➡ [1]「設定／解除」➡ [1]「ON」または[2]「OFF」 「ON」を選択すると、拒否リストに登録した電話番号からの着信を拒否します。（「着信拒否する相手を登録／編集する（拒否リスト編集）」☞117ページ）
	[2]ライトメール	➡ [1]「設定／解除」➡ [1]「ON」または[2]「OFF」 「ON」を選択すると、拒否リストに登録した電話番号からのライトメールの受信を拒否します。（「着信拒否する相手を登録／編集する（拒否リスト編集）」☞117ページ）
[2]ユーザ非通知	➡ [1]「ON」または[2]「OFF」 「ON」を選択すると、電話番号を通知してこない着信を拒否します。	
[3]公衆電話発信	➡ [1]「ON」または[2]「OFF」 「ON」を選択すると、公衆電話からの着信を拒否します。	
[4]通知不可能	➡ [1]「ON」または[2]「OFF」 「ON」を選択すると、発信者番号を通知する機能のない電話など、何らかの理由で発信者番号を通知できない相手からの着信を拒否します。	

お知らせ

- 「ユーザ非通知」／「公衆電話発信」／「通知不可能」着信拒否は、ウィルコムの番号非通知ガードサービスとは異なります。

着信拒否する相手を登録／編集する　〈拒否リスト編集〉

音声着信やライトメールで着信拒否できる電話番号を、それぞれ20件まで登録できます。

待受画面で

着信拒否リスト
（例：音声着信）

❶ [■]【MENU】➡ [6] [5] [1]「着信拒否設定」

❷ 以下の[1]または[2]の項目から選択

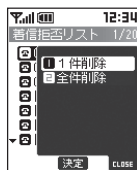
[1]音声着信	➡ [2]「拒否リスト編集」➡ [未登録]※を選択し、[■]【決定】➡ **登録する電話番号を入力し、[■]【確定】** 入力できる電話番号は32桁までです。
[2]ライトメール	➡ [2]「拒否リスト編集」➡ [未登録]※を選択し、[■]【決定】➡ **登録する電話番号を入力し、[■]【確定】** 入力できる電話番号は32桁までです。

※編集するときは、登録されている電話番号を選択してください。

着信拒否に登録した電話番号を削除する

着信拒否リストで

❶ 削除する電話番号を選択 ➡ [📖]【MENU】

❷ 以下の[1]または[2]の項目から選択

[1]1件削除	➡「はい」を選択し、[■]【決定】 選択した電話番号を削除します。
[2]全件削除	➡ 暗証番号を入力 ➡「はい」を選択し、[■]【決定】 すべての電話番号を削除します。

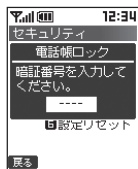
電話帳にロックをかける　〈電話帳ロック〉　機能番号71

電話帳ロックを設定すると、電話帳の登録／検索／編集／削除／引用ができなくなります。また、電話帳に登録された相手から電話がかかってきたときや履歴画面では、電話番号を表示し、名前は表示されません。

待受画面で

お買い上げ時：
「解除」

■【MENU】➡ 7 1「電話帳ロック」➡
本製品の暗証番号を入力

電話帳ロックが設定されます。解除するときも同じ操作を行います。

お知らせ

- 電話帳ロック設定中は、操作ガイド表示エリアに「 」は表示されません。
- 電話帳ロック設定中にスピードダイヤル(☞79ページ)で電話をかけると、「電話帳に登録がありません。」と表示され、かけることができません。
- 着信中に を長く(約1秒以上)押すと、電話帳ロックを設定することができます。
- 本製品の暗証番号を変更する。(☞125ページ)

ダイヤルロックを設定／解除する〈ダイヤルロック〉　機能番号72

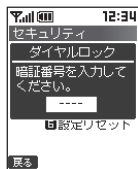
ダイヤルロックを設定すると、以下の操作のみ行うことができます。

- 電源のON／OFF(☞32ページ)
- 電話の着信への応答／通話／終話(☞41ページ)
- 着信中の着信音の停止(☞43ページ)
- 通話中の受話音量の変更(☞42ページ)
- 通話中の保留(☞42ページ)
- ライトメールの受信(☞90ページ)
- アラーム動作中のアラーム停止(☞131ページ)
- スケジュール動作中のアラーム停止(☞133ページ)
- リモートロック(☞120ページ)

それ以外の操作はロックされるため、操作ができない状態になります。

ダイヤルロックを設定する

待受画面で

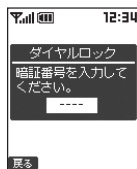
■【MENU】➡ 7 2「ダイヤルロック」➡
本製品の暗証番号を入力

お知らせ

- ダイヤルロックを設定すると、待受画面に「 」が表示されます。
- 本製品の暗証番号を変更する。(☞125ページ)

ダイヤルロックを解除する

待受画面で

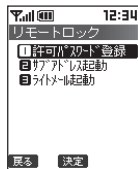
ダイヤルロックされた状態で、暗証番号を入力する

遠隔操作で本製品の機能をロックする 〈リモートロック〉 機能番号73

本製品を紛失してしまったときや、盗難に遭ったとき、遠隔操作により、他の人に使われないようロックをかけることができます。また、メールや電話帳などのデータを消去することもできます。
リモートロックを利用するためには、あらかじめリモートロックの許可パスワードの設定、および遠隔操作できる状態に設定する必要があります。設定後、他の電話機や公衆電話からリモートロックの許可パスワードを送信することでリモートロックがかかります。

待受画面で

リモートロック設定画面

❶ [■]【MENU】➡ [7] [3]「リモートロック」➡ 本製品の暗証番号を入力

❷ 以下の[1]～[3]の項目から選択

[1]許可パスワード登録	許可パスワードを登録します。 （「許可パスワードを登録する」☞121ページ）	
[2]サブアドレス起動	[1]許可番号登録	電話による遠隔操作を許可する電話番号を登録します。 （「遠隔操作を許可する電話番号を登録／削除する〈許可番号登録〉」☞121ページ）
	[2]リモートロック起動	電話による遠隔操作を許可するかどうかの設定を行います。（「遠隔操作の許可を設定する〈リモートロック起動〉」☞122ページ）
[3]ライトメール起動	[1]許可番号登録	ライトメールによる遠隔操作を許可する電話番号を登録します。（「遠隔操作を許可する電話番号を登録／削除する〈許可番号登録〉」☞121ページ）
	[2]リモートロック起動	ライトメールによる遠隔操作を許可するかどうかの設定を行います。（「遠隔操作の許可を設定する〈リモートロック起動〉」☞122ページ）

お願い

- リモートロックによるデータの消去など損害および損失利益につきまして、当社は一切責任を負いかねます。あらかじめ、ご了承ください。

お知らせ

- 以下の電話機で遠隔操作により、リモートロックをかけることができます。
  - 電話による遠隔操作：PHSや携帯電話、ISDNなどサブアドレスを発信できる電話機
  - ライトメールによる遠隔操作：ライトメール対応の電話機

  また、「My WILLCOM」からもリモートロックをかけることができます。
  詳しくはウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。（「お問い合わせ先」☞167ページ）

許可パスワードを登録する　〈許可パスワード登録〉

リモートロックをかけるために必要なパスワードを登録します。
パスワードは4～8桁の数字で登録します。

お買い上げ時：
「未登録」

リモートロック設定画面で

[1]「許可パスワード登録」➡ 登録する許可パスワードを入力 ➡ [■]【決定】➡ もう一度登録する許可パスワードを入力 ➡ [■]【決定】➡ [■]【OK】

お願い

- リモートロックをかけるためには、許可パスワードが必要です。登録後はお忘れにならないようメモを取るなどして、手元にお控えください。

お知らせ

- 許可パスワードは本製品の暗証番号とは異なります。
（「本製品の暗証番号を変更する〈暗証番号変更〉」☞125ページ）
- 登録した許可パスワードは変更することもできます。

遠隔操作を許可する電話番号を登録／削除する　〈許可番号登録〉

遠隔操作を許可する電話番号を登録します。電話番号は、電話／ライトメールそれぞれ3件まで登録できます。
許可番号を1件も登録していない場合は、すべての電話番号から遠隔操作を行うことができます。

お買い上げ時：
「未登録」

許可番号を登録する

例：電話による遠隔操作の電話番号を登録する場合

リモートロック設定画面で

❶ **[2]「サブアドレス起動」➡ [1]「許可番号登録」**

ライトメールによる遠隔操作の電話番号を登録する場合は、❶の操作で[3]「ライトメール起動」➡ [1]「許可番号登録」を押してください。

❷ **[◎]で電話番号を選択 ➡ [■]【決定】➡ 許可する電話番号を入力 ➡ [■]【確定】**

お知らせ

- 入力できる電話番号は32桁までです。

許可番号を削除する

例：電話による遠隔操作の電話番号を削除する場合

リモートロック設定画面で

❶ **[2]「サブアドレス起動」➡ [1]「許可番号登録」**

ライトメールによる遠隔操作の電話番号を削除する場合は、❶の操作で[3]「ライトメール起動」➡ [1]「許可番号登録」を押してください。

❷ **[◎]で削除する電話番号を選択 ➡ [📖]【MENU】**

❸ **以下の[1]または[2]の項目から選択**

[1] 1件削除	➡「はい」を選択し、[■]【決定】 選択した電話番号を削除します。
[2] 全件削除	➡「はい」を選択し、[■]【決定】 すべての電話番号を削除します。

遠隔操作の許可を設定する 〈リモートロック起動〉

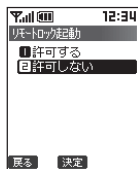
電話やライトメールによる遠隔操作を許可するかどうかの設定を行います。
本製品が「許可しない」に設定されている場合、遠隔操作を行うことはできません。

例：電話による遠隔操作の許可を設定する場合

リモートロック設定画面で

❶ **[2]「サブアドレス起動」➡ [2]「リモートロック起動」**

ライトメールによる遠隔操作を許可するかどうかの設定を行う場合は、❶の操作で[3]「ライトメール起動」➡ [2]「リモートロック起動」を押してください。

❷ **以下の[1]または[2]の項目から選択**

[1] 許可する	遠隔操作を行うことができます。
[2] 許可しない	遠隔操作を行うことができません。

8 セキュリティ機能の設定

遠隔操作を行う

他の人に本製品が使われないようPHSや携帯電話、ISDNなどサブアドレスを発信できる電話機、またはライトメール対応の電話機から遠隔操作を行います。
遠隔操作により、以下の3種類の機能がご利用になれます。

■ リモートロックをかける
リモートロックがかかると、本製品は以下の操作のみ行うことができます。
- 電源のON／OFF(☞32ページ)
- 電話の着信への応答／通話／終話(☞41ページ)
- 着信中の着信音の停止(☞43ページ)
- 通話中の受話音量の変更(☞42ページ)

■ リモートロック＋データ消去を行う
リモートロックと同時に本製品のデータを消去します。消去されるデータは本製品の完全消去＋初期化(「すべてリセットする〈完全消去＋初期化〉」☞126ページ)でリセットされる内容と同じです。

■ リモートロックを解除する
操作方法については以下をご参照ください。
- 電話による遠隔操作の場合：☞123ページ
- ライトメールによる遠隔操作の場合：☞124ページ

お願い

- 遠隔操作を行うには、許可パスワードの登録(☞121ページ)、およびリモートロック起動(☞122ページ)が許可に設定されている必要があります。

お知らせ

- 本製品の電源がOFFのときや、電波の届かない場所にあるときは、遠隔操作による機能をご利用になれません。
- リモートロック中に、本製品の電源をOFFにしたり、バッテリーを外したりしても解除できません。

電話をかけて遠隔操作を行う

■ 他の電話機から、リモートロックをかける
本製品の電話番号を入力 ➠ コマンド「*01」を入力 ➠ 登録した許可パスワードを入力 ➠ 発信する

■ 他の電話機から、リモートロック＋データ消去を行う
本製品の電話番号を入力 ➠ コマンド「*03」を入力 ➠ 登録した許可パスワードを入力 ➠ 発信する

■ 他の電話機から、リモートロックを解除する
本製品の電話番号を入力 ➠ コマンド「*00」を入力 ➠ 登録した許可パスワードを入力 ➠ 発信する

- 本製品側が正しく遠隔操作のコマンドを受信すると、本製品へ電話をかけた電話機側が「ピポッ」と鳴り、約2秒後に電話が切れます。
- 本製品側でリモートロックの設定／解除コマンドを受信したとき、まだリモートロックは設定／解除されていません。本製品で何かしらの操作が行われたときに設定／解除されます。
リモートロックがかかると待受画面に「☆☆☆☆☆☆☆」が表示されます。

お知らせ

- 許可番号(☞121ページ)が登録されている場合は、登録されている電話番号からのみ遠隔操作を行うことができます。

ライトメールを送信して遠隔操作を行う

ライトメール作成画面で

■ 他の電話機から、リモートロックをかける

① 以下の通り入力する
宛先：本製品の電話番号
本文：「ソウサ1」➡「許可パスワード」
② メールを送信する

■ 他の電話機から、リモートロック+データ消去を行う

① 以下の通り入力する
宛先：本製品の電話番号
本文：「ソウサ3」➡「許可パスワード」
② メールを送信する

■ 他の電話機から、リモートロックを解除する

① 以下の通り入力する
宛先：本製品の電話番号
本文：「ソウサ0」➡「許可パスワード」
② メールを送信する

● 本製品側でリモートロックの設定／解除コマンドを受信したとき、まだリモートロックは設定／解除されていません。
本製品で何かしらの操作が行われたときに設定／解除されます。
リモートロックがかかると待受画面に「☆☆☆☆☆☆☆」が表示されます。

お願い

●「ソウサ」は全角または半角のカタカナで入力してください。また本文中にスペースや改行、アニメーション絵文字などを付けた場合は、コマンドとして扱われませんので、ご注意ください。

お知らせ

● 許可番号(☞121ページ)が登録されている場合は、登録されている電話番号からのみ遠隔操作を行うことができます。

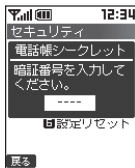
シークレットモードを設定／解除する　〈電話帳シークレット〉　機能番号74

他の人に見られたくない電話帳は、電話帳登録時にシークレット設定(☞72ページ)を「ON」にして登録しておくと、電話帳や履歴画面では表示されません。
シークレット設定した電話帳を表示させるには、以下の操作で電話帳シークレットモードを設定してください。

待受画面で

お買い上げ時：
「解除」

■【MENU】➡ 7 4「電話帳シークレット」➡
本製品の暗証番号を入力

電話帳シークレットモードが設定されます。解除するときも同じ操作を行います。

お知らせ

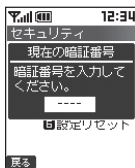
- 電話帳シークレットモード設定中は、シークレット設定された電話帳と通常の電話帳をすべて表示することができます。
- 電話帳シークレットモード設定中は、スピードダイヤル(☞79ページ)を使ってシークレット設定した電話帳にもかけられます。
- 本製品の暗証番号を変更する。(☞125ページ)

本製品の暗証番号を変更する　〈暗証番号変更〉　機能番号75

本製品の暗証番号を4桁の数字で設定します。お客様の個人情報を保護するため、お買い上げ時の設定からお好みの番号に変更することをおすすめします。

待受画面で

お買い上げ時：
「0000」

■【MENU】➡ 7 5「暗証番号変更」➡
設定されている暗証番号を入力 ➡ 新しい暗証番号を入力 ➡
もう一度新しい暗証番号を入力

お願い

- 暗証番号は必ずメモを取るなどして、手元にお控えください。万一、暗証番号をお忘れになった場合は修理扱いとなり有償修理対応となりますので、ウィルコムサービスセンター(☞167ページ)にお問い合わせください。

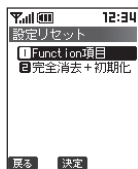
8
セキュリティ機能の設定

登録内容や各機能の設定をリセットする 〈設定リセット〉 機能番号76

登録内容や各機能設定をリセットし、お買い上げ時の状態に戻します。

待受画面で

❶ ■【MENU】➡ 7 6「設定リセット」

❷ 以下の1または2の項目から選択

1 Function項目	各種機能（機能設定のみ）の設定内容をリセットし、お買い上げ時の設定に戻します。
2 完全消去＋初期化	本製品の登録、設定、録音内容や履歴をすべてリセットし、お買い上げ時の設定に戻します。

お願い

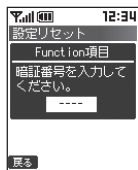
●「完全消去＋初期化」を行うと、送受信したメール、電話帳もすべて削除されますのでご注意ください。

各機能の設定をリセットする 〈Function項目〉 機能番号761

各種機能（機能設定のみ）の設定内容をリセットし、お買い上げ時の状態に戻します。

待受画面で

❶ ■【MENU】➡ 7 6 1「Function項目」

❷ 本製品の暗証番号を入力 ➡「はい」を選択し、■【決定】

お知らせ

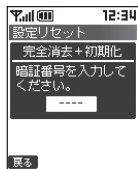
●Function項目でリセットされる機能の一覧については、「機能一覧」（☞154ページ）をご参照ください。

すべてリセットする 〈完全消去＋初期化〉 機能番号762

製品の登録、設定、録音内容や履歴をすべてリセットし、お買い上げ時の状態に戻します。
送受信したメールや電話帳の登録内容もすべて削除されますのでご注意ください。

待受画面で

❶ ■【MENU】➡ 7 6 2「完全消去＋初期化」

❷ 本製品の暗証番号を入力 ➡「はい」を選択し、■【決定】

お知らせ

●完全消去＋初期化を行うと本製品の暗証番号もお買い上げ時の状態に戻ります。

9 その他の便利な機能

自分の電話番号を確認する　〈プロフィール〉 機能番号0

自分の電話番号を確認する

本製品の電話番号を確認します。

待受画面で

■【MENU】➡ 0「プロフィール」

プロフィールに名前を登録する

自分の名前を登録します。名前に入力できる文字数は全角9文字、半角19文字までです。

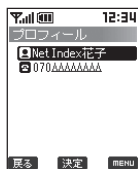
待受画面で

■【MENU】➡ 0「プロフィール」➡ ■【詳細】➡ 「(名前)」を選択 ➡ ■【決定】➡ 名前を入力 ➡ ■【決定】➡ 【MENU】➡ 1「登録」➡ 「はい」を選択し、■【決定】

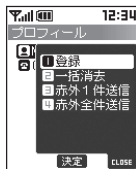
登録した名前を確認／編集／削除する

登録した名前を確認する

待受画面で

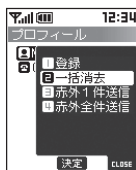
■【MENU】➡ 0「プロフィール」➡ ■【詳細】

登録した名前を編集する

待受画面で

■【MENU】➡ 0「プロフィール」➡ ■【詳細】➡ 「(名前)」を選択 ➡ ■【決定】➡ 名前を編集する ➡ ■【決定】➡ 【MENU】➡ 1「登録」➡ 「はい」を選択し、■【決定】

登録した名前を削除する

待受画面で

■【MENU】➡ 0「プロフィール」➡ ■【詳細】➡ 【MENU】➡ 2「一括消去」➡ 「はい」を選択し、■【決定】

アラーム機能を使う 〈アラーム設定〉 機能番号41

設定した日付と時刻にアラーム音を鳴らし、目覚し時計などとして使うことができます。
アラームは3件まで登録できます。

アラーム設定を登録／編集する

待受画面で

❶ [■]【MENU】➡ [4] [1]「アラーム設定」➡ [1]「アラーム1」～[3]「アラーム3」で項目を選択

❷ 以下の[1]～[8]の項目から選択し、登録／編集する

アラーム一覧画面

12:34
アラーム設定
1 アラーム1
2 アラーム2
3 アラーム3
0:00 OFF ｽﾇｰｽﾞﾅｼ
月火水木金
戻る 決定

項目		説明
[1] ON／OFF お買い上げ時：「OFF」	[1] ON	設定した内容でアラームを鳴らします。
	[2] OFF	アラームは鳴らしません。
[2] 時刻設定 お買い上げ時：「00：00」	➡ **時刻を入力し、[■]【確定】** 指定した時刻にアラームを鳴らします。時刻は24時制で入力します。	
[3] 曜日設定 お買い上げ時： アラーム1：「月-金」 アラーム2：「土日」 アラーム3：「毎日」	[1] 毎日	毎日アラームを鳴らします。
	[2] 月ー金	平日(月～金)にアラームを鳴らします。
	[3] 土日	週末(土日)にアラームを鳴らします。
	[4] 曜日指定	➡ **[1]「日曜日」～[7]「土曜日」➡ [1]「ON」または[2]「OFF」** 「ON」に設定した曜日にアラームを鳴らします。
[4] アラーム音量 お買い上げ時：「音量レベル2」	➡ **[◇]でアラーム音量を選択し、[■]【決定】** 指定した音量でアラームを鳴らします。 押すごとに、選択した音量で現在設定されているアラーム音を再生します。 （マナーモード設定中は、再生されません） 音量は、OFFと音量レベル1～3、STEPから選択できます。	
[5] アラーム音種 お買い上げ時： アラーム1：「Morning Dew」 アラーム2：「Flute」 アラーム3：「Moon Shine」	➡ **[0]～[9]、[*]、[#]でアラーム音を設定する** 設定したアラーム音でアラームを鳴らします。 [◇]で選択し、[☐]【再生】を押すとアラーム音を再生できます。 再生中に[■]【OK】を押すと、選択したアラーム音に設定されます。マナーモード設定中は、マナーモードの一時解除画面が表示されますので、「はい」を選択し、[■]【決定】を押すと再生されます。 選択できるアラーム音については、「着信メロディを設定する〈着信メロディ〉」(☞105ページ)をご参照ください。	
[6] バイブ設定 お買い上げ時：「OFF」	➡ **[4]「OFF」または[1]～[3]でパターンを設定する** 設定したパターンでバイブレータを動作させます。 [◇]でパターンを選択すると、選択したパターンでバイブレータが動作します。 バイブレータ動作中に[■]【決定】を押すと、選択したパターンに設定されます。	
[7] LED設定 お買い上げ時：「OFF」	➡ **[4]「OFF」または[1]～[3]でパターンを設定する** 設定したパターンでLED（表示ランプ）を点滅させます。 [◇]でパターンを選択すると、選択したパターンでLEDが点滅します。LEDの点滅中に[■]【決定】を押すと、選択したパターンに設定されます。	

8 スヌーズ設定 お買い上げ時：「OFF」	1 ON	アラームを5分間隔で3回まで鳴らします。
	2 OFF	アラームを1回だけ鳴らします。

❸ 【登録】を押す

お知らせ

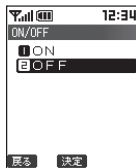
- 電源を切っていると、アラームは動作しません。
- マナーモード設定中は、アラーム音は鳴りません。
- アラームを設定すると、待受画面に「 」が表示されます。
- 以下の動作中、指定時刻になってもアラーム音は鳴りません。
  - 本製品の電源起動中／終了中
  - リモートロック中
  - 設定リセット中(Function項目／完全消去＋初期化)

  また以下については動作終了後にアラーム音が鳴ります。
  - 通話中／発信中／着信中
  - 留守電応答中／録音中／再生中
  - メール受信中／送信中
  - 位置情報通知中
  - 赤外線通信中
- アラームの時刻が重複して設定されたときは、アラーム1～3の順に優先されます。
- アラームとスケジュール(☞133ページ)の時刻が重複して設定されたときは、スケジュールが優先されます。

アラーム設定を一時停止する

アラーム一覧画面で

❶ 1「アラーム1」～3「アラーム3」で一時停止したいアラーム設定を選択し、1「ON／OFF」

❷ 2「OFF」➡ 【登録】

お知らせ

- 一時停止したアラームを再開するには、上記手順で1「ON」を選択してください。

アラームを止める

アラームが鳴っているときに

■【停止】または PWR

お知らせ

- アラーム動作中に着信／メール受信があると、アラーム動作を停止します。
- スヌーズ設定が「ON」のときは、「スヌーズを解除しますか？」と表示されます。
  - スヌーズを解除するときは：「はい」を選択し、■【決定】を押す
  - スヌーズを解除しないときは：「いいえ」を選択し、■【決定】を押す
    約5分後、再度アラームが鳴ります。

時計の表示方法を設定する　〈表示モード〉　機能番号42

待受画面の時計の表示方法を設定します。

待受画面で

❶ [■]【MENU】➡ [4] [2]「表示モード」

❷ 以下の[1]または[2]の項目から選択

[1] 24時間表示	時刻を24時間(0:00〜23:59)で表示します。
[2] 12時間表示	時刻を12時間(0:00〜11:59)で表示します。 午前は時刻の前に「A」、午後は「P」が表示されます。

カレンダーを表示する　〈暦(こよみ)〉　機能番号44

待受画面で

[■]【MENU】➡ [4] [4]「暦(こよみ)」

今月のカレンダーが表示されます。
[◀▶]で表示されている年月を変更できます。

お知らせ

- 表示できる月は、2011年1月〜2099年12月までです。
- カレンダー画面からは、スケジュールに登録した内容は確認できません。

スケジュール機能を使う 〈スケジュール〉 機能番号81

会議や待ち合わせ時間など、スケジュールを登録しておくと、指定した日時にアラームでお知らせします。スケジュールは7件まで登録できます。

スケジュールを登録／編集する

待受画面で

❶ **[■]【MENU】➡ [8] [1]「スケジュール」➡ [1]～[7]で登録、または編集するスケジュールを選択**

❷ **[1]～[6]の項目から選択し、登録／編集する**

項目	操作・説明
[1]日時 お買い上げ時：「現在日時表示」	➡ **日付時刻を入力し、[■]【確定】** 指定した日時にアラームを鳴らします 西暦は下2桁、時刻は24時制で入力します。 入力できる日時は、2011年1月1日0:00～2099年12月31日23:59までです。
[2]内容 お買い上げ時：「未登録」	➡ **スケジュールの内容を入力し、[■]【決定】** 入力できる文字数は全角26文字、半角52文字までです。
[3]アラーム音量 お買い上げ時：「音量レベル2」	➡ **[◎]でアラーム音量を選択し、[■]【決定】** 指定した音量でアラームを鳴らします。 押すごとに、選択した音量で現在設定されているアラーム音を再生します。 （マナーモード設定中は、再生されません） 音量は、OFFと音量レベル1～3、STEPから選択できます。
[4]アラーム音種 お買い上げ時：「Morning Dew」	➡ **[0]～[9]、[*]、[#]でアラーム音を設定する** 設定したアラーム音でアラームを鳴らします。 [◎]で選択し、[📖]**【再生】**を押すとアラーム音を再生できます。 再生中に[■]**【OK】**を押すと、選択したアラーム音に設定されます。マナーモード設定中は、マナーモードの一時解除画面が表示されますので、「はい」を選択し、[■]**【決定】**を押すと再生されます。 選択できるアラーム音については、「着信メロディを設定する〈着信メロディ〉」（☞105ページ）をご参照ください。
[5]バイブ設定 お買い上げ時：「OFF」	➡ **[4]「OFF」または[1]～[3]でパターンを設定する** 設定したパターンでバイブレータを動作させます。 [◎]でパターンを選択すると、選択したパターンでバイブレータが動作します。 バイブレータ動作中に[■]**【決定】**を押すと、選択したパターンに設定されます。
[6]LED設定 お買い上げ時：「OFF」	➡ **[4]「OFF」または[1]～[3]でパターンを設定する** 設定したパターンでLED（表示ランプ）を点滅させます。 [◎]でパターンを選択すると、選択したパターンでLEDが点滅します。LEDの点滅中に[■]**【決定】**を押すと、選択したパターンに設定されます。

❸ **[📖]【登録】を押す**

9

その他の便利な機能

つづく

お知らせ

- 電源を切っていると、アラームは動作しません。
- マナーモード設定中は、アラーム音は鳴りません。
- スケジュールは、待受画面で[下]を押しても表示できます。
- 以下の動作中、指定時刻になってもアラーム音は鳴りません。
  - 本製品の電源起動中／終了中
  - リモートロック中
  - 設定リセット中(Function項目／完全消去＋初期化)

  また以下については動作終了後にアラーム音が鳴ります。
  - 通話中／発信中／着信中
  - 留守電応答中／録音中／再生中
  - メール受信中／送信中
  - 位置情報通知中
  - 赤外線通信中
- スケジュールの日時が重複して設定されたときは、スケジュールの番号順(1〜7)に優先されます。
- スケジュールとアラーム(☞130ページ)の時刻が重複して設定されたときは、スケジュールが優先されます。

スケジュールを削除する

待受画面で

1 [■]【MENU】➡ [8] [1]「スケジュール」➡ 削除したいスケジュールを選択 ➡ [📖]【MENU】

2 以下の[1]または[2]の項目から選択

[1] 1件削除	➡「はい」を選択し、[■]【決定】 選択したスケジュールを削除します。
[2] 全件削除	➡「はい」を選択し、[■]【決定】 スケジュールをすべて削除します。

電卓を使う 〈電卓〉 機能番号82

電卓として使用します。電卓はディスプレイ中央の操作ガイドを見ながら操作することができます。

待受画面で

1 [■]【MENU】➡ [8] [2]「電卓」

2 ダイヤルキーと以下のキーを使用して計算する

キー	機能
[上]	＋(たす)
[下]	－(ひく)
[左]	×(かける)
[右]	÷(わる)
[■]	＝(計算結果表示)
[＊]	小数点を入力します。
[#]	C(表示している数字のクリア)

お知らせ

- 電卓機能の表示可能な桁数は10桁までです。
- 計算の結果にエラーが出た場合は「E」が表示されます。このとき[#]を押すとエラーが解除されます。

メモ帳を使う　〈メモ帳〉　機能番号84

本製品をメモ帳代わりに使用することができます。メモ帳は10件まで登録できます。

メモを登録／編集する

待受画面で

❶ ■【MENU】➡ 8 4「メモ帳」➡ 0〜9で登録、または編集するメモ帳を選択

❷ メモを入力 ➡ ■【決定】

お知らせ

- 入力できる文字数は1件あたり全角32文字、半角64文字までです。

メモを削除する

待受画面で

❶ ■【MENU】➡ 8 4「メモ帳」➡ 削除したいメモ帳を選択 ➡ 📖【MENU】

❷ 以下の1または2の項目から選択

項目	操作
1 1件削除	➡「はい」を選択し、■【決定】 選択したメモ帳を削除します。
2 全件削除	➡「はい」を選択し、■【決定】 メモ帳をすべて削除します。

9 その他の便利な機能

電波の送受信を停止する　〈停波モード〉　機能番号85

電源を切らずに、電波の送受信を停止することができます。電話の発信、着信、メールの送受信はできなくなります。

待受画面で

❶ [■]【MENU】➡ [8] [5]「停波モード」

❷ 以下の[1]または[2]の項目から選択

[1] ON	電波の送受信を停止します。
[2] OFF	電波の送受信を行います。

お知らせ

- 停波モードを「ON」にすると、ディスプレイの電波状態表示は「OFF」になります。

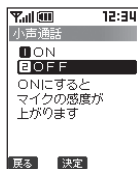
小さな声で話せるように設定する　〈小声通話〉　機能番号61

公共の場所や静かな場所で、周囲に迷惑をかけないように小さな声で話せるように設定します。
小声通話中は小さな声でお話ししても、相手には通常の声の大きさで伝わります。

お買い上げ時：
「OFF」

待受画面で

❶ [■]【MENU】➡ [6] [1]「小声通話」

❷ 以下の[1]または[2]の項目から選択

[1] ON	通話中は小声通話に設定されます。
[2] OFF	通話中は通常の状態です。

お知らせ

- 小声通話で通話中は、画面に「 」が表示されます。
- 小声通話中は、相手の声も少し大きく聞こえます。ただし受話音量を最大にしているときは変わりません。
- 通話中に小声通話を設定／解除することもできます。(☞42ページ)

現在の位置情報を通知する

一つの基地局のカバーするエリアが半径100～500mという利点を生かし、発信／着信するときに把握する近隣の基地局からの情報をセンターに通知します。別途、ウィルコムの位置検索サービスにお申し込みになると、この情報をもとに位置情報サービスを利用することができます。

- **LI(Location Information(位置情報通知)機能：**
  本製品が認識する複数の基地局とその電界強度を通知する機能です。
- **自動位置情報送出：**
  LI機能を「ON」に設定すると、自動位置情報送出を設定することができます。
  本製品に通知許可番号として登録している電話番号から遠隔操作で現在位置情報の送出が要求されたとき、自動的に位置情報を通知します。

LI機能を設定する 〈LI設定〉 機能番号67

LI(Location Information／位置情報通知)機能を「ON」に設定すると、「自動位置情報送出」を設定することができます。遠隔操作により、移動する人や物などの位置を、パソコンなどのディスプレイ上にリアルタイムで表示します。迷子防止や物品の管理のためなどに設定することができます。
自動位置情報送出では、以下の3つの機能を設定することができます。

- 自動位置情報送出
- 位置情報を通知する電話番号(通知許可番号)の登録／修正／消去
- 位置情報送出時の送信確認音(着信音)の設定

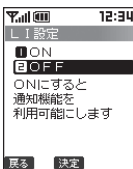
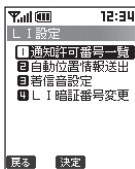
LI設定画面

待受画面で

❶ [■]【MENU】➡ [6] [7]「LI設定」

❷ [1]「ON」➡ [■]【決定】➡ **LI暗証番号を入力**※

※：お買い上げ時、LI暗証番号は「0000」に設定されています。

❸ **以下の[1]～[4]の項目から選択**

項目	説明
[1] 通知許可番号一覧	位置情報送出が要求されたときに、位置情報を自動的に送る電話番号の登録をします。(「通知許可番号と通知許可パスワードを登録／編集する〈通知許可番号一覧〉」☞138ページ)
[2] 自動位置情報送出	通知許可番号として登録されている電話番号から位置情報送出が要求されたとき、位置情報を自動的に送るかどうかの設定をします。(「自動位置情報送出を設定する〈自動位置情報送出〉」☞139ページ) あらかじめ、通知許可番号を登録しておく必要があります。
[3] 着信音設定	自動位置情報送出で位置情報を送ったときに、送信確認音を鳴らすかどうかの設定をします。(「位置情報が送出されたときの送信確認音を設定する〈着信音設定〉」☞139ページ)
[4] LI暗証番号変更	LI機能を設定するための暗証番号(4桁の数字)を変更します。(「LI暗証番号を変更する〈LI暗証番号変更〉」☞140ページ)

お知らせ

- LI暗証番号は、本製品の暗証番号とは異なります。(「本製品の暗証番号を変更する〈暗証番号変更〉」☞125ページ)入力するときに、お間違えの無いようご注意ください。

つづく

通知許可番号と通知許可パスワードを登録／編集する　〈通知許可番号一覧〉

自動位置情報を送る電話番号を、「通知許可番号」として登録します。
電話番号は20件まで登録することができ、それぞれに通知許可パスワードを設定します。通知許可パスワードについては、位置情報サービス提供会社へお問い合わせください。

お買い上げ時：
通知許可番号：
「未登録」
通知許可パスワード：
「未登録」

LI設定画面で

❶ 1「通知許可番号一覧」➡「未登録」を選択し、■【決定】

❷ 自動位置情報を送る電話番号を入力し、■【確定】➡
通知許可パスワードを入力し、■【決定】➡
もう一度通知許可パスワードを入力し、■【決定】➡
「はい」を選択し、■【決定】

■ 編集するとき

LI設定画面で1「通知許可番号一覧」➡ 編集する通知許可番号を選択し、■【決定】➡
通知許可番号を編集し、■【確定】➡ 現在の通知許可パスワードを入力し、■【決定】➡
新しい通知許可パスワードを入力し、■【決定】➡ もう一度新しい通知許可パスワードを入力し、■【決定】➡「はい」を選択し、■【決定】

お知らせ

- 入力できる通知許可番号は32桁までです。
- 入力できる通知許可パスワードは1桁から8桁までです。
- 通知許可番号と通知許可パスワードを登録すると、待受画面に「LI」が表示されます。LI機能または自動位置情報送出が「OFF」に設定されているときは、表示されません。

通知許可番号と通知許可パスワードを削除する

登録した通知許可番号と通知許可パスワードを削除します。

LI設定画面で

❶ 1「通知許可番号一覧」➡ 削除する通知許可番号を選択 ➡ 📖【MENU】

❷ 以下の1または2の項目から選択

1 1件削除	➡「はい」を選択し、■【決定】 選択した通知許可番号と通知許可パスワードを削除します。
2 全件削除	➡ 本製品の暗証番号を入力 ➡「はい」を選択し、■【決定】 通知許可番号と通知許可パスワードをすべて削除します。

自動位置情報送出を設定する　〈自動位置情報送出〉

通知許可番号として登録されている電話番号から位置情報送出が要求されたとき、位置情報を自動的に送るかどうかを設定します。

LI設定画面で

❶ 2「自動位置情報送出」

❷ 以下の1または2の項目から選択

1 ON	通知許可番号として登録された電話番号へ自動的に位置情報が送出されます。
2 OFF	自動位置情報送出機能を解除します。

お願い

- 自動位置情報送出機能を利用するときは、LI機能を「ON」に設定し、有効な通知許可番号が登録されている必要があります。（「LI機能を設定する〈LI設定〉」☞137ページ）
（「通知許可番号と通知許可パスワードを登録／編集する〈通知許可番号一覧〉」☞138ページ）

お知らせ

- 自動位置情報送出で位置情報を送る相手の電話番号は、通知許可番号で登録します。
（「通知許可番号と通知許可パスワードを登録／編集する〈通知許可番号一覧〉」☞138ページ）
通知許可番号を登録すると、自動位置情報送出は自動的に「ON」に設定されます。
- 自動位置情報送出を設定すると、待受画面に「LI」が表示されます。LI機能が「OFF」に設定されているときは、表示されません。

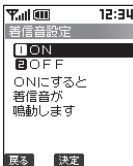
位置情報が送出されたときの送信確認音を設定する　〈着信音設定〉

自動位置情報送出機能により、位置情報が送出されたときに送信確認音を鳴らすかどうかを設定します。

お買い上げ時：
「ON」

LI設定画面で

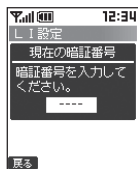
❶ 3「着信音設定」

❷ 以下の1または2の項目から選択

1 ON	位置情報が送出されたときに、送信確認音が鳴ります。送信確認音は「音声着信」に設定されている着信メロディが鳴ります。 （「着信音や着信パターンを設定する〈着信設定〉」☞104ページ）
2 OFF	位置情報が送出されたときの送信確認音を解除します。

LI暗証番号を変更する 〈LI暗証番号変更〉

LI機能を設定するための暗証番号を4桁の数字で設定します。お客様の位置情報などを保護するため、お買い上げ時の設定からお好みの番号に変更することをおすすめします。

LI設定画面で

[4] 「LI暗証番号変更」➡ LI暗証番号を入力 ➡ 新しいLI暗証番号を入力 ➡ もう一度新しいLI暗証番号を入力

お願い

- LI暗証番号は、本製品の暗証番号とは異なります。(「本製品の暗証番号を変更する〈暗証番号変更〉」☞125ページ)入力するときは、お間違えの無いようご注意ください。
- LI暗証番号は必ずメモを取るなどして、手元にお控えください。万一LI暗証番号をお忘れになった場合は修理扱いとなり有償修理対応となりますので、ウィルコムサービスセンター(☞167ページ)にお問い合わせください。

相手から位置情報送出の要求があったとき

LI機能および自動位置情報送出を「ON」に設定すると、あらかじめ登録している通知許可番号から位置情報送出の要求があったとき、自動的に位置情報を送ります。詳しくは、位置情報サービス提供会社へお問い合わせください。

お知らせ

- 本製品の操作中に位置情報送出の要求があったとき、操作は中断されます。位置情報の送出が終了すると、待受画面に戻ります。

10 ウィルコムの各種サービス

国際電話サービスについて（申し込み不要）

ウィルコムの国際電話サービスを利用して、世界約240の国と地域へ国際電話をかけることができます。（「国際電話をかける」☞40ページ）
詳しくは、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

位置検索サービスについて

ウィルコムの位置検索サービスは、ウィルコムのきめこまやかなマイクロセルネットワークを利用することで、GPSの電波が届かない建物の中や地下街にいても、位置検索サービスにお申し込みのウィルコムの電話のおおよその位置を地図で確認することができます。
ご利用いただくにはあらかじめお申し込みが必要です。
このサービスを利用することによって、現在の位置情報を通知することができます。
（「現在の位置情報を通知する」☞137ページ）
詳しくはウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。

留守番電話サービスについて　〈留守電サービス〉　機能番号91

電源をOFFにしているときや、サービスエリア外にいるとき、また、エリア内にいてもすぐに電話に出られないときや通話中のときに、ウィルコムの「留守番電話センター」がお客様に代わってメッセージをお預かりするサービスです。ご利用いただくにはあらかじめお申し込みが必要です。
お預かりしたメッセージは、本製品の他に、プッシュ信号を送信できる一般加入電話や公衆電話からも聞くことができます。

- 留守番電話サービスは以下の条件にてメッセージをお預かりします。
  - メッセージの最大保存件数：20件
  - メッセージの最大録音時間：1件あたり約60秒
  - メッセージの保存期間：約73時間（保存延長可能）
- お買い上げ時は呼出回数7回（約20秒）で留守番電話センターにおつなぎします。
- 呼出回数は1～15回まで選択することができます。
- 詳しくはウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。

お知らせ

- 本製品の留守電設定（「電話に出られないときに相手の用件を録音する」☞48ページ）とは異なりますのでご注意ください。本製品の留守電設定では、サービスエリア外でメッセージを受け取ることはできません。
- 留守番電話サービスでメールをお預かりすることはできません。
- 留守番電話サービスをご利用いただくには、ウィルコムへお申し込みが必要です。

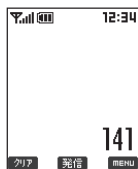
メッセージを確認する

待受画面で

❶ 1 4 1 ➡ 文字 または ■【発信】

❷ 数秒後、「ツー」という音を確認し、PWR

上記操作後、ディスプレイをご確認ください。メッセージをお預かりしているときには「センター留守電あり」と表示されます。

メッセージを聞く 〈留守電サービス再生〉 機能番号912

■ 本製品からメッセージを聞く場合

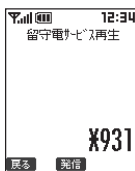
待受画面で

❶ ■【MENU】➡ 9 1 2 ➡ 発信キー または ■【発信】

❷ ガイダンスに従って操作する

または

待受画面で

❶ ✱ 9 3 1 ➡ 発信キー または ■【発信】

❷ ガイダンスに従って操作する

お知らせ

- メッセージを聞く前に、だれからのメッセージかを確認するには、以下の手順で行います。（発信者番号読み上げサービス）
  待受画面で ✱ 9 3 1 1 ➡ 発信キー または ■【発信】

■ 一般電話や公衆電話からメッセージを聞く場合

❶ 0077−780−931に電話をかける

❷ ガイダンスに従って操作する

本製品の電話番号と、留守番電話サービスの暗証番号の入力が必要です。

お知らせ

- ここで入力する暗証番号は、留守番電話サービス専用の番号です。本製品の暗証番号とは異なります。
- プッシュ信号を送信できる電話機以外では、メッセージを聞くことはできません。

留守番電話サービスの設定を変更する　〈留守電サービス設定〉 機能番号911

留守番電話サービスの各種設定を変更します。受付時間は5:00～24:00(年中無休)です。

■ 本製品から設定を変更する場合

待受画面で

❶ ■【MENU】➡ 9 1 1 ➡ (発信キー) または ■【発信】

❷ ガイダンスに従って操作する

12:34
留守電サービス設定
143
戻る　発信

または

待受画面で

❶ 1 4 3 ➡ (発信キー) または ■【発信】

❷ ガイダンスに従って操作する

■ 一般電話や公衆電話から設定を変更する場合

❶ 0077−776に電話をかける

❷ ガイダンスに従って操作する

本製品の電話番号と、留守番電話サービスの暗証番号の入力が必要です。

お知らせ

- ここで入力する暗証番号は、留守番電話サービス専用の番号です。本製品の暗証番号とは異なります。
- プッシュ信号を送信できる電話機以外では、設定変更できません。

安全運転モードについて(申し込み不要)

運転中に電話がかかってきたときに、運転の妨げにならないようにウィルコムの基地局から、かけてきた相手に電話に出られないことをお知らせするメッセージを流すサービスです。
また、ウィルコムの留守番電話サービスにお申し込みいただくと、運転中にかかってきた相手のメッセージを留守番電話センターでお預かりすることもできます。
(「留守番電話サービスについて〈留守電サービス〉」☞142ページ)

- ウィルコムの安全運転モードを利用するには、本製品の安全運転モードの応答先と応答方法を「ネットワーク録音する」または「ネットワーク応答のみ」に設定してください。
  (「応答先と応答方法を切り替える〈安全運転モード〉」☞51ページ)
  - 「ネットワーク録音する」に設定するためには、あらかじめ「留守番電話サービス」へのお申し込みが必要です。
  - 「ネットワーク録音する」に設定したときのメッセージの再生方法は、留守番電話サービスでのメッセージを聞くときと同じ操作です。
    (「メッセージを聞く〈留守電サービス再生〉」☞143ページ)

着信転送サービスについて(申し込み不要)

電源をOFFにしているときや、サービスエリア外にいるとき、また、エリア内にいても通話中のときに、かかってきた電話を他の電話に転送するサービスです。転送先は他のウィルコムの電話機や一般電話、携帯電話などから選択できます。ご利用はあらかじめ登録が必要です。

- 海外への転送には対応しておりません。
- 「留守番電話サービス」と同時に利用することはできません。
  (「留守番電話サービスについて〈留守電サービス〉」☞142ページ)
- 一部、転送先に指定できない電話機があります。
- 転送先には、発信者番号や非通知理由は表示されません。
- 転送先までの通話料金はお客様が負担していただくことになります。
- 詳しくはウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。

お知らせ

- 留守番電話サービスと同様の番号にダイヤルして設定を変更できます。
  (「留守番電話サービスの設定を変更する〈留守電サービス設定〉」☞144ページ)

料金分計サービスについて

ウィルコムでは、通話料金の請求先を2ヶ所に分けることができる「料金分計サービス」を行っています。ビジネスとプライベートの使い分けなどにご利用ください。ご利用にはあらかじめお申し込みが必要です。

- 料金分計の設定は1回の通話ごとに解除されます。
- 詳しくはウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。

お知らせ

- 料金分計サービスをご利用いただくには、ウィルコムへお申し込みが必要です。

料金分計で電話をかける

例：電話番号を入力して電話をかける場合

待受画面で

電話番号を入力 ➡ [MENU]【MENU】➡ [6]「分計設定」➡ [文字] または [■]【発信】

通話が終わったら、[PWR]を押します。料金分計設定はこの通話のみで、
次回以降、ご利用になるときも同様に分計発信の操作をする必要があります。

お知らせ

- 料金分計サービスをお申し込みでない場合は、設定しても料金を分けることはできません。
- ライトメールで、料金分計サービスを利用することはできません。
- 分計設定をすると、画面に「分計」が表示されます。
- 料金分計サービスは、以下の場合にもご利用が可能です。
  - 電話帳から電話をかける場合
  - 発信履歴や着信履歴から電話をかける場合
- 分計設定をして発信した電話番号は、発信履歴詳細画面で電話番号を選択し、[■]**【決定】**を押すと、画面に「分計」が表示されます。

11 付録

主な仕様

質量	約67 g（バッテリー装着時）
サイズ（幅×高さ×厚さ）	約44.5 mm×112.5 mm×11.0 mm
連続待受時間	約500時間
連続通話時間	約5.0時間
LCDサイズ（ヨコ×タテ）	128×160ドット

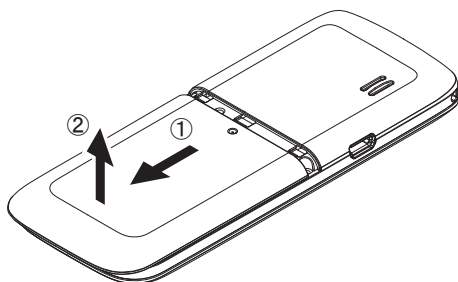
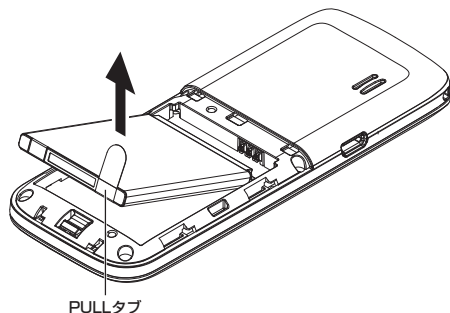
バッテリーの交換

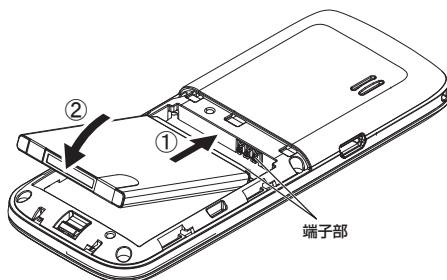
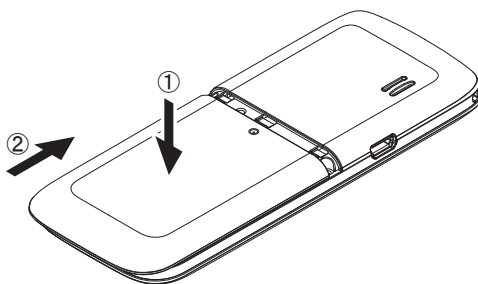
バッテリーを取り外す

❶ バッテリーカバーの上面を押しながら、①の矢印の方向に止まるまでスライドさせ、②の矢印の方向にカバーを持ち上げて取り外します。

❷ PULLタブを上に引き、バッテリーを取り外します。

11

付録

バッテリーを取り付ける

❶ 本製品とバッテリーの端子部を合わせます。
下図のように① ➡ ②の順で矢印の方向へしっかりと押し込みます。

❷ ①のようにバッテリーカバーを載せ、②の方向にスライドさせて確実に取り付けます。

お願い

- バッテリーカバーは確実に取り付けてください。バッテリーカバーを確実に取り付けないと、水滴などが浸入し、故障の原因となります。
- 取り付け/取り外しを行うときにバッテリーに無理な力を加えたり、無理に挿入したりしないでください。傷害、故障、破損の原因になります。

故障とお考えになる前に

まず、以下のことをご確認ください。それでも改善されない場合は、当社サポートデスクまでお問い合わせください。

本体について

症状	原因
電源が入らない	● [PWR]を約3秒以上押していますか？（「電源をON／OFFにする」☞32ページ） ● バッテリーは正しく取り付けられていますか？ （「バッテリーを取り付ける」☞149ページ） ● バッテリーは十分に充電されていますか？（「充電する」☞31ページ）
直ぐに画面が暗くなる	● 画面の点灯時間の設定をご確認ください。キー操作や着信後、画面が消灯するまでの時間を設定することができます。 （「画面の点灯時間を設定する〈液晶画面〉」☞113ページ）
電話がかけられない	● 電話番号が間違っていませんか？市外局番からダイヤルしていますか？ ● 電波状態をご確認ください。サービスエリア外、または電波の届きにくい場所にいませんか？「圏外」が表示されていませんか？ （「ピクト表示エリア」☞24ページ） ● 停波モードを設定していませんか？ （「電波の送受信を停止する〈停波モード〉」☞136ページ） ● 電話番号入力後、発信（[発信]または[■]）を押しましたか？ （「電話をかける」☞34ページ） ● 電話帳ロックが設定されていませんか？ （「電話帳にロックをかける〈電話帳ロック〉」☞118ページ） ● ダイヤルロックが設定されていませんか？ （「ダイヤルロックを設定／解除する〈ダイヤルロック〉」☞118ページ） ● リモートロックがかかっていませんか？ （「遠隔操作で本製品の機能をロックする〈リモートロック〉」☞120ページ）
着信音が鳴らない	● 着信音量が「OFF」に設定されていませんか？ （「着信音量を設定する〈着信音量〉」☞105ページ） ● マナーモードが設定されていませんか？ （「マナーモードを設定する」☞52ページ） ● 安全運転モードが設定されていませんか？ （「安全運転モードを設定する」☞50ページ）
電話がかかってこない	● 電波状態をご確認ください。サービスエリア外、または電波の届きにくい場所にいませんか？「圏外」が表示されていませんか？ （「ピクト表示エリア」☞24ページ） ● 停波モードを設定していませんか？ （「電波の送受信を停止する〈停波モード〉」☞136ページ） ● 着信拒否を設定していませんか？ （「着信拒否を設定する〈着信拒否〉」☞116ページ） ● 電源を「OFF」にしていませんか？（「電源をON／OFFにする」☞32ページ）
充電ができない	● バッテリーは正しく取り付けられていますか？ （「バッテリーを取り付ける」☞149ページ） ● ACアダプタをコンセントに差し込んでいますか？（「充電する」☞31ページ） ● 周囲の温度が高いかもしくは低いと保護機能がはたらき、充電できない場合があります。（「充電する」☞31ページ）

症状	原因
バッテリーを利用できる時間が短い	● 圏外や電波の届きにくい場所でのご利用やメールなどのご利用が多い場合は、バッテリーの消耗が早くなります。 ● 通常のご使用で利用時間が短い場合はバッテリーの寿命です。交換してください。（「バッテリーについて」☞11ページ）
相手の声が聞こえない	● 受話音量が最小になっていませんか？ （「通話中に受話音量を調節する」☞42ページ）／（「受話音量を設定する〈受話音量〉」☞109ページ）
キーを押しても反応しない	● キーロックを設定していませんか？ （「キーロックを設定／解除する」☞116ページ）
電話帳が使えない	● 電話帳ロックが設定されていませんか？ （「電話帳にロックをかける〈電話帳ロック〉」☞118ページ）

メールについて

症状	原因
メールを受信できない	● 電波状態をご確認ください。サービスエリア外、または電波の届きにくい場所にいませんか？「圏外」が表示されていませんか？ （「ピクト表示エリア」☞24ページ） ● 受信するメールはライトメールですか？ 本製品はライトメールのみ対応しています。（「メールについて」☞86ページ） ● 停波モードを設定していませんか？ （「電波の送受信を停止する〈停波モード〉」☞136ページ） ● 着信拒否を設定していませんか？ （「着信拒否を設定する〈着信拒否〉」☞116ページ）
メールを送信できない	● 電波状態をご確認ください。サービスエリア外、または電波の届きにくい場所にいませんか？「圏外」が表示されていませんか？ （「ピクト表示エリア」☞24ページ） ● 送信先の電話機は、ライトメールに対応していますか？ （「メールについて」☞86ページ） ● 停波モードを設定していませんか？ （「電波の送受信を停止する〈停波モード〉」☞136ページ） ● 発信先番号通知が「OFF」に設定されていませんか？ （「自分の電話番号を相手に通知する〈発信番号通知〉」☞39ページ） ● 電話番号は正しく入力されていますか？
添付ファイルの送受信ができない	● 本製品は添付ファイルの送受信に対応していません。

その他

症状	原因
電話帳に登録している相手から着信したとき、名前が表示されない	● シークレットモードを設定していませんか？ （「シークレットを設定する」☞72ページ） （「シークレットモードを設定／解除する〈電話帳シークレット〉」☞125ページ）
留守電機能で着信相手の伝言が録音されない	● 録音件数が4件、または60秒以上録音されていませんか？録音されている場合は、留守録を消去してください。 （「留守電機能を使う〈留守電機能〉」☞48ページ）
「センター留守電あり」が表示される	● ウィルコムの留守番電話サービスで、メッセージをお預かりしている通知です。メッセージをご確認ください。 （「留守番電話サービスについて〈留守電サービス〉」☞142ページ）
着信メロディや壁紙を新たに登録する方法がわからない	● 新たに登録することはできません。本製品に搭載されている壁紙、着信メロディのみ、ご利用になれます。 （「着信メロディを設定する〈着信メロディ〉」☞105ページ） （「待受画面の壁紙を設定する〈待受画面〉」☞112ページ）
インターネットへの接続方法がわからない	● 本製品はWebブラウザを搭載していないため、インターネットへ接続できません。
電話機を紛失したため、リモートロックをかけたいが、リモートロックの認証パスワードを登録していない、またはパスワードを忘れた	● ウィルコムサービスセンターの音声ガイタンスで24時間いつでもリモートロックをかけることができます。「リモートロック代行サービス（有料）」 詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。

11

付録

携帯電話／PHSのリサイクルについて

携帯電話/PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となった携帯電話/PHSの本体、バッテリー、充電器を、ブランド/メーカを問わず、モバイル・リサイクル・ネットワークのマーク（下記マーク）のある店舗で、無償で回収し、リサイクルを行っています。

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

やむを得ず、廃棄する場合は、各地方自治体の条例に従って処理するようお願い致します。
梱包材、同梱物につきましても分別にご協力ください。

お願い

- 回収した電話機、バッテリー、充電器はリサイクルするため、返却することができません。
- プライバシー保護のため、電話機に記憶されているお客様の情報（電話帳、通信履歴、メールなど）は事前に消去してください。（「登録内容や各機能の設定をリセットする〈設定リセット〉」☞126ページ）

11

付録

機能一覧

以下の操作で利用できる機能番号の一覧です。

待受画面で

■【MENU】➡ ダイヤルキーで機能番号を入力

0 プロフィール			
機能番号	機能名	お買い上げ時の設定	参照ページ
0	プロフィール※	名前 未登録	☞128ページ

1 メール				
機能番号		機能名	お買い上げ時の設定	参照ページ
11		ライトメール		☞86ページ
	111	新規作成	−	☞87ページ
	112	受信フォルダ※	−	☞91ページ
	113	送信フォルダ※	−	☞89ページ
	114	マイフォルダ※	フォルダ1〜5	☞94ページ
12		メール設定		☞99ページ
	121	定型文※	☞157ページ	☞66ページ
	122	フォルダ名変更※	フォルダ1〜5	☞99ページ
	123	署名※	未設定	☞100ページ
	124	文字サイズ	標準	☞101ページ
	125	メール送達確認音	ON	☞101ページ

2 サウンド(音/バイブ/LED)					
機能番号			機能名	お買い上げ時の設定	参照ページ
21			着信設定		☞104ページ
	211		音声着信		☞104ページ
		2111	着信音量	音量レベル2	☞105ページ
		2112	着信メロディ	Morning Dew	☞105ページ
		2113	バイブ設定	OFF	☞106ページ
		2114	バイブ優先	OFF	☞106ページ
		2115	LED設定	パターン2	☞107ページ
		2116	リマインダー設定	10秒	☞107ページ
	212		ライトメール		☞104ページ
		2121	着信音量	音量レベル2	☞105ページ
		2122	着信メロディ	Flute	☞105ページ
		2123	バイブ設定	OFF	☞106ページ
		2124	バイブ優先	OFF	☞106ページ
		2125	LED設定	パターン1	☞107ページ
		2126	リマインダー設定	10秒	☞107ページ
	213		マナーモード設定		☞52ページ
		2131	バイブON/OFF設定	ON	☞53ページ
		2132	LED設定	パターン2	☞53ページ
22			キー確認音	OFF	☞108ページ
23			保留音	カノン	☞108ページ
24			受話音量	音量レベル3	☞109ページ
25			通知音設定		☞109ページ
	251		圏外警告音	OFF	☞109ページ

3 ディスプレイ（画面設定）			
機能番号	**機能名**	**お買い上げ時の設定**	**参照ページ**
31	待受画面	OFF	☞112ページ
32	バックライト		☞113ページ
321	液晶画面	20秒	☞113ページ
322	キーパッド	ON	☞113ページ
33	輝度調整	レベル3	☞114ページ
34	コントラスト	コントラスト3	☞114ページ
35	動画設定	ON	☞114ページ

4 クロック（時計／アラーム設定）			
機能番号	**機能名**	**お買い上げ時の設定**	**参照ページ**
41	アラーム設定		☞130ページ
411	アラーム1	OFF	☞130ページ
412	アラーム2	OFF	☞130ページ
413	アラーム3	OFF	☞130ページ
42	表示モード	24時間表示	☞132ページ
43	日時設定※	2011年1月1日00:00	☞32ページ
44	暦（こよみ）※	2011年1月	☞132ページ

6 セッティング（各種設定）			
機能番号	**機能名**	**お買い上げ時の設定**	**参照ページ**
61	小声通話	OFF	☞136ページ
62	エニーキーアンサー	OFF	☞41ページ
63	発信番号通知	ON	☞39ページ
64	通信中着信	ON	☞44ページ
65	着信拒否		☞116ページ
651	着信拒否設定		☞116ページ
6511	音声着信		☞116ページ
65111	設定／解除	OFF	☞116ページ
65112	拒否リスト編集※	未登録	☞117ページ
6512	ライトメール		☞116ページ
65121	設定／解除	OFF	☞116ページ
65122	拒否リスト編集※	未登録	☞117ページ
652	ユーザ非通知	OFF	☞116ページ
653	公衆電話発信	OFF	☞116ページ
654	通知不可能	OFF	☞116ページ
66	ユーザ辞書		☞67ページ
661	辞書登録※	未登録	☞67ページ
662	学習辞書リセット※	−	☞68ページ
67	LI設定※	OFF	☞137ページ

7 セキュリティ						
機能番号			機能名	お買い上げ時の設定	参照ページ
71			電話帳ロック※	解除	☞118ページ
72			ダイヤルロック※	解除	☞118ページ
73			リモートロック		☞120ページ
	731		許可パスワード登録※	未登録	☞121ページ
	732		サブアドレス起動		☞120ページ
		7321	許可番号登録※	未登録	☞121ページ
		7322	リモートロック起動※	許可しない	☞122ページ
	733		ライトメール起動		☞120ページ
		7331	許可番号登録※	未登録	☞121ページ
		7332	リモートロック起動※	許可しない	☞122ページ
74			電話帳シークレット※	解除	☞125ページ
75			暗証番号変更※	0000	☞125ページ
76			設定リセット		☞126ページ
	761		Function項目	−	☞126ページ
	762		完全消去＋初期化	−	☞126ページ

8 ツール(各種ツール)			
機能番号	機能名	お買い上げ時の設定	参照ページ
81	スケジュール	未登録	☞133ページ
82	電卓	−	☞134ページ
83	赤外線受信	−	☞81ページ
84	メモ帳※	未登録	☞135ページ
85	停波モード	OFF	☞136ページ

9 メッセージ(留守電サービス)					
機能番号			機能名	お買い上げ時の設定	参照ページ
91			留守電サービス		☞142ページ
	911		留守電サービス設定※	143	☞144ページ
	912		留守電サービス再生※	*931	☞143ページ
92			留守電機能		☞48ページ
	921		留守電設定	OFF	☞48ページ
		9211	留守電設定ON	固定	☞48ページ
		9212	留守電設定OFF	−	☞48ページ
	922		応答トーキ設定※	未登録	☞49ページ
	923		留守録再生※	−	☞49ページ
93			安全運転モード	電話機録音する	☞50ページ

※「Function項目」(☞126ページ)ではリセットされない機能です。

各機能の選択項目一覧

定型文一覧

No.	内容
1	よろしくお願いします。
2	ありがとうございました。
3	お疲れ様です。
4	さん、こんにちは。
5	今、何してるの？
6	飲みに行きませんか？
7	食事に行きませんか？
8	ごめんなさい。
9	今日は予定があります。また誘って下さいね。
10	今度いつ空いてますか？
11	どこか遊びに行こうよ！
12	時間に遅れます。
13	今、電話できません。後ほど、電話します。
14	今、出発しました。
15	時ごろに到着します。
16	おはようございます。
17	おやすみなさい。
18	いつもお世話になっております。
19	至急電話ください。
20	体調不良の為、お休み頂きます。

つづく

記号一覧

半角記号

 !"#$%&'()*+,-./:;<=
>?@[¥]^_`{|}~｡｢｣､･ｰﾞ
ﾟ

全角記号

、。，．・：；？！゛
゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝ
ゞ〃仝々〆〇ー―‐／
＼～∥｜…‥‘’“”
（）〔〕［］｛｝〈〉
《》「」『』【】＋－
±×÷＝≠＜＞≦≧∞
∴♂♀°′″℃￥＄￠
￡％＃＆＊＠§☆★○
●◎◇◆□■△▲▽▼
※〒→←↑↓〓∈∋⊆
⊇⊂⊃∪∩∧∨￢⇒⇔
∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪
≫√∽∝∵∫∬Å‰♯
♭♪†‡¶◯ゐゑヰヱ
ヲンヴヵヶΑΒΓΔΕ
ΖΗΘΙΚΛΜΝΞΟ
ΠΡΣΤΥΦΧΨΩα
βγδεζηθικλ
μνξοπρστυφ

χψωАБВГДЕЁ
ЖЗИЙКЛМНОП
РСТУФХЦЧШЩ
ЪЫЬЭЮЯабвг
деёжзийклм
нопрстуфхц
чшщъыьэюя─
│┌┐┘└├┬┤┴┼
━┃┏┓┛┗┣┳┫┻
╋┠┯┨┷┿┝┰┥┸
╂①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲
⑳ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨ
Ⅹ㍉㌔㌢㍍㌘㌧㌃㌶㍑
㍗㌍㌦㌣㌫㍊㌻㎜㎝㎞
㎎㎏㏄㎡㍻〝〟№㏍℡
㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹㍾㍽
㍼∮∑∟⊿

絵文字一覧

アニメーション絵文字一覧

フレーム一覧

索引

お問い合わせ先

本製品に関する技術的なお問い合わせは、下記サポートデスクまでご連絡ください。
また、修理を依頼される場合は、ウィルコムサービスセンターまでご相談ください。

■ 株式会社ネットインデックス

サポートデスク（通話料有料）		
受付時間	月曜日〜金曜日 （土／日／祝および当社休日を除く） 当社休日については、当社ホームページをご確認ください。	9:00〜17:30
電話番号	一般加入電話/公衆電話/携帯電話/PHS共通	050-3101-3755
URL	http://www.netindex.co.jp/	

■ ウィルコムサービスセンター

ご利用のお申し込み・お問い合わせ（通話料無料）		
受付時間	年中無休	9:00〜20:00
電話番号	ウィルコムの電話から	局番なしの116
	一般加入電話／公衆電話／携帯電話から	0120-921-156

お願い

- お電話でのお問い合わせ・お手続きには、ウィルコム電話番号と暗証番号（4桁）※が必要です。
  あらかじめご準備の上、お問い合わせ・お手続きをお願いいたします。
  ※ 暗証番号とは、ウィルコム新規ご契約時にお決めいただいた4桁の数字です。

＊＊＊保 証 書＊＊＊

この保証書は本書記載内容で無料修理をお約束するものです。万一保証期間内に故障した場合は、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

<table>
<tr><td>製品名　WX01NX</td><td colspan="2">シリアルNo.</td></tr>
<tr><td>保証期間</td><td colspan="2">お買い上げ日より1年間</td></tr>
<tr><td>★お買い上げ日</td><td colspan="2">年　　　　月　　　　日</td></tr>
<tr><td>★お客様</td><td colspan="2">お名前　　　　　　　　様
ご住所　〒

電話番号　（　　　）　　－</td></tr>
<tr><td>★販売店</td><td colspan="2">印</td></tr>
</table>

★印欄に記入のない場合は無効となりますのでご注意ください。
※修理・点検などのご相談はウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた個人情報は修理業務のために使用いたします。あらかじめご了承ください。
※修理記録については修理伝票に記入いたします。

保 証 規 定

1. 取扱説明書、本体ラベル、その他注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合、保証期間内に限り無償修理、または他の機器との交換をいたします。
2. 本保証書はACアダプタを含みません。ACアダプタの保証は、ACアダプタの保証書の内容によります。
3. 保証期間内でも次のような場合は有償となります。
   (1)保証書の提示がない場合、または必要事項の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合
   (2)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障または損傷、または紛失
   (3)使用上の誤り、不当な修理や改造、または異常電圧に起因する故障または損傷
   (4)使用中に生じた傷、汚れなど外観上の変化
   (5)火災、地震、水害、落雷などの天災地変ならびに公害や盗難、水没などによる故障または損傷
   (6)故障の原因が本製品以外にある場合
   (7)消耗、寿命部品(バッテリー等)の交換、仕様変更など
4. 本製品の故障、誤動作、不具合に起因する付随的損害につきまして当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
6. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※　本書による保証の他に、消費者に対して、製造者は製造物責任など、販売者は瑕疵担保責任などの法律上の責任をそれぞれ負っています。本書の発行によって、こうした製造者や販売者の責任を軽減したり免除したりといった影響を及ぼすものではありません。
※　本製品の修理点検等において、お客様が作成されたデータ、外部から取り込まれたデータ等が変化、消失する場合があります。当社はこれらデータ等の変化、消失についてなんら責任を負うものではありません。

製造元：株式会社 ネットインデックス
花巻本社：〒025-0323
岩手県花巻市椚ノ目2-32-1
サポートデスク　TEL：050-3101-3755(一般加入電話/公衆電話/携帯電話/PHS共通)
URL http://www.netindex.co.jp/

・この取扱説明書の印刷には植物油インキを使用しています。

3版　2011年11月【NIX-M01-10017】